

なんざんだいがく

南山大学

こうしきやきゅうぶ

硬式野球部

ぶほう

部報

OB 会 南友会 会報



2024 春・秋

【2024. 2 ~ 2024. 10】

OB・OGの皆様へ

今シーズンもリーグ戦全日程を終了し、部報を発行する運びになりました。

OB、OGの皆様には日頃より大変お世話になりました。この場をお借りし、感謝申し上げます。お忙しいところ、試合に足を運んでくださり誠にありがとうございました。

また、金銭的な面におきましても、高額の支援をいただき誠にありがとうございました。いただいたお金は、連盟金や球場使用料の支払い等に有効に使わせていただきました。OB,OGの方々のおかげで日々活動を行うことができます。そして卒業してもなお、交流の場まで設けていただけていることも、大変うれしく思っています。

今季も、先シーズン果たすことができなかった「二部昇格」を目標に、キャプテンを筆頭に練習を行ってまいりました。春季リーグ、秋季リーグ共に3位と、目標の三部優勝、入れ替え戦進出を果たすことはできず、三部残留という結果で秋季リーグは幕を閉じました。

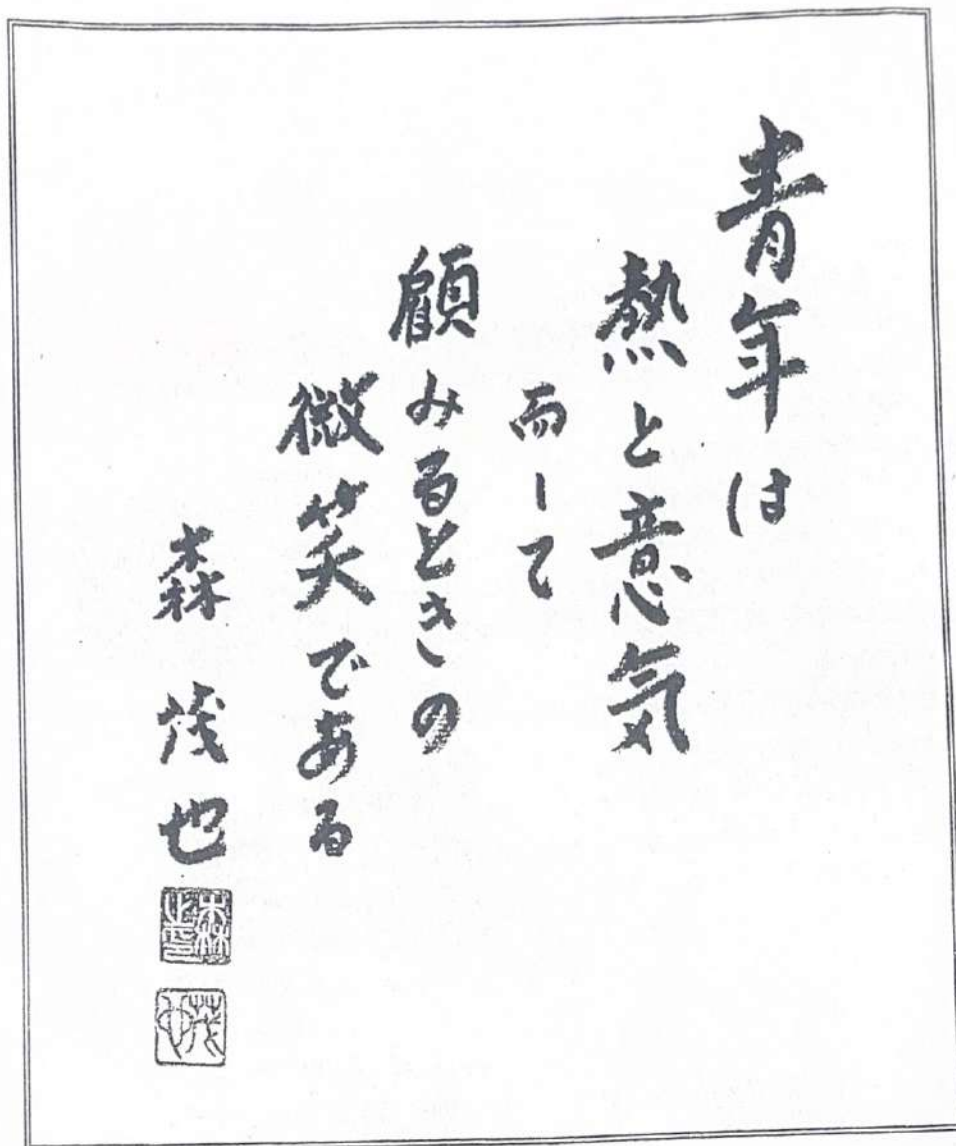
今リーグをもちまして、我々南山大学硬式野球部は新体制となり、新たなチームで活動してまいります。この悔しさをばねに日頃よりお世話になっているOB,OGの皆様良い結果、良い報告が出来るよう新たなチームで精進してまいります。

今後とも、南山大学硬式野球部をどうぞよろしくお願いいたします。

南山大学硬式野球部

主将	花井	慧汰
主務	西塚	制覇
マネージャー	齋藤	希





2003年12月7日 南山大学硬式野球部OB会南友会定期総会の席上、
 森 茂也歴代部長が、述べられた言葉 森 茂也先生書
 (この色紙は部室に掲示してあります)

「来年こそは」

南友会会長 大橋 恵一（昭和60年卒業）



晩秋の候、南友会会員の皆様におかれましては、
ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は南友会の運営にあたり、多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

私は、知多市役所勤務で、再任用職員として今年で3年目、現在東部福祉会館という高齢者福祉施設で勤務しています。田舎の公務員で、インターネットも職場のパソコンを利用することができず、自宅のパソコンを利用しています。

また、勤務場所が地元ですので、なかなか名古屋まで出て行けなくて打合せ等も企画できず、OB 会の方や会報を印刷してくれるマネージャーにご迷惑をかけていますこと深くお詫び申し上げます。

ただ、知多市に住んでいる利点といえば、愛知大学3部リーグの試合は東海市の大同大学グラウンドと刈谷市の愛教大グラウンドで行われます。大同大学のグラウンドは、車で20分、愛教大グラウンドは、道がすいていれば45分くらいで行けますので、比較的多くの試合の応援に行くことができます。春季リーグ戦では、8試合中6試合、秋季リーグ戦では、7試合中6試合応援に行くことができました。これからもなるべく多くの試合を見に行きたいと思っています。

さて、今年度の成績ですが、春季3部リーグ戦では、6勝1敗で名古屋大学と愛教大と順位が並び、順位決定戦で愛教大に負けて入替戦に進むことが出来ませんでした。順位決定戦で勝った名古屋大学が、2部最下位の名古屋産業大学に勝ち2部昇格を果たしましたが、我が南山大学は春季リーグ戦で名古屋大学に勝っているため、本当に紙一重の結果といわざるを得ません。

秋季3部リーグ戦では、5勝1敗で10月12日の名古屋産業大学に勝てば春同様順位決定戦に進出できる状況でしたが、7対12で負けて、順位は3位で秋季大会は終了しました。

春季リーグ戦では、やや打線が迫力に欠き、総得点が54点（順位決定戦を除く）でしたが、秋季リーグ戦では、見違えるほど打線が迫力を増し、総得点が3部で1番の73得点をあげました。10月12日の名古屋産業大学戦においては6回まで2対6の劣勢でしたが、7回に2本のホームランで同点に追い付き、見ている我々を興奮させてくれました。

監督に聞いたところ、多く練習試合を行った成果とのことでした。来年こそ2部リーグ昇格を目指して頑張りたいと思います。

現在、南山大学には、我々の時のようなグラウンドはありません。水曜日の午後に森林公園野球場で行う練習が唯一の全体で行われる練習と聞いています。土日の多くは練習試合で実戦感覚を養っているとの話でした。その他、個人でジムに通い、筋力トレーニングを行っているとのことでした。

先日、愛教大グラウンドに試合の応援に行った際、バックネットの裏のところにバッティングマシン専用のコンセントがありました。普段からバッティングマシンを使って練習ができるのです。何という恵まれた環境でしょうか。南山大学は、昨秋は3部リーグで優勝し、今年は春も秋も最後まで優勝争いをしたチームです。そのチームが恵まれた環境で練習をしていたらどうなるのだろうかと思案すると残念な気持ちでいっぱいです。

そうした練習の環境を整えるためにも、微力ではありますが、我々もより多くのOB会費を現役部員に提供したいと思っていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

南友会事務局 Email: keichi.ohashi0316@gmail.com

野球部史を野球部 HP に掲載しています。内容をより濃いものにしたいと思っています。皆様の情報をお寄せください。また、部報も昨年より HP に掲載しました。大学 HP(クラブ紹介)、同窓会 HP ともリンクしています。

南山大学硬式野球部ホームページ: <https://www.nanzanbaseball0809.com/>

同窓会 HP: <http://www.nanzan.ac.jp/DOSOKAI/friendship/club.html>

愛知大学野球連盟 HP: <http://aubl.biz/>

2024 年度の愛知大学野球におけるリーグ戦シーズンは終了しました。春季は 3 部リーグ 3 位、秋季も結果的に 3 位に終わり、残念ながら昇格はなりませんでしたが、しかしながら若い選手たちの力も伸びてきており、来期以降への希望が持てるように思います。以下、南山大学硬式野球部の戦績について、私どもの観戦した試合を中心に簡単にご報告いたします。

[春季：3 部リーグ・プレーオフ]

南山の所属する 3 部リーグは、参加校 8 校の総当たり（1 試合）で行われました。南山は 3 試合を終えて、3 勝 0 敗で名大と並んで 1 位。4 月 20 日に行われた両校の直接対決には、4 - 2 のスコアで勝利して首位に立ちました。南山の先発投手小谷は、1 回こそ一発を打たれて失点しましたが、その後は 9 回まで切れのある速球と安定した制球力を保ち、長打力のある相手打線を散発の 5 安打に抑えました。その後、南山が愛教大に敗れるなどした結果、最後は南山・名大・愛教大の三校が 1 敗で並び、プレーオフ初戦で南山は愛教大に 3 - 4 で敗れてシーズンを終えました。愛教大に勝ってプレーオフを制した名大は 2 部に昇格しました。

[秋季：3 部リーグ]

春季と同じく 8 校の総当たり（1 試合）で、3 戦無敗の南山は愛教大との試合に 6 - 10 で敗れましたが、その後は星を落とすことなく、1 敗のまま全勝の名産大との試合に臨みました（10 月 12 日）。

1 回裏、後攻の南山は先頭の海老が四球で出塁して 2 盗を決めた後、3 番今福が中前適時打を放って 1 点を先制しました。しかし、2 回表に適時打と左越え本塁打で 4 点を失ってからは、試合は名産大に有利に展開しました。南山は 7 回裏、2 番小西・4 番西塚の本塁打で 5 点差を追いついて同点としたのですが、その後の継投が思うように運ばず、8 回には満塁本塁打などで相手に 6 点を奪われて離されました。この試合を終えて、名産大は無敗で 3 部リーグ優勝を決め、南山は 5 勝 2 敗の 3 位でシーズンを終えることとなりました。

2 シーズンとも優勝は成りませんでしたが、選手諸君の日頃の練習の成果は、今シーズンの戦い振りに十分に表れていたと思います。試合後のミーティングを見ても、部員全員が積極的に発言し、自分たち自身のチームを作ろうという意気込みと真摯さが感じられますし、1・2 年生にも好選手が出てきていることにも希望が持てます。あとは一人ひとりが、シーズンを通して実力を発揮できるだけのコンディションを保てるよう、身体への心配りを怠らないようにしてくれることを望んでいます。

OB の皆様には毎試合のように応援に来ていただき、本当にありがたく存じます。この場を借りて改めてお礼申し上げます。また、普段から手厚い支援をいただいている皆様にも心から感謝いたしますと同時に、いまこうして努力している南山硬式野球部の現役諸君に、来季も一層のご声援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2024 年シーズンを振り返り

監督 横江光義

2024 年のシーズンが終了いたしました。最後まで戦い抜いた選手の皆様、おつかれさまでした。

「昭和の野球トレーニング」と聞いて、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。

意味の無いトレーニングが多く含まれ、野球人としての肉体を作るという面では、失敗してしまった概念であると、昭和生まれの私も思ってしまう言葉ではあります。(ウサギ跳び、タイヤ叩き、水は体が重くなるので飲んではいけないなどなど、私も当時経験しました)

ただ、ここだけは無意味ではないと言える概念をあげるならば、

「緊張状態の中でも体がいつも通りに動くようにする」

この点だけは、一定の評価が出来るでしょうか。

練習で極限状態に追い込むことで、何も考えられない状況でも体を動かせるようにして、試合時に緊張からのミスを起こさないようにするというなんとも言えないアプローチの仕方ではあります。今のメンタルコントロールによって緊張から解き放つ方法とは全く反対からの考え方ですかね。

どんなに良いプレイヤーでも、緊張で体が動かなければ、実力が発揮できないとの発想からの対応なのでしょうが、今ではあまり受け入れられない方法なのかなとも思います。

振り返りをしたとき改めて感じたのが、今年はどんなに追い込まれても、緊張する場面でも、いつも通りに近い動きが出来ていたように思います。

打撃でも守備でも、決して臆することなくプレーが出来ていた、それ故に土壇場での本塁封殺やここ一番の場面でのタイムリーが多く出ていたよう感覚があります。

ゆえに「今年のチームは強かった。」私はそう思っています。

さらには、新入生の皆さんが下からレギュラー争いや登板争いをして突き上げてくれたおかげで、見事に競争原理が良い方向で働き、チームの底上げも出来たとも感じています。

だからこそ、なんで優勝できずに終わらなくてはならないのかと悔しい思いもぬぐい去れずにいます。返す返す残念でしかありません。

力はちゃんとあります。来年は良い結果が出したいですね。

最後に、OB の皆様、次の代はすでに始動を始め、すでに練習試合を組み、来季に向けて動き始めております。なにとぞ彼らへの応援とさらなる支援をお願いいたします。

南山大学硬式野球部規則

（名称）

第1条 名称は南山大学硬式野球部（以下本部）を称する。

（目的）

第2条 本部は試合において勝利を目指すとともに、野球を通じて人間形成を行い、活動する仲間、およびOBとの親睦を深めることを目的とする。

（所属・加盟団体）

第3条 本部は学内において南山大学体育会に所属し、また愛知県下において愛知大学野球連盟（以下、連盟）に加盟する。

（役員）

第4条 本部には次の役員を置く。

1. 部長
2. 監督
3. 主将
4. 副主将
5. 主務
6. 学生委員（連盟における役員）

（部員）

第5条 本部の部員は南山大学の学生でなければならない。

第6条 本部の学生は大学において課外活動を行う団体であるため、部員は正課である学業をおろそかにしてはならない。

第7条 本部の部員は連盟・大学・部が定める規約・規定に従うとともに、社会的規範を遵守しなければならない。これができない場合は、役員による協議を行い大部（除名）等の処分を下す場合がある。

第8条 本部の活動の為に軽費は以下のものである。

第9条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとし、年度終了後に大学へ会計報告を行うものとする。

（OB会）

第10条 部員は大学卒業後にOB会「南友会」に所属する。

（その他）

第11条 この規約において判断できない事項については、役員を中心として協議の上解決を図る。

第12条 規約の改定が必要な場合は、役員による協議を行い決定する。

第13条 留学、退部については部員の意見を尊重し、妨げない。

愛知大学野球



AICHI UNIVERSITY BASEBALL LEAGUE

2024 SPRING

大学
野球
UNIVERSITY BASEBALL

岩井 天斗

中村 優斗

高木 快大

清水 智裕

柳瀬 太陽

末田 龍祐

春季リーグ戦

4月6日(土)~6月1日(土)

主催 愛知大学野球連盟

<http://www.aubl.jp>

後援 中日新聞社／中日スポーツ 協賛 株式会社ミニミニ

球場 パロマ瑞穂野球場 豊田市運動公園野球場 春日井市民球場 他

Locipoで1部リーグの試合をライブ配信(予定)※配信日は連盟ホームページに記載アプリダウンロードはこちら



最新情報
配信中!



AUBL.OFFICIAL



2024 年

2 月 13 日～	春季練習開始
2 月 27 日～	春季オープン戦
4 月 6 日～	春季リーグ戦
6 月 8 日	新人戦
7 月 5 日	上南戦



背番号 1

3 年 西塚制覇(にしづかせいは)
三重県 海星高校

春季リーグならびに上南戦お疲れ様でした。まず、はじめにリーグ戦、上南戦開催にあたり運営してくださった全ての方に感謝申し上げます。今年の春季リーグ戦は名古屋大学、愛知教育大学との同率 1 位で終え、順位決定戦では初戦の愛知教育大学に敗戦し結果 3 位という成績で幕を閉じました。はっきり言います。悔しいという言葉ではまかなえないくらい悔しいです。昨秋、入替戦に出場したものの敗退した悔しさを果たすためにも今年こそ 2 部昇格という目標を掲げて行く中でこの成績に終わってしまったことは不甲斐ないです。

今年度は主務兼副主将としてチームを引っ張っていく立場でした。もちろん昨年も 4 番としてチームを引っ張っていました。去年よりも引っ張っていく立場が多い中で今回のリーグ戦での成績はかなり劣悪でした。入学した年の春から複数いたレギュラーの先輩を押しつけて、試合に出させていた中でこの結果を残してしまったというのは申し訳ないという思いしかありません。1 年生の頃は結果こそ昨年ほど出ていた訳では無いですが、がむしゃらにチ

ームの勝利のために貢献していたと思います。今回の打撃成績は、結果はもちろんですが内容もとても誇れるものではありません。

また、上南戦においても左足ハムストリング肉離れ再発の負傷もあり、ポジションを指名打者に変更したものの満足いく結果を収めることは出来ませんでした。リーグ戦終了後自身が引っ張っていかなければならないという責任感がより芽生えたものの周囲に納得していただける結果を残すことはできませんでした。

しかし、終わってしまい流れていく日々の中でここが悪かったと後悔しても時間は返ってきません。もう一度自分自身のボディコンディショニングや動きを見つめ直し、来たる次の秋季リーグ戦では、3 部リーグ優勝、2 部昇格を必ず勝ち取ります。そのためにも自分が相応しい成績を収め、それに伴い、周りをプレーで引っ張っていきます。背中や結果で引っ張るのみならず、周りを巻き込んでチーム一丸となり一戦必勝で突き進んでいきたいと思っています。

最後になりますが、皆さまの声援は私たち選手にとって大きな力となります。ご多忙だとは思いますが、是非とも試合に足を運んでいただき、応援していただきたいです。これからも何卒ご支援よろしく願いいたします。



背番号 3
3 年 宮城翔生(みやぎかい)
奈良県 天理高校

まずは春リーグご声援いただきまして、ありがとうございます。結果は 3 位でしたが、優勝できる力はあったと思いますし、このチームで 2 部に昇格できる力も十分あるのだなと感じております。ここで今回の部報で私がこの春に感じたことを話します。

私は昨年冬から本格的に打撃練習に取り組んでいきました。西塚様に練習を指導してもらい、ここまですることができました。冬の時期には自主練のあとに桑名まで足を運んで、二人で自主練もしました。この場をお借りして、感謝申し上げます。ありがとうございます。また投手陣ではエースの小谷君が率先して投手陣を統率してくれました。投手陣は団結力があり、日々成長するためトレーニングを積んでいます。大変素晴らしいことと感じております。野手陣では花井君がキャプテンとしてチームを統率してくれました。遊び感覚の緩い雰囲気や彼らしい言動で活気ある雰囲気に変えてくれています。やる時はやることができるようになってきたと思います。この花井君の伝統をぜひ後輩たちも受け継いでほしいです。そして春リーグ直前にはアクシデントがありました。絶対的司令塔である遊撃手の小西が骨折で戦線離脱。個人的に小西がいないチームは考えられませんでした。ぜひ小西には禁煙していただき、私とともに筋トレに励んでいただきたいと願っております。

私はこれまで試合に出場する機会があまりありませんでした。しかしこの春に出場

する機会をいただきました。そこで私は応援していただいていることに気づき、改めてチームや OB さんのありがたさに気づくことができました。ここでチームを終わらせるわけにはいきません。私はこのチームで 2 部に行きたいです。私はこのチームで打撃の中核になれるように人一倍努力して、必ずチームを 2 部に導きます。私はこの春で引退をした武田君と 2 部に行く約束をしました。彼の熱い声援を受けて、私は戦います。今後とも応援よろしくお願いします。



背番号 18
3 年 小谷勇輝(こたにゆうき)
愛知県 至学館高校

春季リーグ戦、上南戦等シーズン前半戦お疲れ様でした。まず初めにここまで無事に活動を継続できたことを OB の皆様をはじめ、監督、マネージャー、保護者の皆さま、いつもご支援と応援をありがとうございます。今後も本部活動を継続的に行うために精進してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

さて、春季リーグ戦 3 位、上南戦敗戦という結果で前半戦を終えました。チームとしては勝ちたいという目標がありましたので不甲斐ない結果に終わってしまいました。

期待してご覧いただいていたのにも関わらず、申し訳ございませんでした。しかし、令和の時代の大学野球というスタイルは完全なる個人と個人のぶつかり合いの勝負だということを中京大学で活躍された高校時代の恩師に教え込まれました。これは大学野球に限らず社会人硬式野球、独立リーグ、プロ野球など、大学以上の硬式野球という形は現代このようになっております。高校生以下の野球に関しては選手1人1人の能力がまだ発達段階というところもあり、ミスに付け込んだり、雰囲気であったりといった要素で勝つことができます。したがって私たちの今回の結果という部分に関しては100%能力が相手に勝らなかったというわけであります。「声が出せなかった」、「チームの雰囲気が悪かった」、「ベンチワークがうまくいかなかった」という言い訳は大学野球においてはもうできません。こういった意見には「ならチーム全員大谷翔平でも雰囲気で負けるのか?」といった質問を投げかけることで解決できるかと思います。現チームが勝つということを目標にしている以上、このような厳しい講評をさせていただきました。

一方で私情になってしまいますが、私は現在少し部活動から離れています。理由としては就職活動の始動というところと技術練習をする意味がよくわからないからです。技術練習をする意味が分からないといった部分においては、ほとんど週に1回という短い活動時間で、技術練習を行うということほど非効率的な使い方はないなと感じたからです。そもそも技術練習というのはその技術を習得する体があり、それ相応の知識を持っているまたは持っているコーチが

いることが前提です。これらのことからさらに野球の技術を上達させるために最も近道だと考えるのは体づくりということになります。まだ大学生活は3シーズンあるということで長い時間をかけて自分のペースで作りに上げていきたいです。今シーズンの秋リーグまでに間に合うかどうかは7月現在不透明なので、来春にはなんとか投球を見せたいと考えていますので、ぜひ投手小谷の活躍にご期待ください。



背番号 22

3年 花井慧汰(はないけいた)
京都府 京都外大西高校

春季リーグ戦、新人戦、上南戦、お疲れ様でした。そして、お忙しい中球場まで足を運んで頂いた OB、OG.、父兄の皆様、応援ありがとうございました。この場をお借りして皆様に感謝申し上げます。

昨年から副主将というチームの幹部の一部を務めさせていただいておりましたが、今年からは主将というチームを代表する存在に就任しました。常にチームを考え、情を捨て、チーム全体を見られるように心がけてきましたが、部員と何度もぶつかってしまいうということもありました。そこはまだ自分がチーム全体に浸透しきれていな

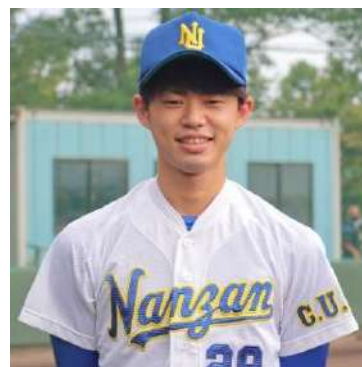
いところでもあります。部員には迷惑をたくさんかけてしまっています。それでも、今もついてきてくれている部員には大変感謝したいです。

春季リーグ戦では 2 季連続の 3 部リーグの優勝と入れ替え戦への進出は果たすことができず、3 部リーグ 3 位という悔しい結果に終わりました。春季リーグ戦では名古屋大学に勝利したもののその後の愛知教育大学に敗れ、優勝決定戦でも愛知教育大学に敗戦し 3 部リーグ優勝を逃しました。1 年生の頃から後一步のところで優勝を逃し続け、昨秋では 3 部リーグ優勝したが、入れ替え戦にて後一步のところで日本福祉大学に敗戦し昇格のチャンスを逃しました。大学野球でチャンスを逃し続けている。この悔しさをバネに秋こそ 2 部リーグ昇格を果たします。また、就職活動などで自分と同年の 3 年生の多くは次の秋季リーグ戦で引退をしてしまう。次のリーグ戦が硬式野球部の自分と同年全員で挑める最後のリーグ戦となるので必ず勝って全員で喜びたいです。

今年の上南戦では上智大学にこれまで連続で勝ちを並べていた連勝を止めてしまいました。実力の差などは感じなかったからこそ、悔しい気持ちと勝てなかったという責任感を感じています。来年で自分も上南戦最後の年となるので来年こそ勝利に貢献し最後の上南戦を勝利で締めくくりたいです。

まだまだ主将として実力も存在も不甲斐ないばかりですが、これからもチームの勝利を考え、チームのために尽くしていきたいと考えます。そして、この秋季リーグ戦で必ず遠ざかっている 2 部昇格を果たして

見せます。勝って笑っていい形でシーズンを締めくくれるようにこれからも全力でプレーしていきます。これからも応援よろしくお願い致します。



背番号 29

3 年 小西裕一郎(こにしゅういちろう)

岐阜県 加納高校

自分が南山大学硬式野球部に入り 3 年目となり、実質的に最高学年となりましたが変わらず楽しく活動できていると思います。これからは最高学年としての自覚を持ち、今までの野球部に受け継がれてきたものを継承しつつ楽しく活動し、より強くなっていければと思います。

今年の春季リーグ戦は同率で 3 チームが 1 位、そして順位決定戦で敗退という形で終了しました。昨年の秋、入れ替え戦で負けてからもう一度リベンジすることを目標にチームとしてやってきましたが悔しい結果となりました。また、個人としても春季リーグ戦が始まる直前の練習中に怪我をしてしまい、全試合出られる状態にありませんでした。入部して以降初めて大きな怪我をすることにより野球ができない期間が続き、自分個人としてもとても悔しい春季リーグ戦となりました。今回は不慮の事故でした

が、また怪我をしないように練習中の安全の確保や身体のケア、運動前の準備等を今まで以上に大切にしていかなければいけないと感じました。自分はまだ4年になっても野球をやり続けるか決めていませんが、今現状一緒にやれる3年のメンバーと揃って戦えるのは、今年の秋季リーグ戦で最後になります。とにかく最後に悔いの残らないようにベストを尽くして頑張ります。今のメンバーで最後笑って終わることができるように野球を楽しみ、目標である2部昇格を果たせるように秋季リーグまで練習を重ねていきます。個人的にも今回の春季リーグ出ることができなかった分、秋季リーグで自分が納得いく成績を残せるように努力していきます。

最後に、自分が好きに野球をやれていることが当たり前なことでは無いということを忘れず、監督を務めてくださっている横江さんをはじめ支えてくれている両親やキャプテン、主務、マネージャー、チームのみんな、また長年硬式野球部を支えてくださるOBの方々に感謝の気持ちを持って、これからも楽しく野球を続けていけたらと思います。



背番号41
3年 武田知樹(たださとき)

愛知県 高蔵寺高校

私の目標は、最上級生としてチームに貢献し、リーグ戦に出場することでした。この目標を達成するため、どうすればチームに貢献できるかを考えました。去年は代走として起用されることが多く、そこが私自身のストロングポイントだと感じました。そのため、私は自身の長所である走塁力を磨くことに集中しました。昨年から考えていた相手が嫌がる走塁方法について見直し、敵チームの技術を盗み、プロ野球選手の動画を参考にしました。実践とイメージを何回も繰り返しました。自宅でも体幹トレーニングやランニングを続けました。初めは、頭でイメージしたことを実践に繋げることが難しく、失敗が続きました。しかし、失敗をするたびに立ち直り、努力を継続した結果、練習で成果が出るようになりました。練習で成果がでると練習試合でも成果が現れました。私の走塁力の自信は確信へと変わっていきました。そして、走力に自信がつくことで打撃にも自信が生まれ、リーグ戦ではスタメンとして出場することができました。その試合では、タイムリーヒットを打つこともできました。この経験を通じて、小さな努力が無駄ではないことを自分自身で証明しました。まだ完全なレギュラーメンバーにはなれていませんが、今後も努力を続けていきたいと思います。次の目標は、秋季リーグ戦にレギュラーメンバーとして全試合出場することです。そして、自身の長所を最大限に発揮してチームに貢献したいと思います。そして、チームの目標である2部昇格も達成したいと考えています。そのために、次はまだ自分に足りていない打撃力

を磨いていこうと考えています。この経験から、努力することの大切さや目標に向かって努力を続けることの重要性を学びました。これからも目標を持ち、その目標に向かって努力し続けることで、自分自身の成長とチームへの貢献を果たしていきたいと思っています。スポーツを通じて得た経験を糧に、常に自分を磨き続けて行きたいと思っています。リーグ戦での経験は私にとって大きな自信となり、次のステップへ進むための強い動機付けとなりました。これからも一步一步着実に前進していきます。最後は、後悔のないように終われるようにしたいです。



背番号 44

3 年 棚瀬 柊人(たなせ しゅうと)

愛知県 名東高校

春季リーグお疲れ様でした。秋季リーグは5勝1敗、優勝決定戦にて愛知教育大学に敗退とリーグ3位という結果に終わってしまいました。「2部昇格」という目標を掲げて挑んだ今回のリーグ戦でしたが、思うような結果とはならず、悔しさの残るリーグ戦になってしまいました。しかし、今回の結果から得られたものは多くあると思います。昨年の秋季リーグは優勝からの今回の

3位という結果。自分達の立ち位置をもう一度確認できたと思います。

ここからは、また一から練習し一つずつステップアップしていくしかありません。一人一人が自分の役割を認識し自分がやれることを確実に行うことができればチームとしてレベルアップできると思います。個々の力で挑むというよりも南山大学硬式野球部として全員で次のリーグ戦に挑みたいと思います。ここで大事になってくるのがこれからの夏シーズンの過ごし方だと思います。7月末から8月末にかけて1ヶ月間、私達一人一人が何をするかで今後の結果は変わります。私は「主体性」をもつことが何よりも大切だと思います。私自身、三年生ということもあり就職活動が控えています。夏のインターンなど部活動との両立が重要になると考えています。練習に参加できなくても、やることは溢れています。時間がないという良いわけをしない。時間は自分で創り出すもの。何かを言い訳にして、何かを疎かになるという事は避けたいと思います。自分が決めたことをやりきる。そういった意味でも、自分の人生経験としてこの時間を良いものにしていきたいと思っています。また私は周りの環境を言い訳にしたくありません。環境は自分自身で創る。そして与えられた環境の中で何ができるのかをよく考え行動していきたいと思っています。そしてこの取り組みを秋季リーグでぶつけていきたいと思っています。

私自身、今までは出場機会が少なかったのですが、この春季リーグから徐々に力がついている実感があります。自分が今までやってきたことを信じ、最後まで自分の信念を貫くシーズンにしたいと考えています。

秋季リーグで良い報告ができるよう頑張りたいと思いますので今後ご支援、ご声援よろしくお願いいたします。



背番号46

3年 山田健太郎(やまだけんたろう)

岐阜県 大垣北高校

南山大学野球部に入部してからもう2年が経ちました。当たり前居前に居てくださった先輩方は引退され、いつの間にか私たちが最上級生となっていました。そんな中で自分に何ができるかを考え、みんなが野球に集中できる環境を作っていこうと思いました。そして、自分の得意な声を出すことと、細やかさを中心に何とかチームに貢献しようと思いました。

昨季の悔しさをバネにチーム全体が必ずリーグ戦は2部に上がるという目標のもとより一層気を引き締めて練習に取り組みました。リーグ戦が近づいてくるとチームの雰囲気も少しずつ変わってゆきました。厳しい声もチーム内で飛ぶようになりました。そして迎えたリーグ戦でした。しかし目標としていた優勝は叶わず、昇格戦に進むことができませんでした。あと一勝で優勝が見えていたからこそ悔しかったです。そし

てミーティングでは次こそは絶対に昇格しようと心に決めました。次のリーグ戦はこのチームのメンバーと一緒にプレーできる最後のチャンスです。この秋が昇格する大きなチャンスだと感じています。一緒に野球がまだできる喜びと共に、残されたわずかな時間を改めて感じ、自分の心も引き締められました。秋季大会にむけて、一人一人の強みを伸ばしていくことが必要だと感じています。大学はDHがあるし、ワンポイントでピッチャーが出てきても良い、守備固めで終盤の大事な場面が出てきても良い。野球は9人だけでやるスポーツではないので、自分のストロングポイントを見つけそこを伸ばすことが大切だと思います。自分の役割は何よりとにかくチームが暗くならないように声を出す事だと考えています。その役割は自分が担っていきたいと思っています。短期決戦を勝ち抜くにはチームの明るい雰囲気が大事だと感じています。

自分が野球をやれているのは当たり前なことでは無いです。試合のサポートをしている中で多くの人に関わってくださっている事を気づけました。支えてくれている両親やキャプテン、主務、マネージャー、チームメイト、OBの方々に感謝の気持ち絶対に忘れず野球を続けていきたいです。



マネージャー
3 年 齋藤希(さいとうのぞみ)
福井県 仁愛女子高校

春季リーグ、上南戦お疲れ様でした。この場をお借りして、平素より南山大学硬式野球部を支えてくださっているすべての方々に感謝申し上げます。横江監督、大橋会長、OB・OGの方々、そして球場に足をお運びいただき、温かい声援を送ってくださる皆様、誠にありがとうございます。最高学年のマネージャーとして、皆様からのご支援があってこそ私たちが活動できているのだなと強く感じます。

昨年度は 8 月から 12 月にかけてアメリカに留学をしており、新チームになってからも先輩マネージャーに仕事を続けていただきました。12 月に帰国し、いざ自分がチーフマネージャーとして活動をして行く上で、正直仕事量の多さに衝撃を受けました。オフ期間は自分がやったことのない書類作成に終われ、オフが明けてもてんこ舞いでした。3 月からは就活も始まり、書類作成で手一杯で、練習や試合に顔を出すこともなかなかできなくなっていました。しかし、部活に行くたびに選手は暖かく迎えてくれ、いつもありがとうと声を掛けてくれます。そんな心優しい選手たちに恵まれて、私もより一層心が引き締められ、今日までたくさんの仕事をこなせています。

春季リーグが始まり、初めて公式戦でアナウンスを任せていただきました。保護者の方々や OB の皆様に、アナウンス上手だねと声をかけていただくことも多く、日々の自分の成長を感じられ嬉しく思っています。全力で頑張っている選手たちを傍で見

守りながら、名前を呼ぶことに嬉しさを感じ、1.2 年生の頃以上に部活を楽しんでいる自分がいます。結果は惜しくも 3 位と、優勝はできなかったものの、秋は絶対に入れ替え戦連れて行ってもらおう、その分マネージャーとして出来ることは全力で頑張ろうという気持ちになりました。

新入生がたくさん入ってきてくれ、マネージャーの数も例年より多くなりました。スコアの書き方や普段のマネージャー業務を教えていく中で、最高学年のマネージャーがしっかりしないといけないという強い責任感が芽生えました。みんなと賑やかに部活を楽しみながら、私も残り数ヶ月、全力で選手のことを支えたいです。

最後になりますが、いつも南山大学硬式野球部を支えて下さる全ての方々に感謝申し上げます。秋こそ優勝目指して選手、マネージャー一同全力で頑張ってまいります。今後ともよろしくお願い致します。



背番号 5
2 年 齋藤奨太(さいとうしょうた)
三重県 三重海星高校

春季リーグ戦、新人戦とお疲れ様でした。春季リーグ戦では 3 位、新人戦では初戦敗

退という悔しさしか残らない結果となりました。今年のリーグ戦では昨年のような打撃力で繋いでいくような野球ではなく、守備力で粘りぬく野球が印象的だったと思いました。打線が中々繋がらない試合でも守りから徐々に流れをつくっていくことが今のチームの強みだと感じています。特にその力が発揮できたのが名古屋大学戦だったと思いました。先制されはしたものの、我慢強く守ることができた末、少ないチャンスを生かしたことが勝利に繋がったと感じました。しかし、今回の春季リーグ戦での敗戦はやはり打撃力の低下であると感じました。チャンスをつくる際も得る際も安打が中々出なかったことが大きな課題であると感じました。

個人としては、今回のリーグ戦では主に三塁手のレギュラーとして出場する機会を多く与えてもらうこととなりました。そのため、昨年のようなサポートしてではないため、一層チームの勝利のために最善を尽くすための行動をし、常に自覚を持つこと意識していました。また、打撃面に関しては、上位打線に置かれることが多くありました。そのため、自分の仕事はクリーンアップにチャンスをつくるためにも塁に出塁することだと感じていました。その結果、出塁率は.440 となりました。自分自身としては、まだまだ上げられる数字だと感じているため、打席の中では打つことだけをただ考えるのではなく、投手の球数を増やすことや守備の際をついた攻撃を常に意識することが大切だと改めて感じることとなりました。

夏休みの期間においてでは練習する時間がいつもよりも倍以上に多くあるので、春季リーグでの主な課題である打撃力を強化

するにも大きな機会であると思います。そのため、1 日 1 日の練習を大切にしていきたいと思いました。また、練習試合においても、愛知の 2 部や県外の力があるチームと戦える予定を組んでいただいたため、実践においてもレベルアップできる可能性があり、チーム力を高めれる期待となります。



背番号 13

2 年 深谷陸登(ふかやりくと)

三重県 三重海星高校

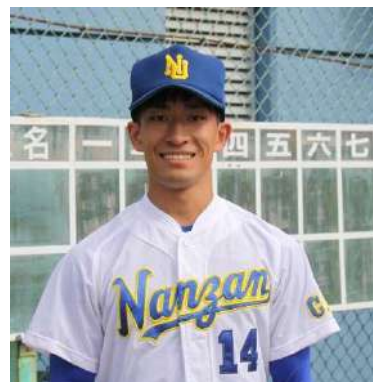
春季リーグ戦、上南戦、新人戦を振り返って

春のリーグ戦、上南戦おつかれさまでした。また、2 年生以下の選手の方々、新人戦おつかれさまでした。2 年生になり、新しく 1 年生が入り、選手が 20 人、マネージャーは 3 人と部員が増えました。今年の春のリーグ戦から上南戦にかけての期間は、私たち野球部にとっての課題が多く見つかったと感じます。昨年と比べて、卒業生、現在の 4 年生が抜けて出場する選手がガラッと変わり、チームとしての変化をすごく感じました。春のリーグ戦の結果は 3 位でした。チーム全体の目標として目指したリーグ優勝を叶えることができず悔しい気持ちもあ

りました。また上南戦でも上智大学に敗れました。私たちが勝てば優勝ができたという事を知り、悔しさが込み上げました。他にも新人戦では至学館大学と試合をし、コールド負けしました。3部リーグと2部リーグの力の差を大きく感じました。2部リーグへの昇格も目標にしているので、その力の差を無くせられるような努力が必要だと感じました。これらの出来事を通して、チームの様々な面での反省点が見つかりました。それを秋のリーグ戦までの期間で、克服しなければならないと感じています。

個人としての反省

個人としての反省は自己管理の怠りです。リーグ戦では肩の怪我により出場したのは優勝決定戦の1イニングのみでした。そこから、上南戦に向けて、練習や試合を経て調整してきましたが、上南戦が行われる週に新型コロナウイルスの感染により、出場機会を逃しました。リーグ戦、上南戦を通して、悔しさだけでなく試合を見ることしかできない自分の無力さを感じました。1年生も入ってきて、競争力も高まってきているので、自分の出場機会を奪われないようにしなければという不安もあります。新人戦では出場できたものの、自分の力不足を感じ、3部リーグを優勝し、2部リーグに昇格を果たすためにはもっと成長しなければならないと感じました。悪いことばかりではなくて、いい部分も見つかったので、その部分も伸ばし成長に繋がりたいです。秋のリーグ戦では、自己管理を徹底し、チームの戦力となれるようにリーグ戦までの時間を過ごしたいです。



背番号 14

2年 森上駿太郎(もりかみしゅんたろう)
愛知県 名古屋高校

春リーグお疲れ様でした。応援ありがとうございました。今リーグは怪我のため最終戦まで投げれずに終わり大変悔しいリーグとなりました。このリーグで学んだことはオープン戦からこのリーグまでの調整の仕方を考えるべきだったということです。オープン戦でいくらいい結果を出そうがリーグ戦を投げられなければ話にならないと思いました。これを踏まえて次のリーグ以降自分の体の調整を入念にしていける必要があると感じました。また怪我明けでの秋リーグに参入することになると思うので次のリーグを乗り切ることを最優先に考え、無理は禁物と自分に言い聞かせて気長に向き合って行こうと思いました。その一歩目として投球フォームを改善しなくてはならないと切に感じました。肘に負担をかけずに出力出せるような身体全体を使ったフォームを習得する必要性を感じました。そのために焦って球速だけを追い求めるのではなく、次年度にもつながるように長い視点を持って取り組んでいきたいと思います。最後にこのチームで求められるのはいかに計

算できる投手になるかだと考えています。そのためには長いイニングをいかに低い失点で投げるかが大切だと感じました。なので今後も体つくりとリハビリを頑張っていきたいと思います。今後とも応援のほどよろしくお願い致します。



背番号 16
2 年 林 伶 真 (はやし れ い ま)
愛知県 小牧南高校

春季リーグ、上南戦お疲れ様でした。春季リーグでは 3 部リーグの優勝を目指していたが、3 位という結果になってしまったことに対して悔しく思っています。上南戦も敗北してしまい悔しい思いをしました。今年の春リーグでは、先輩方をベンチから応援したりサポートしていた昨年とは異なり、スタメンで試合に出させていただく機会が増えて自分にとって良い経験になりました。自分がベンチで応援していた気持ちを背負ってグラウンドに立ち、プレーをすることが出来ました。

個人としての課題は、バッティングです。強く遠くに飛ばすことが出来ないのが自分の弱みです。春のリーグ戦では単打しか打つことが出来なかったため、チャンスを拡大

することが出来なかったです。さらに、優勝決定戦で愛知教育大学戦の 2 アウト満塁の場面で後ろに繋げることが出来ずに自分で終わってしまい負けてしまったので自分の不甲斐なさを痛感しました。自分のスイングを強く遠くに飛ばせるようにするために先輩方に教わったり自分で調べて試行錯誤をしていこうと思います。自分のレベルアップはチームの攻撃力の上昇と直結すると思っているため、必ず結果を出さなければならないと思います。自分のスイングだけを見直すだけでなく、フィジカルを鍛えなければなりません。自分はまだ細身で筋肉を付け体重を増やせることができます。1 年生の時とは異なり自分の野球に当てる時間が多くなりました。そのため、筋トレをする時間を多くすることが出来るようになります。そうすることで筋トレの強度と頻度をあげることが出来ます。

チームの課題としては守備だと思います。春のリーグ戦で内野のエラーが目立ちました。さらに、ピッチャーはストライク先行で試合を運ぶことが必要であるが、それが出来ないことがありました。ランナーを出すとボール先行が多くなり、バッター有利なカウントにすることが多かったです。さらに、カウントを取りに行く球がストレートしかなく狙われる場面もありました。今のチームは野手と投手で別れて練習をしているためお互いに責任感が強くあり試合で求められる結果も高くなっています。



背番号 25

2年 今福優晴(いまふくゆうせい)
愛知県 名古屋経済大学市邨高校

春のリーグ戦お疲れさまでした。今春のリーグ戦は同率1位となるも、順位決定戦で敗れ3位となり、新人戦も初戦で敗れ、思いうような結果が出せませんでした。格上相手に善戦し接戦を勝ち切った試合もあれば、ここぞという試合や場面でのミスや凡退が響き、流れに乗り切れず負けることもありました。前年度の秋にリーグ戦を勝ち抜き入れ替え戦へ行くことができただけに、今回のリーグ戦を勝ちきれなかったことに悔しさが残ります。秋季リーグではまた入れ替え戦に行き、今度こそ2部昇格を果たすために有意義な夏休みを過ごしていきたいと思います。

今回の春の活動を通してチームとして総合力が課題だと感じました。守備では大事な場面でのミスが目立ち、打撃ではいい投手を打ち崩せないことやチーム1本目のヒット、チャンスでの一本が出ないことなど、守備、打撃の両面で課題がみられました。また投手陣もけが人が多いことや制球難など、決して高いレベルで野球ができているとは言えない状況です。そのため秋季リーグを

勝ち抜くには全体的なレベルアップが必要です。秋季リーグまでの夏休みはより量と質を追い求めた練習をしていかななくてはならないと感じました。

チームとしては悔しい結果に終わったこの春でしたが個人としてはとても成長を感じられる期間でした。2年となり去年より出場機会が増えた中で、自分が思っている以上の結果を残すことができました。個人成績はチーム中でどれも高水準であり、一番打者としてチームの勝利に貢献できた試合が多かったと感じました。春季リーグに向かうにあたり、自分が課題と設定していたのが打率と長打、そして出塁率です。昨年チームを引っ張っていた先輩方が引退したため打撃面での成長がチームにとって必要不可欠であると感じ、打撃向上を目標に設定しました。そのためにトレーニングに力を入れ、フォームを修正するなどした結果、リーグでトップの安打数である13本のヒットを打つことができました。自分がチャレンジしたことが結果として残すことができたので、さらに上を目指しチームの2部リーグ昇格に貢献したと思います。

秋のリーグ戦は一つの節目となるので目標である2部昇格を共通認識にし、チームとして同じ目標に向かっていく質の高い時間を過ごしていきたいです。



背番号 27
2 年 蛭川健太(ひるかわけんた)
愛知県 西尾高校

皆さん、春季リーグ、上南戦お疲れ様でした。OB など関係各所の方々、日々のご支援本当にありがとうございます。

さて、今季の結果としては春季リーグ 3 位、上南戦敗北とチームとしては不本意な結果に終わってしまいました。春季リーグでは、宿敵である名古屋大学に勝利したものの、その後の愛知教育大学に敗戦を喫し、6 勝 1 敗で並んだ 3 チームのトーナメントの末、再び愛知教育大学に敗れ 3 位という結果に終わりました。個人的には、3.4 年生が抜け、全試合を通じてスタメンとして出場しましたが、守備、打撃共に勝利に貢献することができませんでした。守備では荒削りな部分が目立ち、打撃ではチャンスで三振や併殺打が多く、5 番としての仕事をこなせませんでした。昨冬から外部コーチの方の指導を受けるなど、自分の打撃を見つめ直してきたこともあり、愛知教育大学戦では大学初本塁打を打つこともできましたが、確実性に欠け、打率は 2 割前半と低迷してしまいました。秋リーグからは、今まで以上に貢献しなければならないので、

夏季練習を通じて自分の課題を克服していきたいと思っています。チームとしてはチャンスで得点ができない、淡白な攻撃になってしまうなど得点力不足に喘ぎました。この課題は去年からチーム内で共有されてきたことではありましたが、未だ克服には至っていません。上南戦でも 1 安打完封。週 2 回の練習で、まともなバッティング練習ができるのは 1 日だけという状況で現状を変えるのは難しいですが、夏季練習の中で試行錯誤していきたいと思っています。また、春季リーグでは、2 年生の経験あるピッチャーが怪我で離脱しており、3 年生と、経験の浅い 1 年生が交互に投げる形になりました。秋季リーグでは、2 年生が復帰し、春季よりも安定したゲームができると思います。さらに、夏季の練習やレンジ試合を通じて、1 年生投手の実力の底上げが出来れば、より楽にゲームが進められるので、この夏季練習を大切にしていきたいと思っています。



背番号 55
2 年 永谷勇樹(ながたにゆうき)
愛知県 国府高校

春のリーグ戦と新人戦と上南戦お疲れ様でした。リーグ戦は 3 位、新人戦は初戦敗

退と悔しい結果になってしまいました。僅差で負ける試合や、ホームランが出るなど良い面もたくさんありましたがエラーなどチャンスで点が取れないなど課題も明白になったリーグ戦だったと思います。チームとしては昨年まで主力であった 3,4 年生が抜け、新しく 1,2 年生が試合に出る機会が増えました。リーグ戦ではいい部分も出すことができましたが、結果としては愛知教育大学に負けてしまい目標である 2 部昇格は叶わず 3 位という結果に終わってしまいました。自分達のヒットで点が取れないという現状があるので夏休みの練習で克服していきたいなと思います。個人としては大きな改革に取り組んだかなと思います。西塚さんや宮城さんが通っているバッティングのセッションに初めていきました。正直なところ自分としても今までバッティングは何が自分があるのかわからずやっていた部分があり、高校の監督さんに教えてもらったことを試すなどしかしてきませんでした。ですがセッションを受けたことにより自分のどこが長所でそれを活かすフォームを教えてもらいました。初めて公式戦にも出させてもらい、なおかつヒットも打つことができ収穫もありました。ですがフォームを改造したことによりピッチャーとのタイミングとの取り方に苦しみ結果を出すことが出せていませんでしたが、そんな僕にも西塚さんや健太は何一つ嫌な顔をせずアドバイスを送ってくださり、いいチームメイトに恵まれたなと心の底から思います。少しずつではありますがいい方向に進んでいると思います。自分の弱点として初球からスイングをかけれないという部分があるのでそこを克服していきたいと思

います。早くこのバッティングフォームを自分のものにしてチームに貢献します。一年生の頃からお世話になった先輩達と 2 部昇格し、先輩に恩返しをしたいです。一球一球大切に練習を行っていき、目標である二部リーグ昇格に向けて頑張っていきたいと思っています。暑い中ではありますが応援よろしくお願いします。



背番号 66

2 年 神谷真之将(かみやしんのすけ)

愛知県 西尾東高校

春季リーグ、上南戦お疲れ様でした。あまり良い結果ではありませんでしたが、秋季リーグに向けて、チーム全体の課題が見つかったと感じました。自分自身、大学入学後約一年間野球から離れ、再び入部した身なので、今回の春季リーグ、上南戦はとても新鮮でした。ですが、怪我により出場することはできず、個人としては課題を見つけることができませんでした。まずは、怪我を治すことを最優先し、今後のリーグ戦に向けて日々努力していきたいと考えています。怪我をした理由としては、大学一年生時にアメフト部に在籍していたこともあり、ウェイトトレーニングばかり取り組み、柔軟性や瞬発力など、野球というスポーツにおい

て無くてはならない要素が欠如していたからだと考えています。このことから、怪我の早期回復に向けて、ストレッチや瞬発系トレーニングなどを欠かさず行っていきたいと考えています。怪我が回復した後は、秋季リーグで貢献できるよう、努力していききたいです。具体的には、「マウンド上での投球感覚を取り戻すこと」、「再び怪我をしないような投球フォームの確立」、「球速アップ」の三つの点に焦点を当てて、練習に取り組みたいと考えています。そして、秋季リーグはどの試合でも投げられるようなピッチャーが少なくとも3人はいるチームを作り上げていきたいです。また、練習時間の少ない南山大学硬式野球部において、自主トレの時間がとても重要になってきます。特に、野手陣は得点力の向上が絶対に必要になってくると思います。その時に問題となってくることは、前から実際に投げられるボールを打つ機会が、練習時間と比例して少なくなる点だと感じます。この点を改善するためには、水曜練の日は前からくるボールを打つ打撃練習を主に実施し、金曜練の日は守備に特化した練習を行うといったような工夫をする、個々人が母校野球部での練習に参加し、前からくるボールのバッティング感覚を身につける、バッティングセンターに行くなどの方法があると考えます。



マネージャー

2年 水谷実心乙(みずたにみこと)

愛知県 西春高校

春リーグ、新人戦、上南戦お疲れ様でした。平素より南山大学硬式野球部をご支援してくださるOB・OGの皆様、横江監督、球場へ応援に来てくださる方々に感謝いたします。誠にありがとうございます。

私はこの春期間、自己都合により野球部の練習や試合に参加出来ないことが多くありました。学年が上がり後輩ができたタイミングで休みを頂いてしまっていることを反省するとともに、自己都合ではありながら理解して下さったマネージャーの先輩後輩、部員の方々にも感謝しています。ありがとうございます。この野球部と離れていた春期間、同期の成長を大きく感じました。後輩ができ、入部して1年がたったにも関わらず、私は未だに自分のことを行うのに精一杯です。しかし、同期は後輩を引っ張りながらもしっかりと自分のやるべき事と向き合い、成長していました。その姿に感激すると共に、焦りを感じました。チームは春リーグや上南戦で悔しい思いをし、それを胸に秋リーグに向けて練習や試合の熱量は増し、士気を高めています。しかし、私はこの春学期は正直、日々の忙しさに圧倒され、私の中

で野球部に対する意識が下がっていました。自分が悪いのですが、置いてけぼりになっている感覚がずっとありました。チームの一員として秋リーグで2部昇格を果たすため、心を入れ替え頑張りたいと思っています。秋リーグが終わると私たちが最高学年になります。マネージャーは最高学年の仕事量が圧倒的に多いです。それを見据えて自分で考えて行動しなければいけないと感じさせられました。秋期間は同期に追いつけるように積極的に行動することを心がけたいと思います。チームの目標である2部昇格ができるように、私に出来ることを精一杯頑張りたいと思います。

これからも迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、先輩や後輩を頼らせていただきながら自分に出来ることを精一杯頑張りたいと思います。



背番号2

1年 海老壺喜(えびいつき)
愛知県 名城大学付属高校

春季リーグ、新人戦、上南戦お疲れ様でした。思い返せばあっという間の出来事でした。私はありがたいことに1年生ながら春季リーグから試合に出ることが出来ました。

しかし、結果は全く出ず、チームに迷惑をかける形でこれらを終わしました。

初めての一人暮らし、大学野球への順応、新しい仲間とのスタートなどが重なり、新しいことの連続で環境になれることができず、自分の本来の力を存分に発揮することが出来ませんでした。ただ、調子が悪い中でも支えてくれる仲間、家族を裏切らない、そして、自分が試合に出てということは必ず試合に出られない仲間がいること、それらを忘れず、責任感は持ち続けました。すると、試合を重ねていくうちに少しずつですが、結果が残る試合が増えてきました。春季リーグは主に下位打線を担っていましたが、新人戦、そして上南戦では主に1番バッターを任せてもらえるくらいに調子をあげることができました。しかし、まだまだ本調子という訳ではありませんし、自身が特別なにかチームのためになっているとは思っていません。

そこには自分が今何を目指していて、チームが何を目指しているのか曖昧なところがあるからだと思います。高校生時は甲子園に行くという明確な目標がありました。それに向かってひたむきに努力をすることができていた自分がいました。しかし、大学野球を始めて、まだ自分の目標というものが見つかっていません。今野球を続けられているのは野球が好きという気持ちがあるからのみで、大学野球にやりがいを感じることができていないまま、これらを終わしました。このような中途半端な考えだから結果が伴ってこないのだと私は考えています。したがって今私に必要なのは、自分の存在意義を問うことです。チームにとって私はどういう存在なのか、自身の強さはなにか、

私ははこのチームをどうしたいのか、私はこのチームでどんな野球をしたいのか、私はどんなプレイヤーになりたいのか。このような問の答えを探すことが自分が描く理想のプレイヤー、チームに近づく1歩だと考えています。

夏休みに入り、合宿や秋リーグが近づいてきますが、まずはこれらの問いの答えを見つけ、それに向かって練習を重ね、チームがより良い方向に向かうためのピースとなれるよう邁進していきます。



背番号 4

1 年 西出涼雅(にしでりょうが)

三重県 海星高校

春季リーグ戦、新人戦、上南戦お疲れ様でした。私は小学校の頃から野球を始めて高校も野球部に所属していました。高校野球を引退して大学では野球部に入るつもりはなかったのですが、南山大学の野球部の部活体験をする中で野球のおもしろさや楽しさに改めて気づくことができました。先輩方はとても優しい人や野球に対して熱心な人が多く憧れの存在になっています。チームとして、春季リーグ戦は準決勝で愛知教育大学に惜しくも 4-3 で敗れてしまい、あと 1 点の重みをこれまで以上に感じる試合

になり、3 部優勝決定戦で優勝することはできませんでした。新人戦では、至学館大学に 9-1 で大差で敗れてしまい、至学館大学の選手たちに力があつたとはいえ不甲斐ない試合になってしまいました。上南戦では、上智大学に 4-1 で敗れてしまいました。上智大学の選手たちにも走攻守全てにおいて力があり、非常に勉強になった試合でした。どの大会においてもチームとして攻撃力の向上と守備力の底上げが課題になりました。個人としては、春季リーグ戦や新人戦では出場機会がありませんでしたが、上南戦では代走として試合に出場させていただくことができました。この時、バッターが少しでも楽にプレーをすることができるように相手のバッテリーにできるだけプレッシャーをかけたいと考えました。なんとか相手のバッテリーから盗塁をすることができ、チームメイトの先輩方のおかげでホームまで帰ってくることもできました。このことから全員野球で 1 点を奪うことができたのでチームプレイの大切さを学ぶことができました。出場機会は少なかったですが、非常に貴重な経験をさせていただくことができました。次の秋季リーグ戦では、自身のスキルをもっと向上させて少しでもチームに貢献できるように日々の全体練習だけでなく、自主練習もまた精一杯頑張りたいと思います。最後に、自分が野球をすることができていることは当たり前ではなくチームメイトの方々やサポーターの方々、OB、OGの方々に感謝して練習や試合に取り組みたいと思います。



背番号 6

1 年 高島壯汰(たかしま そうた)
愛知県 名古屋南高校

春のリーグ戦・新人戦お疲れさまでした。今年のリーグ戦では順位決定戦で愛知教育大学に敗れ3位という結果に終わってしまいました。更に新人戦では至学館大学に敗れ一回戦敗退という結果に終わってしまいました。自分は試合に出場することがほとんどなく、試合に出ている先輩方や同級生のプレーを見て自分の至らなさを実感するいい機会になりました。これから始まる夏休みの練習ではまずは高校での部活を引退してからなまり切った自分の体をもとの状態に戻すところから始めていきたいと考えています。具体的にまず体作りから始めていきたいと思います。先輩方のように俊敏に動けるような体を作ることができるように努力していきたいと思います。ここまで春リーグや新人戦、練習試合、その他の練習を行っていくうえで様々な課題が見つかりました。体作りはもちろんなのですが、打撃面ではスイングスピードが遅いのので夏の練習でしっかりと振り込みを行い、スイングスピードを向上させていきたいと思います。守備面では一歩目を早く動くことと送球が安定していないので安定させる

ことができるよう、練習していきたいと思っています。現在の南山大学のチーム状況は最小限の失点に抑えていてもチャンスであと一本だすことができず負けてしまうという試合が多いと感じます。実際、春のリーグ戦でもそういった場面が多くここから秋のリーグでは相手に対して打ち勝つことができるチームを目指していきたいと思っています。今年は2部昇格への挑戦をすることができませんでした。個人としてもとても悔しい思いをしました。秋のリーグ戦が終わるころには、3年生のほとんどが引退してしまいます。なので、先輩方が引退してしまう前に様々なことを吸収していきたいと思っています。夏の練習では長い時間練習ができるので一球一球を大切に自分の能力向上に努めていき、秋のリーグで2部リーグに昇格できるように頑張っていきたいと思っています。



背番号 7

1 年 漆谷悠斗(うるしたに ゆうと)

愛知県 愛知高校

春のリーグ戦、新人戦、上南戦お疲れ様でした。春のリーグ戦では第3位、新人戦は初戦敗退、上南戦は敗北という悔しい結果になってしまいましたが新たなステージで

野球ができる事のありがたさ、楽しさというのを感じることができました。

春のリーグ戦では順位決定戦で愛知教育大学さんに負けを喫し、名古屋大学さんとの優勝決定戦に行くことができず目標の2部リーグ昇格にはなりませんでしたがこのリーグ戦で自分はベンチに入らせていただき大学野球というのを感じることができました。先輩方1人1人は自分の役割をしっかりと理解しチームに徹しており南山大学のチームワークのレベルの高さというのを感じることができました。新人戦では2部リーグに所属している至学館大学さんと対戦をしました。初回から連打を浴び、追い込まれてからも何としてもくraitつき外野の前にうまく落としてくるというバッターが多くいたり、簡単にアウトにならないバッターというのが多く、これらが2部との差でもあると感じることができました。またリーグ戦や新人戦を通じて自分自身が感じたことは自らのバッティングの力の弱さというのを感じました。高校の時とは違い木製バットで打席に入るのでしっかりと対応していくことが大事であると芯に当てる技術が必要であるのと力強く振り切ることが必要であり、今その力が欠けているとうことを大学野球の打席で感じました。ピッチャーの投げってくる球もレベルが高くなり様々な球種にも対応していかないといけなく、簡単には打つことが難しいと感じたので今まで以上に見直す必要があり、様々な事を工夫しながら練習するが大事であると感じました。この夏休みの練習ではそのような練習を取り入れるのとチームとしては場面を想定した練習などを増やして練習に臨むというのが大事であると感じま

した。

秋のリーグでは夏休みに取り組んだことを存分に発揮し自分はなにでチームに貢献できるのかという事をしっかりと考え3部リーグ優勝、そして2部リーグ昇格というのを達成できるよう頑張りたいと思います。



背番号 8

1 年 繁澤和明(はんざわかずあき)

愛知県 昭和高校

春のリーグ戦、新人戦、そして上南戦とお疲れ様でした。上南戦では数年ぶりの敗戦という悔しい結果に終わってしまいました。また内容も打線は8回までノーヒット、ピッチャー陣も試合の後半は野手ピッチャーに頼るという形になってしまいました。その中で自分は試合に出場ことすらできず、自分の情けなさを痛感しました。私はピッチャーなので、いまけが人も多く枚数の足りていないピッチャー陣のなかで戦力としてチームに貢献していけるよう成長しなくてはならないと感じました。リーグ戦は2位、新人戦は初戦敗退とチームとしては悔しい結果に終わってしまいました。最終回の逆転勝ちをした試合や相手を完封して勝つ試合などいい面もありましたが、投手の枚数やヒットがなかなか出ないなど課題も

見つかったリーグ戦だったと思います。これからの夏休みの練習や練習試合などで課題を克服して秋季リーグ戦や来年の新人戦につなげたいと思います。個人としては入部して早々に腰を故障してしまい、箇所が箇所なだけになかなか練習にも参加できず自分のレベルアップにつなげることができませんでした。また自分は線が細く筋肉量もほかの選手に比べて圧倒的に足りないため、このままではまだまだ大学野球では通用しないと感じました。そのためこの先大学野球に身を置いて戦っていくには筋トレなどを通して体づくりをしていくという決意が生まれました。自分は筋肉に対する知識や、トレーニング方法について詳しくありません。しかしチーム内の同じポジションに筋トレなどについてやさしく教えてくださる先輩がいらっしゃるのでそのような先輩たちと一緒に体づくりに励んでいきたいと思います。また筋力だけでなく柔軟性も自分の課題の中の一つです。体の硬さのせいでボールのコントロールや球威不足につながっています。なので柔軟性も含めた体づくりを行っていきます。



背番号 11

1 年 内藤弘海(ないとうひろみ)

愛知県 大府高校

南山大学野球部に入部をして約 3 ヶ月が経ちました。

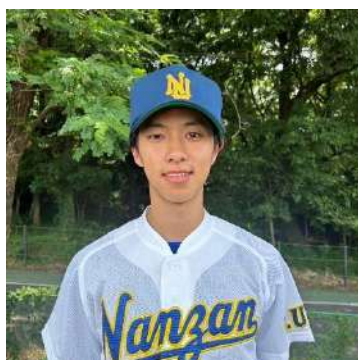
春のリーグ戦では惜しくも負けてしまい、新人戦では初戦敗退となってしまいました。3 年間のブランクと怪我もあってどちらの試合にも出場することは出来ませんでした。試合に出たいけれど出られないというもどかしさ、悔しい状況が今も続いています。今は主に体を作ることをメインに練習をしていて、部活に入る前よりも少しずつですが、筋肉と体重が増えてきて練習の成果を感じています。春のリーグ戦と新人戦を見て感じたことはピッチャーの数が足りていないということです。元々枚数が少ないのがありますが、自分を含めて怪我をしている人が多くて野手がピッチャーをやることが多くありました。1 人のピッチャーとしてそれを外から見ている、この状況はとても良くないと感じました。実力が近い淑徳戦や名大戦は 1 人のピッチャーが 200 球ちかくを投げ切るという試合展開で進んでしまいました。1 人の負担を増やさないということにおいてもピッチャーの数を増やすことが一番必要なのではないかと思いま

した。

今の自分には大きく課題があります。1 つ目は怪我です。入った時から肩を痛めていて、3 ヶ月がたった今も痛みが取れていないという状況です。筋トレやストレッチをして少しは痛みが和らいできていますが、まだ全力でボールを投げることはできません。秋のリーグ戦に間に合うかどうかかわからないですが少しでもやれるように今はトレーニングをしていきたいです。

2 つ目は 3 年間野球をやっていなかったことで経験が他の人に比べて少ないということです。中学生の時に最後の公式戦で長く時間が空いているので感覚を早く取り戻したいです。中学生の時はコントロールに課題があってフォアボールを出してしまうことが多くあったので大学ではコントロールを意識して、テンポよく試合を進められるピッチングをしたいと思います。

秋のリーグ戦では少しでもチームに貢献できるように頑張りたいです。



背番号 12

1 年 天野陸翔(あまのりくと)

愛知県 大府高校

春季リーグ戦、新人戦、上南戦お疲れ様でした。自分が大学受験を経て南山大学に入学

し、南山大学硬式野球部に入部し 4 ヶ月が終わろうとしています。春季リーグ戦は名古屋大学、愛知教育大学とともに同率 1 位でしたが順位決定戦で敗れ惜しくも 3 位という結果でした。しかし、1 年生ながらベンチ入りや登板の機会を与えていただき貴重な経験をさせていただきました。全員で勝ちを目指す中で何よりも楽しく野球をすることを忘れないプレースタイルの南山大学硬式野球部はまだお互いのことを理解しきっていない自分たちでも溶け込むことができ、居心地のいい場所となっていました。自分が印象に残っている試合は淑徳大学との試合です。炎天下の中でのあの接戦を制した瞬間は心を動かされました。また名古屋市立大学との試合では登板の機会を与えていただき、2 回を投げピンチは作りましたが無失点で終えることができ勝利投手になれたこと、同級生の中で最初にリーグ戦で勝利投手となれたことが嬉しかったです。ですが、春季リーグ 3 位に終わり、リーグ戦で勝利した名古屋大学は 2 部リーグ昇格と自分たちも 2 部昇格がそばにあることを知り悔しさは 1 層増しました。2 部昇格に向けて個々、ポジション、チーム単位で必要なことを分析し、改善することで 2 部昇格を目指せる位置にいますので秋季リーグに向けて練習していきます。個人的には制球力をより高めていきたいと考えています。球速に関しては投手として魅力的な数値だと思いますが、抜群の制球力があればどんな相手でもある程度戦えると思うからです。制球力を向上させるために下半身の強化、週 2 回と決して多くない練習の中で感覚を失わないようにすることを心がけ、大学生になった以上自己判断、自己責任で物事が

進んでいくので有限である時間を学業やアルバイトとも両立しつつ野球に打ち込めるといいと思います。まだまだ自立をしきっていないので周りの方への協力のもと野球ができていることを忘れずプレーしていきたいと思います。今後もしご声援よろしくお願ひします。



背番号 15

1 年 石川遥祐(いしかわようすけ)
愛知県 名古屋高校

愛知県の大学野球は 3 部といえども高校野球の強いチームとあまり力が変わらないくらいのチームが揃っており、思ったよりレベルが高かったというのが 3 ヶ月間過ごしてきた感想だ。自分は 1 年生ではあるがリーグ戦で何試合か投げさせてもらった。高校野球を引退して半年以上野球をしていなかったため、投げ方を忘れてしまった状態で投げてしまい、チームに迷惑をかけてしまった。2 部を目指しているチーム状況において、自分はかなり準備不足で入ってしまったことに対して無責任さを感じた春リーグだった。去年の秋のリーグ戦を優勝して春 3 位に終わってしまったことについては、秋の時点で他のチームがどうだったのかは自分は入学していないので分からな

いが、おそらく自分たちのチームが何かしらの問題があつて 3 位という結果に終わってしまったのだと思う。自分が思うには先輩の投手陣が怪我をしてしまつてエースだけに頼るばかりになつてしまったことが 1 番の原因であると思う。エースが投げない時は 1 年生が投げるが多かつた。もう秋リーグからは 1 年生だからという言い訳が効かなくなる事は十分分かつている。ここから秋のリーグ戦に向けては春リーグでの反省点である準備をしっかりとしていきたいと思う。

上南戦については自分は何もできずに終わってしまった。上南戦も久しぶりに負けてしまったと聞き、残念な思いでいっぱいだった。

週 2 回の練習の中でチームが強くなるために、練習日以外の日をどのように過ごせるかが今後の結果を左右する部分であると自分は思う。しかし、野球に全力を注いでやっていきたいと思う人ばかりではないと思う。勉強をしっかりしたくてこの大学に入つて野球は楽しむ程度にやるという方針の人もいるであろう。このようなチームが勝つためにまずは楽しんで野球をやれるような雰囲気づくりをすることが最優先であると感じている。それは 1 年生である僕たちにでもできる事である。もうお客さんの期間はとつくに終わつているので、これからはチームのために動けるような人間を目指しつつ、更なる技術向上を目指したい。



背番号 19

1 年 水野日向(みずのひゅうが)

岐阜県 多治見高校

春季リーグ、上南戦、新人戦お疲れ様でした。協力していただいた方々のおかげで無事に終えることができました。本当にありがとうございました。私は高校野球を不完全燃焼という形で終え、まだ野球がしたいという気持ちで硬式野球部への入部を決めました。入部してすぐに春季リーグが始まり、大同大学戦と名古屋市立大学戦に登板し、貴重な経験をさせていただいたことに感謝しています。大同大学戦では予定であった2イニングを投げ切ることができましたが、名古屋市立大学戦ではコントロールを乱しイニングの途中で降板という不甲斐ないピッチングをしてしまい悔しい気持ちを味わいました。上南戦では3イニング目の途中で降板するという結果に終わりました。チームに貢献し、自分の思うようなピッチングをするには、高校のときから課題であったコントロールとスタミナ不足を克服し球速をあげなければいけません。球速を上げコントロールを安定させるためには、正しいフォームを身に付け、柔軟性を上げ、筋力を上げるためにウェイトトレーニングをしなければなりません。高校生のときに

ウェイトトレーニングはしていたものの自分では深く考えずに、ただやっているだけでした。今はトレーニングやピッチングフォームに詳しく、聞いたらよく教えてくれる先輩がいるので、どんどん聞いて自分の成長につなげられたらと思います。また、高校生のときはストレートの球速が130キロ前後でしたが、現在では120キロを切るストレートしか投げることができません。原因としては、練習不足でフォームが安定しないことや、コントロールの気にしすぎで肘が下がってしまうことが挙げられます。全体で練習できるのが週に2日で、その中で安定したフォームを身に付けるのは自分にとってとても難しいことだと感じています。これから夏休みが始まりボールを投げる機会が増えるので、ここが勝負の期間だと思い、秋に向けて気合を入れていきたいです。



背番号 20

1 年 田島悠雅(たじまゆうが)

岐阜県 大垣南高校

春季リーグ、新人戦、上南戦お疲れ様でした。リーグ戦は同率1位となり、惜しくも順位決定戦で敗れてしまいました。大学に入って、初めての大会で難しい試合など多

くのことを経験できたのはとても良かったと思います。

チームとしては、2 部昇格を目指していましたが色々な要因もあり 2 部に上がれなかったことはとても悔しいです。投手は小谷さん頼りになってしまっていたので、投手全体としての成長が必要だと感じました。新人戦に関しては、投打ともに課題が残る試合になったと思いました。2 部の相手と対戦して、投手は打たれてしまい、打者は打ち崩すことができなかったことからまだまだ未熟だと感じました。この試合の経験を活かして練習していきたいです。

上南戦に関しては、向こうのレベルも高くとてもいい経験になる試合でした。自分は先発をしたけど自分の長所を活かせずに点を取られてしまったことは反省したいです。チームとしては相手の投手が良かったこともあり、なかなか打てませんでした。ですが、楽しんで野球をすることができたのは非常に良かったと思います。

自分自身として、投手の怪我なども重なり春季リーグから使ってもらえて、様々なことを経験してまだまだ成長する必要があることを痛感させられました。相手のレベルが低いところとの対戦では抑えることができたが、少しレベルが上がると打たれだしてしまったので、体づくりなど 1 から取り組んでいく必要があると感じました。自分の特徴として、ストライク先行で投げていることができることだと思います。しかし、それだけでは相手を抑えることはできません。変化球の数やキレ、ストレートの速さなどだけでなく、投球術など投手として足りないことが多くあるので、秋季リーグに向けて夏休みはこれらのことを少しでも短所

ではなく長所にできるように頑張りたいです。

今のチームは投手が最小失点で抑えて、守りを中心として試合を進めていくことが大切になってくると思います。打者はチームバッティングを徹底して、少しでも多く点を取ることで勝ちにつながると思います。秋季リーグは先輩方と 2 部昇格できるように自分自身しっかりと野球と向き合って、日々の生活から頑張っていきたいです。



背番号 26

1 年 西田汰生(にしだたいせい)

愛知県 尾北高校

春のリーグ戦、新人戦、上南戦お疲れ様でした。私はこれらの試合で先輩方の真剣に野球に取り組む姿を見て、自分も先輩方の力になりたいと感じ、自分に出来る仕事を全うすることが出来たと思います。ただ、チームとしては納得のいく結果を残すことが出来ず、課題が見つかる試合ばかりでした。チーム全体の反省点をこれからの練習で改善していくと共に、私自身の能力も向上させ、チームに必要とされる選手になりたいです。

私は高校まで野球を続けていましたが、大学で辞め、新しい競技に挑戦しようと考

えていました。ですが大学で出来た友達の多くが野球をやっていて一緒にやろうと誘われ、一度体験に行くことにしました。その際に野球部特有の明るい雰囲気や、野球でしか味わえない独特の緊張感を改めて覚え、大学でも続けることを決意しました。高校までは投手を本職としていましたが、負担からけが多発していたため大学ではセカンドに挑戦しています。慣れないポジションでエラーも多いですが、日々の練習で成長していき、仲間に信頼される選手となれるように頑張ります。

私は大学卒業後、中学校の数学教員になることを考えています。正直、野球を頑張ることよりも教員になることの方が強いモチベーションを感じています。愛知県では教員採用試験の一次試験が三年生の春頃から受けられるようになったこともあり、私は2年生の春頃に野球部を辞め、一次試験に向けての勉強を開始しようと考えています。なのでそれまで真剣に野球に取り組んで忍耐力、精神力を鍛え、長い期間の勉強に備えたいです。また、残り一年程のこの野球部にいることの出来る期間で長所であるコミュニケーション能力を活かし、先輩や同級生との交流から仲を深めたいです。そして日々の練習に課題を持って取り組み、仲間と野球を楽しみつつ技術面も向上させたいです。まずは自分が今持っている課題である、「安定的な守備」と「ボールに合わせず強く振る」ことを実現したいです。夏休みという長い期間で課題を一つでも減らせるように頑張ります。



背番号 28

1 年 辻葵斗(つじあおと)

愛知県 帝京大学可児高校

春季リーグ戦、新人戦、上南戦お疲れ様でした。

私は大学で野球をやるつもりはありませんでした。しかし、高校野球が不完全燃焼で終わってしまったことと、部活動体験に行った際に楽しそうに野球をする先輩方の姿を見てもう一度野球をしたいと思い入部させてもらいました。

春季リーグ戦は観戦するだけでしたが、新人戦と上南戦で試合に出場させていただきました。1年生のうちに試合に出させてもらい、とても貴重な経験をさせてもらったと感じています。しかし、新人戦は初戦敗退、上南戦は敗戦しチームの勝利に貢献できませんでした。

個人としては打撃面でチームに貢献していきたいです。特にチャンスや大事な場面で1本打てる打者になりたいです。新人戦や上南戦ではチャンスの場面で結果が出ずに悔しい思いをしました。そのため練習から緊張感を持ち、1スイング1スイング集中して取り組んでいきたいです。

チームとしての目標は2部昇格だと思います。春季リーグ戦では名古屋大学が2部

に昇格しました。私たちは直接対決では名古屋大学に勝ったわけですから、2 部に昇格する力は十分にあると思います。

そのためには試合を作ることのできる投手の枚数を増やすことと取れるアウトを確実に取れる守備力が必要だと考えています。打撃面は"バッティングは水モノ"というようにいつも打てるわけではないので、打てなくても勝てるチームにしていかなければなりません。また、普段はグラウンドを使って練習できる機会は週 1 回だけなのでそのときに内野・外野の連携などを入念に行い、密度の濃い練習にしていきたいです。

私たちの学年はマネージャー含め 22 人と多くの部員が入部しました。人数が多い分、活気のある練習、試合にしていきたいです。またチーム内で競争し互いに高めあい、成長していきたいです。皆が協力し合い、一丸となって目標に向かって努力し、素晴らしい成績を収めることができるように頑張ります。



背番号 48

1 年 吉橋礼貴(よしはしあやき)
愛知県 安城高校

春のリーグ戦、新人戦、上南戦お疲れさまでした。春のリーグ戦では同率 1 位での決

定戦での愛知教育大学戦を落としてしまい昇格戦に行くことができないという悔しい結果に終わってしまいました。また新人戦でも至学館大学に 9-0 でコールド負けと 2 部との力の差を痛感する形となりました。今のチーム全体の目標としては 2 部に昇格するという目標なのでその目標を達成する為にチームとしての力を高めていきたいと感じるばかりでした。自分が入学して初めてのリーグ戦で先輩たちの試合をしている姿をみて今までの高校野球とは一味違った雰囲気大学の野球をやることができると思い楽しみに感じました。今年度入部してきた 1 年生は人数が多くお互いが切磋琢磨していくことでチームとしてのレベルも上がっていくと思うので自分も先輩やほかの同級生たちに負けられないような努力を積んでチームに貢献できるような選手になれるように頑張っていきたい。個人としての目標は秋のリーグ戦でメンバー入りすることなのでそのためにすべきことを考えてやるべきことをやっていきたい。自分はこの部活に入ってから学生主体で行う野球を初めて体験しましたが学生主体でやる野球は自分たちで考えて野球ができるので野球を楽しむことができ、今でと違った感覚で野球ができ新鮮であった。しかし自分たち主体でやるというチベーションを保ったりすることが難しかったり、チームとしてまとまりをもつことが難しくなるということでもある、このようなことが起きないようにするために今チームを引っ張ってくれている 3 年生をしっかりサポートしたりして、自分も率先して行動をしていきたいと感じました。また南山大学野球部はほかの大学野球部と比べて練習時間が短いほうだと思うので限

られた練習時間のなかで勝つために効率を追いかけていきたいと思います。また自分は野手なので自分と同じ野手の先輩や同級生にアドバイスを求めたりしてほかの人の良いところを吸収していきたいと思います。最後に秋のリーグ戦では3部優勝して2部に昇格するという目標を達成するために個人としてもチームとしても努力を積んでいきます。



背番号 51
1 年 平原大地(ひらばらだいち)
三重県 海星高校

春リーグ、新人戦、上南戦と経験をして、試合に出場することはありませんでしたが、様々な面で大学野球というのを感じることができました。

まず、木製バットでのプレーです。今まで高校や中学の練習で使用したりはしましたが、試合で木製を使うという経験はありませんでした。しっかり芯に当てなければ飛ばず、さらに技術に磨きをかけないといけないと感じました。

そんな技術を磨きたいと感じた中で、やはり高校野球を引退してからのブランクというのが大きく、感覚というのを忘れてしまっています。今まではできていたことも時

間が経ち、取り戻すために練習をしているのが現状です。守備に関しては毎週学校でノックもでき、数もこなせるので取り戻しつつありますが、バッティングの面では限られた中ですので取り戻すことに時間を使っています。なので、普段の自主練習や取り組み方で大きく変わると考え、同じ練習でもどのようなことを意識してやるのか、ということや、家でできることはやるといったことを現在行っています。例えば、走り込みや素振り、父に手伝ってもらい羽うちやティーバッティングなどを行います。

他には、練習中に先輩やバッティングの良い同級生のプレーを見て、参考にできるところは自分に活かしたりしています。それだけではなく、直接何を意識しているのか、どのような練習をしているのかを聞き、自分の力に繋がるようにしています。今では、インターネットにたくさんの情報があるので自分に活かそうなところは取り入れたりもしています。しかし、たくさんの情報がある分選択肢も増え、迷い、自分の形が分からなくなることも考え、合わないと感じたらやめるということも意識しています。

今は秋のリーグ戦に向けてチームで練習を重ねています。春のリーグ戦では入れ替え戦まで行けず、悔しい思いをしました。しかし、まだ自分はチームの力にはなれておらず、自分の武器というのをしっかり作り、それを活かせるようにすることが課題だと考えています。ファーストを自分は守っており、同じポジションには先輩もいます。今の状態では何も武器にできないのでレギュラーを取るというのは厳しいです。そこで、先の先を見据えゆっくりと時間をかけ目の前

で一喜一憂するのではなく、ブランクを無くすのもそうですが、試合に出てチームの力になるためには必要な期間を今は過ごしていると私は考えて取り組んでいます。以上のように、自分の現状とチーム事情を考えて野球に取り組むよう意識して普段から練習しています。2 部昇格の力になれるよう目指して頑張ります。



背番号 60
1 年 松谷将太郎(まつたにしょうたろう)
大阪府 寝屋川高校

皆さん春季リーグ戦、新人戦、上南戦お疲れ様でした。春季リーグ戦では惜しくも優勝を逃してしまい、新人戦では初戦敗退と悔しい結果となってしまいました。ギリギリの場面で逆転したり勝ち星を落とさずしっかり勝ちきったりするなど良い点もありましたが、打線が繋がらずあと一本が出なかったり、エラーなどで失点してしまったりするなど次に向けて改善しなければならぬ課題が明白になった今後の糧になるリーグ戦であったと思います。新人戦では、2 部リーグに所属している至学館大学に大差で敗れてしまいました。やはり 2 部というだけに力の差を感じてしまう試合となり、投手陣、野手陣ともに大幅なレベルアップ

の必要性を感じました。私個人といたしましては大学野球として初めてベンチに入ることができ、大学での試合の雰囲気を感じることができて良かったと思いました。上南戦では上智大学に 1 対 4 での敗戦となりました。投手の方々は踏ん張っていたのですが、打線が繋がらず中々得点することができず苦しい試合運びとなりました。これらの試合を通して感じたのはあと 1 点の遠さでした。個人としてはよりチームの打撃力強化に貢献できるようより練習を積み重ね着実に実力を高めようと感じました。日頃の練習では自分の実力不足を感じる場面もありました。先輩や同級生の守備での動きや、打撃力、投手のレベルなど今までとはまた違ったレベルであり彼らに追いつけるように、また追い越せるようになろうと決意を固めました。ここからは、秋のリーグ戦が始まります。私自身は春のリーグ戦や新人戦、上南戦ではチームの力になることが出来ませんでした。秋のリーグ戦では少しでも力になるために、これから始まる夏休みの練習や練習試合などでは自分の課題を見つけ一つずつ克服していき、秋季リーグ戦や来年の新人戦ではよりチームに貢献できるよう日々真剣に向き合っていきたいと思います。秋季リーグ戦の終了とともに多くの 3,4 年生が引退してしまいます。3,4 年生の方々が引退してもチームの力が下がらないように、また、目標の一つである 2 部への昇格が成されるようチームを支えられるような選手になるために一球一球大切に練習を行い頑張っていきたいと思います。



背番号 64

1 年 新美禪(にいみぜん)

愛知県 愛知高校

まずは春リーグや新人戦、上南戦など、ひと通りの大会を無事に終えることができました。お疲れ様でした。春リーグでは名古屋大学、愛知教育大学、南山大学の順位決定戦の結果、3 位という結果になってしまいました。新人戦では初戦敗退という悔しい結果に終わりました。チームとしての良いところや課題が多く見つかったので、これからの大会に活かせればと思います。自分は怪我をしており、リーグ戦、新人戦とチームの力になることができませんでした。ただ試合を外から見ているだけで、チームの力になれていないことはとても悔しかったです。

これからの夏休みの練習の中で、しっかり怪我を治して秋季リーグや来年に繋げていきたいです。

そのためには、まずは単純に自分自身の能力を高めていきたいです。先輩方の体つきはしっかりと筋肉がついているのに比べて、自分は線が細いです。球速はやはりピッチャーにとって武器になります。ウエイトトレーニングや、食生活から見直していくことで、安定したボールを投げられるように

していきたいです。高校の時はウエイトトレーニングを本格的にやっていませんでした。しかし、大学に入ってから、先輩方からウエイトトレーニングの技術や知識を多く教えていただきました。ピッチングのために必要な筋肉をつけて、球速アップに励んでいきます。また、ストレッチを行うことによって怪我防止になります。日々継続していきたいです。ピッチングの技術的な部分としては、テンポよく投げていくことが大切だと考えます。苦しいカウントになってしまうと、打者に狙い打ちされたり、フォアボールを出してしまったり流れが悪くなってしまいます。そのためにも変化球でどんどんストライクをとっていきたいです。高校野球では金属バットを使用していたので軽く当てられただけで飛んで行きました。しかし、大学野球では木製バットを使用しています。球を少し動かして、相手のミートスポットから外すことができれば抑えることができると考えます。そのためのコントロールを身につけるために、フォームの改良や、投げ込みをしていきたいです。また、守備から流れを作っていくことで、良い攻撃を行うことができます。チームの勝ちに繋がるピッチングをしていきたいです。

最後に、次のリーグ戦では怪我を治して、チームの力になれるように頑張りたいです。



背番号 73

1 年 松宮潤弥(まつみやじゅんや)

愛知県 愛知高校

春のリーグ、新人戦、上南戦お疲れ様でした。

春リーグでは同率 1 位から三つ巴となり、愛知教育大学に惜しくも敗れ、2 部リーグ昇格とはなりませんでした。新人戦では 1 回戦で至学館大学に敗退、上南戦では惜しくも敗れるという悔しさが残る結果となりました。リーグ戦では打線が繋がる事が多く、投手も最少失点で抑えられていたところが良かったところだと思いました。しかし、新人戦では守備のミスから相手につけ込まれ大量失点をしてしまいました。また、チャンスでの何も起きないアウトが多く点をほとんど取れなかったところが 1、2 年生の課題だと思いました。

個人としては春リーグ、新人戦にスタメンとして出させていただくという貴重な経験をさせていただくことができました。しかし、リーグ戦での愛知教育大学との試合では 2 エラーをしてしまい、チームの流れを悪くしてしまいました。打撃面では今までの金属バットとは違い、木製バットでの試合だったため、うまく対応することができず結果を残せませんでした。今の私は打撃が課題だと感じているので夏の練習では 1 からフォームを見つめ直し、いち早く大学野球のレベルの高さ、木製バットに対応していきたいです。

また、チームとしては効率の良い練習をすることが欠かせないと感じました。今年は 1 年生が多く入部しました。また、野球部は専用のグラウンドがあるわけでもなく、時

間も限られています。このような状況下の中で今のチームの課題点を見つけ、それをいち早く克服することが大切だと思いました。

ここから秋リーグが始まります。もちろんチームの目標は 2 部リーグに昇格することです。目標を達成するために勝つ野球をしていきたいです。打撃面では、個人のアピールのため、自分中心のバッティングが目立っていましたが、秋リーグに向けてチームバッティングを心がけて試合をすることが大切だと思いました。守備面ではエラーからの失点で負けることが多かったのとれるアウトを確実に取っていき守備から流れを作っていきたいです。このようなことを意識し、チーム一丸となって秋リーグに臨んでいきたいと思います。



背番号 77

1 年 殿内仁之亮(とのうちじんのすけ)

三重県 宇治山田商業高校

春季リーグ戦、新人戦、上南戦お疲れさまでした。私にとっては初めての大学野球かつ久しぶりの野球だったので、練習についていけるかや結果がでるかのどの不安要素が多かったですが、周りの先輩や同級生が優しく接してくれたおかげで練習などにも

ついていけるようになってきました。初めてのリーグ戦であった今回の春リーグでは、大学野球のレベルの高さを痛感しました。高校野球では気づけなかった視野の広さやパワーやフィジカルのちがいだったり、野球に対する考え方など高校の時よりもすべてのレベルが上がっていてこの中で野球をやれて行けるのかという心配がありました。結果としては三位で、南山大学は強いんだと感じました。新人戦では一回戦で敗退してしまいましたが、相手の至学館大学はともレベルが高く学ぶことが多い試合だったと思いました。また、自分は試合に出場できなかったのもっと頑張らないといけないと思える機会になりました。上南戦では、最初に上智大学の人たちとの交流があって東京の人達の交流は楽しかったです。試合の結果としては上智大学の厚い投手陣に圧倒されて、負けてしまいましたが三年生たちの仲の良さだったりチームワークの良さがあったのでとてもいい試合で楽しかったです。高校野球では自分は高校までは、外野手しかしていなくて投手経験はなかったですが、大学では投手にチャレンジしてみようと思って、途中で投手になりました。現段階ではほかのピッチャーと力の差はあると感じますがこれから自分を分析して必要なトレーニングをして成長席のように頑張りたいと思います。次回の秋リーグやさらにその先を見据えて、チームに貢献できるようにするのと、自分が理想とする野球スタイルに近づけられるように頑張りたいと思いました。

投手の先輩は、とても頼りになる人が多く優しい人が多いので、たくさんのことを教えてもらいながらチームに貢献できるよう

な選手に成長したいです。



背番号 99

1年 小野朗(おのあきら)

愛知県 天白高校

春リーグ・新人戦・上南戦お疲れ様でした。まず、リーグ戦は優勝することができず、悔しい結果となってしまいました。先輩たちの野球している姿を見て、自分も早くチームの力になりたいと感じました。新人戦も一回戦敗退という結果に終わってしまい、とても悔いが残る大会となってしまいました。そこで自分が一番感じたことは、すべての能力において力不足だと思いました。大学野球は高校野球と違って、木製バットであり、投手のレベルも高いので自分はまだそのレベルに達していないと感じました。また、大学は限られた時間の中でいかに練習をするのが大事だと思うので、オフだからといって休むばかりではなくメリハリのある生活をしたいです。そしてチームの課題は、得点力不足だと試合をするたびに思いました。投手がいくら0点で抑えていても勝つことはできません。得点力を改善するためにも、打者一人一人がすべき役割をきっちりとこなす必要があると思います。秋のリーグまでにチームに貢献

するためには練習での意識が大事だと思います。また、怪我人も多いのでストレッチを行う必要があると思いました。自分は最近、毎日筋トレとストレッチを行っています。しかし、今までの自分は1週間、1ヶ月経ったらやめてしまうことが多く、長く続いていないので今回は、少しでも良いので毎日したいです。続けることが大事だと思います。また、夏休みの練習では、もっとバットを振る量を増やしていきたいなと思いました。先輩や色々な方からのアドバイスを聞いたりして自分の成長につなげていきたいなと思いました。自分は守備走塁よりもバッティングのほう得意なので、勝負強いバッティングでチームの勝利に貢献したいです。そして、三部リーグ優勝、そして2部昇格につなげられるように頑張りたいです。これから、野球部で過ごした時間が良いものに、また自分の野球のレベルアップにつなげられるよう1分1秒も無駄にせず頑張っていきたいです。



マネージャー

1年 榎本亜香(えのもとあこ)
愛知県 桜台高校

春のリーグ戦、新人戦、上南戦お疲れ様でした。日頃から南山大学硬式野球部に多大

なご支援をありがとうございます。試合を通して自分達だけではなく、応援してくださる皆さまの存在があったからこそ、これまでやっていくことができたと感じています。心より感謝申し上げます。

大学生になり、何か新しいことにチャレンジしたいと思い立ち、昔からの夢だった野球部のマネージャーになることを決めました。試合での選手の気迫やチームの盛り上がりなど、画面の外から見ると実際直接関わるのとでは大きく違い、日々刺激ももらっています。

マネージャーになってから三ヶ月が過ぎようとしています。マネージャーの先輩である、希さんと実心乙さんの下で少しずつ仕事を覚え、出来ることが増えてきました。誰かのためになるような仕事が出来るととても嬉しく思い、やりがいを感じています。今はスコアを一人で書けるように、先輩方に教えていただきながら練習しています。経験を積みたくて、野球部の試合だけではなく、プロ野球を見ながらスコアを書くことも始めました。今はひとつひとつのプレーを見逃さないようについていくことに必死ですが、いつかはスコアを書きながら選手達と一緒に喜んだり悔しがったりできるような余裕が生まれてくるといいなと思っています。スコアを書けるようになって、もっと野球の魅力を知ることができたら嬉しいです。また、選手達とも沢山コミュニケーションを取って、より練習や試合に専念できるような環境づくりをしていきたいです。

入部前に野球部の見学に訪れた際に、声をかけてくださった選手の方が一人、また一人と引退していくことに寂しさを感じて

います。引退された選手方に恥じないような、一人前のマネージャーになれるように同期の二人のマネージャーと協力しながら、これからも沢山のことを貪欲に学んでいきたいと思っています。さらに、沢山の方のご支援のおかげで野球部が成り立っていることを忘れずに感謝の気持ちを持って一生懸命マネージャーとしての務めを果たしていきたいです。



マネージャー
1年 奥村青葉(おくむらあおば)
愛知県 熱田高校

春リーグ、上南戦お疲れ様でした。私達を支えてくださる横江監督、OB OGの皆様並びに試合に足を運んでいただき応援してくださっている全ての方々に深く御礼を申し上げます。日々沢山の方々の支えがあるからこそ部活動が出来ているのだと感じています。

私は大学生になり沢山の部活の体験に行きどこの部活動に所属するか迷っていました。ですが、硬式野球部の体験に来させて頂いた際、野球部の選手の方々が心から野球を楽しんでいるのが分かる練習の様子を見てこのチームを支えられるマネージャーをやりたい！と強く思いました。

入部からこれまでの期間でも選手の方々と喜びを共有しあうことが出来るマネージャーという役割を楽しむことが出来ています。

入部から約2ヶ月半、まだもっとこう動けたらと思う部分も沢山あったり、スコアもまだ上手く書けずに不甲斐ない思いでいることもあります。ですが自分の出来ることを一つ一つ増やしていき、自分から積極的に部活のためにマネージャーとして何ができるのか考えて行動していきたいと思っています。

そしてこの部活でのマネージャー経験を通して自分自身成長していきたいです。今までマネージャー経験がなく、誰かを支える立場を経験したことがありません。ですがこの機会にマネージャーとしてのチームのサポートや運営全般の業務を全うできるよう頑張ります。また、与えられた仕事に責任感をもち、自身の成長に繋げていきたいです。

マネージャーとして選手たちの練習、試合環境を整え、選手たちのパフォーマンス向上やチームの成果に貢献できるよう努力してまいります。

また、日頃から見ている先輩マネージャーさんの背中を追い、沢山の事を吸収していきたいです。そして来年後輩ができた時に、私が入部する際優しく迎え入れてくださったお二人のマネージャーの先輩方のようになりたいです。

まずは秋に2部リーグ昇格という目標を達成するために選手の方々を支えられるよう努力して参ります。



マネージャー

1年 高木花奏(たかぎかなで)
愛知県 旭野高校

春のリーグ戦、新人戦、上南戦お疲れ様でした。日頃より、横江コーチをはじめ、OB・OG、南山大学硬式野球部の関係者の皆様からの暖かいご支援、ご声援を賜わりまして心から感謝申し上げます。

高校時代野球部のマネージャーを経験し、野球の魅力や暑い時でも寒い時でも選手と切磋琢磨して頑張る楽しさ、やりがいを感じました。大学には多くのサークルや部活があり、自分自身何をやるかとても悩んでいました。しかし、南山大学硬式野球部の体験に行かせていただいた時に、選手の方々がとても楽しそうに練習しており部活の雰囲気もとても明るく、またマネージャーの先輩方達が優しく色々な事を教えてくださり、自分がこの部活に入ったら楽しい大学生活を送れることができると感じたため南山大学硬式野球部に入部しました。

現在、入部して約3か月が経ちました。先輩方が優しく、明るく声をかけてくださるお陰でとても楽しく部活を行うことができます。また自分達の代は部員の数も多く、マネージャーも3人いるため、これか

ら楽しくなりそうだなという期待を抱いています。マネージャーの多さを活かして効率良く、お互い助け合って選手のサポートを全力でしていきたいです。

高校時代の野球部のマネージャーの経験を通して、大切な事を沢山学びました。そのため、その経験を活かして部活に貢献していきたいと思います。今は、先輩の隣でスコアを書かせていただいているところです。ベンチの中にいる事で、選手のやる気や熱気を肌で感じ、自分も頑張ろうという気持ちにさせてくれます。またこれからは、アナウンスなども経験していくと思います。高校ではアナウンスの経験がないため、一からの勉強になると思います。そのため、自分が疑問に思った点や理解できないことがあれば、積極的にマネージャーの先輩方に質問して、できるだけ早くアナウンスができるように頑張りたいです。

これからは夏休みが始まり、練習できる機会が増えます。また暑さも厳しくなってきたため、熱中症などにかかるリスクも高くなります。そのため、身体的な面で選手をサポートできるようにしていきたいです。また、選手が効率よく部活に集中できるように、幅広い視野を持ち、先のことを考えながら行動していきたいです。また選手・マネージャーの先輩方の行動をしっかり学び、自分自身成長していけるように、全力でサポートしていきます。

春季オープン戦

春季オープン戦

11月19日 vs日本福祉大学

2月27日 vs愛知教育大学

3月11日 vs東海学院大学

3月19日 vs皇學館大学

3月27日 vs岐阜大学

打撃成績 規定打席数 12打席

	打率	打席	打数	得点	安打	打点	犠打	犠飛	四死球	盗塁	三振	残塁
宮城	0.6	13	10	0	6	3	0	0	3	0	3	6
今福	0.3684	23	19	3	7	1	0	0	4	1	7	7
海老	0.3077	18	13	2	4	6	0	0	5	4	4	10
花井	0.2105	23	19	2	4	0	0	0	5	2	4	8
蛭川	0.2	14	10	1	2	1	0	0	4	2	5	5
斎藤	0.1875	23	16	3	3	3	0	0	7	5	6	6
西塚	0.1765	20	17	2	3	3	0	1	7	2	9	8
林	0.0909	13	11	2	1	0	0	0	3	1	5	1
小西	0.0556	19	18	1	1	0	0	0	1	0	4	1

投手成績 規定投球回数7 回

	防御率	投球回数	打者	打数	安打	犠打	犠飛	四球	死球	奪三振	暴投	失点	自責点
小谷	1.2857	7	31	25	6	0	0	6	0	5	0	2	1
森上	4.0909	11	55	45	12	2	0	7	1	3	0	9	5

11月19日 vs日本福祉大学 2-12 ●

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
日福	0	4	0	1	0	1	0	5	×	12

2月27日 vs愛知教育大学 △7-7

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
愛教	0	0	0	0	0	0	0	3	0	7
南山	2	2	0	1	0	0	0	0	0	7

3月11日 vs東海学院大学 5-3 ○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	0	1	0	0	0	4	0	5
東海学院	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3

3月19日 vs皇學館大学 2-5 ●

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

南山	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
皇學館	1	0	0	1	2	0	1	0	X	5

3月27日 vs岐阜大学 4－8 ○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
岐阜	1	0	0	3	0	0	0	3	0	4
南山	3	0	0	3	0	0	0	2	X	8

ランキング

《春季オープン戦》

【打撃部門】

●打率……宮城 13打数6安打 0.60

●四死球…西塚 7

斎藤 7

●打点……海老 6

●盗塁……斎藤 5

【投手部門】

●防御率……森上 4.0909

●奪三振……森上 3

《春季オープン戦》

【打撃部門】

●打率……1. 宮城 13打数6安打 0.6

2. 今福 23打数7安打 0.368

●四死球…1. 西塚 7

1. 斎藤 7

2. 花井 5

2. 海老 5

●打点……1. 海老 6

2. 西塚 3

2. 宮城 3

2. 斎藤 3

●盗塁……1. 斎藤 6

2. 海老 4

【投手部門】

●防御率……1. 小谷 1.2857

●奪三振……1. 小谷 5

239760 7.

打

[illegible]

チーム名 (監督名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	記
南山大	0	0	0	1	0	0	0	4	0				5	
東海学院大	0	0	0	1	2	0	0	0	0				3	

No.

局数	先攻	後攻	投手	打者	得点	打数	被弾数	失点	失球	三振	四球	死球	本塁打	犠打	犠飛	盗塁	触塁	エラー	その他
1	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
2	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
3	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
4	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
5	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
6	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
7	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
8	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
9	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
10	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
11	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
12	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
合計	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					

局数	先攻	後攻	投手	打者	得点	打数	被弾数	失点	失球	三振	四球	死球	本塁打	犠打	犠飛	盗塁	触塁	エラー	その他
1	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
2	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
3	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
4	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
5	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
6	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
7	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
8	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
9	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
10	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
11	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
12	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
合計	東海学院大	南山大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					

チーム名 (監督名)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	記
南小	豊田	0	0	0	0	1	1	0	0					2	
豊田	豊田	1	0	0	1	2	0	1	0	X				5X	

試合	対戦	スコア	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	備考
1	豊田	1-0														
2	豊田	1-0														
3	豊田	1-0														
4	豊田	1-0														
5	豊田	1-0														
6	豊田	1-0														
7	豊田	1-0														
8	豊田	1-0														
9	豊田	1-0														
10	豊田	1-0														
11	豊田	1-0														
12	豊田	1-0														

選手	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	備考
豊田	1	0	0	0	1	1	0	0					2	
豊田	1	0	0	1	2	0	1	0	X				5X	

[illegible]

春季リーグ戦

春季リーグ戦

4月6日 vs大同大学
4月13日 vs名古屋市立大学
4月14日 vs愛知淑徳大学
4月20日 vs名古屋大学
4月21日 vs愛知教育大学
4月28日 vs名古屋外国語大学
5月5日 vs豊田技術科学大学
5月11日 vs愛知教育大学

打撃成績 規定打席数 16 回

	打率	打席	打数	得点	安打	打点	犠打	犠飛	四死球	盗塁	三振	残塁
今福	0.3636	36	33	7	12	8	0	0	3	5	0	5
齋藤	0.24	31	25	3	6	3	2	0	4	3	2	5
西塚	0.2609	31	23	7	6	5	0	1	6	2	8	4
宮城	0.2609	28	23	6	6	6	0	0	5	0	7	0
松宮	0.2308	19	13	2	3	1	1	0	5	0	3	3
林	0.3636	25	22	5	8	5	1	0	3	1	5	4
花井	0.2	31	25	5	5	5	0	0	8	1	4	9
海老	0.1923	31	26	2	5	3	0	2	3	3	2	5
蛭川	0.2	30	25	6	5	4	0	0	4	1	7	1

投手成績 規定投球回数 1 2 回

	防御率	投球回数	打者	打数	安打	犠打	犠飛	四球	死球	奪三振	暴投	失点	自責点
小谷	3	21	92	77	19	4	1	10	2	20	0	9	7
田島	3	18	75	69	15	0	1	4	1	11	0	9	6

4月6日 vs大同大学 3－1 3○ （5回コールドゲーム）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
大同	0	0	2	1	0					3
南山	4	0	3	2	4x					13x

位置	氏名	出身校	背番号	学年
6	今福	名経大市邨	25	2
5	齋藤	三重海星	5	2
8	西塚	三重海星	1	3
D	宮城	天理	3	3
3	蛭川	西尾	27	3
2	花井	京都外大西	22	3
7	海老	名城	2	1
9	武田	高蔵寺	41	3

4	山田	大垣北	46	3
P	棚瀬	名東	44	3

4月13日 vs名古屋市立大学 1 - 7 ○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
名市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
南山	0	0	0	3	0	0	4	0	X	7x

位置	氏名	出身校	背番号	学年
6	今福	名経大市邨	25	2
5	齋藤	三重海星	5	2
8	西塚	三重海星	1	3
D	宮城	天理	3	3
3	蛭川	西尾	27	2
2	花井	京都外大西	22	3
7	海老	名城	2	1
9	武田	高蔵寺	41	3
4	山田	大垣北	46	3
P	棚瀬	名東	44	3

4月14日 vs愛知淑徳大学 7 - 8 ○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
淑徳	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	3	7
南山	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	4x	8x

位置	氏名	出身校	背番号	学年
6	今福	名経大市邨	25	2
5	齋藤	三重海星	5	2
9	西塚	三重海星	1	3
D	宮城	天理	3	3
3	蛭川	西尾	27	2
2	花井	京都外大西	22	3
8	林	小牧南	16	2
7	海老	名城	2	1
4	山田	大垣北	46	3

P	小谷	至学館	18	3
---	----	-----	----	---

4月20日 vs名古屋大学 2 - 4 ○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
名古屋	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
南山	0	0	2	0	2	0	0	0	X	4

位置	氏名	出身校	背番号	学年
4	今福	名経大市邨	25	2
5	齋藤	三重海星	5	2
9	西塚	三重海星	1	3
3	蛭川	西尾	27	2
2	花井	京都外大西	22	3
8	林	小牧南	16	2
7	海老	名城	2	1
D	宮城	天理	3	3
6	松宮	愛知	73	1
P	小谷	至学館	18	3

4月21日 vs愛知教育大学 9 - 3 ●

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
愛教	3	0	0	0	3	2	1	0	0	9
南山	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3

位置	氏名	出身校	背番号	学年
4	今福	名経大市邨	25	2
5	齋藤	三重海星	5	2
9	西塚	三重海星	1	3
D	宮城	天理	3	3
3	蛭川	西尾	27	2
2	花井	京都外大西	22	3
7	海老	名城	2	1
8	林	小牧南	16	2
6	松宮	愛知	73	1
P	田島	大垣南	20	1

4月28日 vs名古屋外国語大学 0 - 7 ○ (7回コールドゲーム)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
名外	0	0	0	0	0	0	0			0
南山	4	0	0	3	0	0	X			7x

位置	氏名	出身校	背番号	学年
5	今福	名経大市邨	25	2
4	海老	名城	2	1
7	西塚	三重海星	1	3
3	蛭川	西尾	27	2
2	花井	京都外大西	22	3
8	林	小牧南	16	2
D	神谷	西尾東	66	2
9	永谷	国府	55	2
6	松宮	愛知	73	1
P	田島	大垣南	20	1

5月5日 vs豊田技術科学大学 2 - 1 2 ○ (5回コールドゲーム)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
豊技	0	0	0	1	1					2
南山	1	0	4	0	7x					12x

位置	氏名	出身校	背番号	学年
4	今福	名経大市邨	25	2
9	西塚	三重海星	1	3
5	齋藤	三重海星	5	2
D	宮城	天理	3	3
3	蛭川	西尾	27	2
2	花井	京都外大西	22	3
8	林	小牧南	16	2
7	海老	名城	2	1
6	松宮	愛知	73	1
P	木村	南山	34	2

5月11日 vs愛知教育大学 4 - 3 ●

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
愛教	0	1	1	0	1	0	1	0	0	4
南山	0	0	0	0	2	0	0	1	0	3

位置	氏名	出身校	背番号	学年
4	今福	名経大市邨	25	2
5	齋藤	三重海星	5	2
9	西塚	三重海星	1	3
D	宮城	天理	3	3
3	蛭川	西尾	27	2
2	花井	京都外大西	22	3
8	林	小牧南	16	2
7	海老	名城	2	1
6	松宮	愛知	73	1
P	木村	南山	34	2

ランキング

《春季リーグ戦》

【打撃部門】

●打率……今福	33打数12安打 0.3636
林	22打数12安打0.3636
●四死球…花井	8
●打点……今福	8
●盗塁……今福	5

【投手部門】

●防御率……小谷	3
田島	3
●奪三振……小谷	20

《春季リーグ戦》

【打撃部門】

●打率……1. 今福	33打数12安打 0.3636
1. 林	22打数8安打 0.3636
2. 西塚	23打数6安打0.2609
2. 宮城	23打数6安打0.2609
3. 松宮	13打数3安打 0.2308
●四死球…1. 花井	8
2. 西塚	6
3. 宮城	5
3. 松宮	5
●打点……1. 今福	8
2. 宮城	6
3. 西塚	5
3. 林	5
3. 花井	5
●盗塁……1. 今福	5

2. 齋藤	5
2. 海老	5

【投手部門】

●防御率……1. 小谷	3.0
1. 田島	3.0
●奪三振……1. 小谷	20
2. 田島	11

2024年 4月 6日				試合開始 9時 30分		球場状態		南山 対 大同				主審		審判		記録		投手																	
春季リーグ戦①				試合終了 時 分		天候・風向						①		②		③		④																	
(球場) 大同大学G				所要時間 時間 分		観 衆																													
シフト				先 登		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		打 走 球		得 失 点		自 責 点	
12				R 大同		72		I 5		II 3		LB																		TT					
11				L 班井		102		LB		HR 3		II 3																		TT		- ET			
10				R 大塚		32		I 9		II 3																				TT					
9				L 中村		62		II 3		I 6																				TT					
8				L 木下		34		I 4		II 3																				TT					
7				L 斎藤		10		II 3		I 4																				TT					
6				R 杉本		5		II 3		II 3																				TT					
5				R 西尾		6		II 3		II 3																				TT					
4				R 富田		20		II 3		II 3																				TT					
3																																			
2																																			
1																																			
合計				得 点		0		0		2		1		0																					
計				投 球 数		11		10		16		32		14		19		33																	
民 名				勝負		セーブ		投球数		打数		得点		安打		本塁打		犠打		犠飛		四球		死球		三振		暴投		ボーク		失点		自責点	
1				相澤		2		13		12		11		37		2		1																	
2				相澤		2		13		8		6																							
3								13																											
4								13																											
5								13																											
6								13																											
投手				氏 名																															

チーム名 (監督名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	記
大同	0	0	2	1	0								3	
南山	4	0	3	2	4X								13X	勝

回	打	走	球	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	打	走	球	得	失	点	自	点
1	1	R	南山	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	R	南山	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3	3	R	南山	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4	4	R	南山	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5	5	R	南山	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6	6	R	南山	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
7	7	R	南山	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
8	8	R	南山	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
9	9	R	南山	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
10	10	R	南山	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
11	11	R	南山	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
12	12	R	南山	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計				4	0	3	2	4X															
投手				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

2024年 4月 13日		試合開始 12:00	球場状態 晴	主審 斎藤 孝	
春季4-7戦 ②		試合終了 14:17	天候・風向	監督 斎藤 孝	
[球場] 愛媛大野球場		所要時間 2時間 17分	観 衆	① ② ③	

名市大 対 南山大

局数	局	投手	打者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打点	犠打	犠飛	盗塁	触塁	三振	四球	エラー	その他
1	1	斎藤 孝	斎藤 孝																						
2	2	斎藤 孝	斎藤 孝																						
3	3	斎藤 孝	斎藤 孝																						
4	4	斎藤 孝	斎藤 孝																						
5	5	斎藤 孝	斎藤 孝																						
6	6	斎藤 孝	斎藤 孝																						
7	7	斎藤 孝	斎藤 孝																						
8	8	斎藤 孝	斎藤 孝																						
9	9	斎藤 孝	斎藤 孝																						
10	10	斎藤 孝	斎藤 孝																						
11	11	斎藤 孝	斎藤 孝																						
12	12	斎藤 孝	斎藤 孝																						
合 計				17	16	12	13	15	10	4	14	15	15	15	15										

氏 名	試合セーブ	投球回	打者	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点
斎藤 孝	2	13	8	5	2	1																		
斎藤 孝	2	13	8	7	2	2																		
斎藤 孝	0	13	4	2	1	0																		
斎藤 孝	4	2	13	17	14	9	1																	
斎藤 孝	13																							
斎藤 孝	13																							

チ ャ ム 名 (監督名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計	記
名市大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
南山大 横浜	0	0	0	3	0	0	4	0	0	0	0	0	7	甲

局数	局	投手	打者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打点	犠打	犠飛	盗塁	触塁	三振	四球	エラー	その他
9回	6分	斎藤 孝	斎藤 孝	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	55	1	1	1	1	1	1	1	1	1
8回	5分	斎藤 孝	斎藤 孝	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	59	1	1	1	1	1	1	1	1	1
7回	8分	斎藤 孝	斎藤 孝	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	44	2	2	2	2	2	2	2	2	2
6回	10分	斎藤 孝	斎藤 孝	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	48	2	2	2	2	2	2	2	2	2
5回	9分	斎藤 孝	斎藤 孝	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	43	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4回	7分	斎藤 孝	斎藤 孝	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	43	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3回	6分	斎藤 孝	斎藤 孝	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	43	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2回	5分	斎藤 孝	斎藤 孝	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	42	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1回	4分	斎藤 孝	斎藤 孝	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	42	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計				0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0										

氏 名	試合セーブ	投球回	打者	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点	打点
斎藤 孝	13																							
斎藤 孝	13																							
斎藤 孝	13																							
斎藤 孝	13																							
斎藤 孝	13																							

[illegible]

2024年4月20日		試合開始時刻 15:30	球場状態	主審 ①		審判員 ② ③ ④ ⑤										
春季リーグ ④		試合終了 時 分	天候・風向	対戦相手 ① ② ③ ④ ⑤		審判員 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩										
[球場] 筑波大学		所要時間 分	観衆	対戦相手 ① ② ③ ④ ⑤		審判員 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩										
対戦相手 筑波大学		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	得点	投球数
1	11:21	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	12:22	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3	13:23	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4	14:24	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5	15:25	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6	16:26	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
7	17:27	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
8	18:28	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
9	19:29	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
10	20:30	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
11	21:31	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
12	22:32	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
投手		氏名	種別	セーブ	投球回	打者	打球	投球数	安打	本塁打	盗塁	四球	三振	暴投	ノーアウト	失点
1	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小
2	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小
3	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小
4	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小
5	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小
6	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小

チーム名 (監督名)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	得点	投球数
筑波大学		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2
南山大学		0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4
対戦相手 南山大学		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	得点	投球数
1	11:21	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	12:22	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3	13:23	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4	14:24	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5	15:25	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6	16:26	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
7	17:27	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
8	18:28	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
9	19:29	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
10	20:30	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
11	21:31	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
12	22:32	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
投手		氏名	種別	セーブ	投球回	打者	打球	投球数	安打	本塁打	盗塁	四球	三振	暴投	ノーアウト	失点
1	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小
2	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小
3	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小
4	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小
5	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小
6	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小

[illegible][illegible]

[illegible]

2024年 5月11日 春季リーグ戦⑤		試合開始 9時15分 試合終了 時 分	球場状態 良 天候・風向 晴	愛知大学対 南山大学		主審 ① ② ③			審判 ④ ⑤		記録 ⑥																
(球場) 大同大学元浜G		所要時間 時間 分	観衆																								
回	先攻	後攻	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打点	犠打	犠飛	盗塁	三塁打	本塁打	失点	自点				
1	愛知大	南山大																									
2	光 祐	東 剛	I _K		(1) S ₁₀		(1) S ₁₀		I ₂		I ₃																
3	野 田	辻 一	I ₅		(4) S ₁₃		(4) S ₁₃		I ₆		I ₉																
4	久 田	新 美	I _K		S _{FL}		S _{FL}		I ₈		I ₈																
5	江 藤	板 倉	I ₂		I ₈		I ₈		I ₉		I ₉																
6	松 浦	千 葉	I ₄		I ₅		I ₅		I ₈		I ₈																
7	千 葉	千 葉																									
8	千 葉	千 葉																									
9	千 葉	千 葉																									
10	千 葉	千 葉																									
11	千 葉	千 葉																									
12	千 葉	千 葉																									
合計	得点	投球数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
	得点	投球数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
	得点	投球数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
氏名	勝負	セーブ	投球回数	打者	打球	投球数	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三塁	暴投	ボーク	失点	自点	捕手					投手				
1	木村		1	2/3	6	6	32	1					3			2	1										
2	田村		2	1/3	10	10	62	2			1	1				1	0										
3	板倉		3	1/3	11	5	2	3			2					1	0										
4	松浦		1	1/3	3	2	13						1														
5	小松		1	1/3	4	4	10	1																			
6			1	1/3																							

チーム名 (監督名)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	記										
愛知大		0	1	0	1	0	1	0	0	0				4											
南山大 横江		0	0	0	0	2	0	0	1	0				3											
回	先攻	後攻	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打点	犠打	犠飛	盗塁	三塁打	本塁打	失点	自点	捕手	
1	4	R 万 福 20	I ₉		I ₄		I ₅		I ₈		I ₃				55	1	1	2							
2	5	R 青 藤 5	I ₆		I ₆		I ₈		I ₈		I ₃				44			1							
3	9	L 西 谷 1	I ₃		I _K		I ₈		I ₈		I ₃				42	1									
4	10	R 宮 坂 3	I ₈		I ₈		I ₇		I ₇		I ₈				48	1		1							
5	5	R 証 川 21	I ₈		I ₈		I ₈		I ₈		I ₈				42			1							
6	2	R 花 井 22	I ₈		I ₈		I ₈		I ₈		I ₈				43										
7	8	R 林 16	I ₈		I ₈		I ₈		I ₈		I ₈				44	1	2								
8	7	R 海 亮 4	I ₈		I ₈		I ₈		I ₈		I ₈				44	1									
9	6	R 松 宮 24	I ₈		I ₈		I ₈		I ₈		I ₈				41										
10	P	木 村 外																							
合計		得点	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0											
		投球数	7	16/23	8	31	14	45	21	66	27	15	20/35	15/50											
氏名	勝負	セーブ	投球回数	打者	打球	投球数	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三塁	暴投	ボーク	失点	自点	捕手				投手			
1	木村		1	1/3																					
2	小松		1	1/3																					
3	野村		1	1/3																					
4			1	1/3																					
5			1	1/3																					

新人戦

新人戦

打撃成績 規定打席数 3打席

	打率	打席	打数	得点	安打	打点	犠打	犠飛	四死球	盗塁	三振	残塁
海老	0.5	3	2	0	1	0	0	0	1	2	1	2
林	0.3333	3	3	1	1	0	0	0	0	0	1	0
辻	0.3333	3	3	0	1	1	0	0	0	1	1	0
斎藤	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0
今福	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蛭川	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0

投手成績 規定投球回数2 回

	防御率	投球回数	打者	打数	安打	犠打	犠飛	四球	死球	奪三振	暴投	失点	自責点
田島	4.5	2	9	8	2	0	0	0	1	2	0	1	1
石川	10.125	2 2/3	17	14	7	0	0	3	0	0	0	5	3
深谷	11.571	2 1/3	11	11	4	0	0	0	0	2	0	3	3

6月8日 至学館大学7回コールド

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
至学館	3	0	2	0	0	4	0			9
南山	0	0	0	0	0	0	1			1

位置	氏名	出身校	背番号	学年
7	海老	名城	2	1
5	斎藤	三重海星	5	2
4	今福	名経大市邨	25	2
8	林	小牧南	16	2
3	蛭川	西尾	27	2
9	辻	帝京大可児	28	1
D	小野	天白	99	1
2	漆谷	愛知	7	1
6	松宮	愛知	73	1
P	石川	名古屋	15	1

ランキング

《新人戦》

【打撃部門】

●打率……海老	2打数1安打 0.5
●四死球…海老	1
●打点……辻	1
●盗塁……海老	2

【投手部門】

●防御率……田島	4.5
●奪三振……田島	2
深谷	2

《新人戦》

【打撃部門】

●打率……1. 海老	2打数1安打 0.5
2. 林	3打数1安打 0.333
2. 辻	3打数1安打 0.333
●四死球…1. 海老	1
●打点……1. 辻	1
●盗塁……1. 海老	2
2. 永谷	1
2. 辻	1
2. 松宮	1

【投手部門】

●防御率……1. 田島	4.5
2. 石川	10
●奪三振……1. 田島	2
2. 深谷	2

2024年 6月 8日		試合開始 9時5分	球場状態	新館 対 南山		主審	審判	記録	スコア
新入戦		試合終了 11時8分	天候・風向			①	②	③	水谷
[球場] 新館大学G		所要時間 2時間1分	観 衆						

局数	回	攻	守	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打点	犠打	犠飛	盗塁	触塁	三塁打	本塁打	投手	打者	捕手	審判	記録	スコア	水谷
1	1	新館	南山																											
2	1	新館	南山																											
3	1	新館	南山																											
4	1	新館	南山																											
5	1	新館	南山																											
6	1	新館	南山																											
7	1	新館	南山																											
8	1	新館	南山																											
9	1	新館	南山																											
10	1	新館	南山																											
11	1	新館	南山																											
12	1	新館	南山																											
合計				3	0	2	0	0	4	0	0	0	0	0	0	9	14	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
投手				2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
打者				2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
捕手				2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
審判				2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
記録				2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
スコア				2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

チーム名 (監督名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	記
新館	3	0	2	0	0	4	0	0	0	0	0	0	9	
南山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

局数	回	攻	守	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打点	犠打	犠飛	盗塁	触塁	三塁打	本塁打	投手	打者	捕手	審判	記録	スコア	水谷
1	1	南山	新館																											
2	1	南山	新館																											
3	1	南山	新館																											
4	1	南山	新館																											
5	1	南山	新館																											
6	1	南山	新館																											
7	1	南山	新館																											
8	1	南山	新館																											
9	1	南山	新館																											
10	1	南山	新館																											
11	1	南山	新館																											
12	1	南山	新館																											
合計				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投手				2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
打者				2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
捕手				2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
審判				2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
記録				2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
スコア				2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

上南戦

上南戦

7月5日 vs上智大学

打撃成績 規定打席数 3 打席

	打率	打席	打数	得点	安打	打点	犠打	犠飛	四死球	盗塁	三振	残塁
齋藤	0.3333	4	3	0	1	0	0	0	1	1	0	2
海老	0	4	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0
今福	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西塚	0	3	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1
林	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0
小西	0	3	2	0	0	0	0	0	1	0	2	1
蛭川	0	4	3	0	0	0	0	0	1	0	2	1
辻	0	4	3	0	0	1	0	0	1	0	2	1
花井	0	3	1	0	0	0	0	0	2	1	0	1

投手成績 規定投球回数 2 回

	防御率	投球回数	打者	打数	安打	犠打	犠飛	四球	死球	奪三振	暴投	失点	自責点
水野	0	2, 2/3	10	8	1	0	0	1	1	0	0	0	0
田島	13.5	2	10	7	2	1	0	2	0	1	0	3	3

7月8日 vs上智大学 ● 1 - 4

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
上智	0	3	0	0	0	0	1	0	X	4

ランキング

《上南戦》

【打撃部門】

●打率……齋藤	3打数1安打	0.333
●四死球…花井	2	
●打点……辻	1	
●盗塁……海老	1	
齋藤	1	
西塚	1	
宮城	1	
西出	1	
花井	1	

【投手部門】

●防御率……水野	0
●奪三振……棚瀬	2
花井	2

《上南戦》

【打撃部門】

●打率……1. 齋藤	3打数1安打	0.333
●四死球…1. 花井	2	
●打点……1. 原科	2	
●盗塁……1. 西塚	1	
1. 深谷	1	
1. 大林	1	

【投手部門】

●防御率……1. 水野	0
●奪三振……1. 棚瀬	2
1. 花井	2

2024年7月5日		試合開始 16時55分		球場状態		天候・風向		観衆		主審		審判		記録		水谷 尚彦							
[球場] 横浜市民球場		試合終了 時間 分		所要時間 時間 分		観衆		南山大 対 上智大		①		②		③									
回	打	走	球	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打	走	球	三振	四球	失点	自点
1	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投手	氏名	種別	セーブ	投球回	打者	打球	被打球	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	失点	自点	備考					
1	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

チーム名 (監督名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	記
南山大 横江	0	0	0	0	0	0	0	1					1	
上智大	0	3	0	0	0	0	1	0	X				4	

回	打	走	球	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打	走	球	三振	四球	失点	自点
1	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計				0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

回	打	走	球	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打	走	球	三振	四球	失点	自点
1	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12	上智大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計				0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

氏名	種別	セーブ	投球回	打者	打球	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	失点	自点
田島 勇	2	13	10	7	44	2	0	1	0	2	1	0	0	3	3
水野 将	2	23	10	8	31	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0
柳 元	1	13	6	4	30	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
花井 芳	1	23	6	6	30	2	0	0	1	0	2	0	0	1	1
石 芳	1	13	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		13													

投手	氏名	種別	セーブ	投球回	打者	打球	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	失点	自点
田島 勇	2	13	10	7	44	2	0	1	0	2	1	0	0	3	3	
水野 将	2	23	10	8	31	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	
柳 元	1	13	6	4	30	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
花井 芳	1	23	6	6	30	2	0	0	1	0	2	0	0	1	1	
石 芳	1	13	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		13														



大学
野球
UNIVERSITY BASEBALL



愛知大学野球

AICHI UNIVERSITY BASEBALL LEAGUE

2024 秋季リーグ戦 9月7日(土)~10月26日(土)

(2部リーグは8月31日(土)より開幕)

主催 愛知大学野球連盟 <http://www.aubl.jp>

後援 中日新聞社／中日スポーツ 協賛 株式会社ミニミニ

球場 パロマ瑞穂野球場 豊田市運動公園野球場 春日井市民球場 他

Locipoで1部リーグの試合をライブ配信(予定)※配信日は連盟ホームページに記載アプリダウンロードはこちらから



AUBL.OFFICIAL



2024 年

6 月 1 5 日～	秋季オープン戦
8 月 1 日～	夏季練習開始
9 月 7 日～	秋季リーグ



背番号 1

3 年 西塚制覇(にしづかせいは)
三重県 海星高校

秋季リーグお疲れ様でした。まず、リーグ戦開催に携わってくださった多くの方に心より感謝申し上げます。

早いもので 6 度目のリーグ戦、主務兼副主将としては最後のリーグ戦となりました。昨年、3 部リーグ優勝したものの入替戦で敗退してからこの 1 年間 2 部リーグ昇格を目標にしてきました。結果としては、春と変わらずリーグ 3 位という結果に終わってしまい、申し訳ない思いでいっぱいです。愛知教育大学には 6 対 10 で春に引き続き敗戦し、最終戦で首位であった名古屋産業大学に勝てば首の皮一枚繋がるといった試合で 7 対 10 で敗戦してしまいました。悔しいですが、これが勝負のすべてだと思います。点を取れる場面で点を取りきることができなかった、点を取られてはいけない場面で点を重ねられてしまったとあと一歩及ばないという形での敗戦、完全に力不足だと感じます。チーム全体として昨年まで使用していた大学の打撃練習場が使用禁止となり、練習する環境が減ってしまったということも要因のひとつではないかと推測します。しかし、環境は自らが変えるものという言

葉があるようにたとえ限られた場所や時間であったとしても、その中で工夫してこそ自らが頭を使って試行錯誤しながら、取り組んできたという自信にも繋がるのでは無いかと感じます。ですが、1 人でそのように考えていても、意思疎通が完全にできるわけではないため、練習できる環境が本当に無いのか探し、あったとすれば部員を巻きこみ、より一層レベルアップに努めてまいりたいと考えます。

主務兼副主将というなかなか異例な立場で春は不甲斐ない成績を残してしまいましたが、秋には愛知淑徳大学戦での先制タイムリーや名古屋産業大学戦での同点ホームラン、2 補殺などチームに貢献することができたのではないかと感じます。練習メニュー作成やスタメン・ベンチメンバー決め、OP 戦開催や事務的な作業等盛りだくさんな 1 年でしたが、終わってみれば充実した 1 年であったと胸を張って言うことができます。夏休み期間の OP 戦については、自分が入学してから一度も対戦したことの無いような大学と試合を重ねようと奮闘し、新たな大学との縁ができ、来年以降の OP 戦相手確保に少しは協力できたのかなと思います。

1 年生の頃は 5 番、2、3 年生は主に 4 番を務めさせていただき来年も後輩たちと共にプレーさせていただこうと考えております。今年のレギュラーメンバーほぼ全員来年もプレーする予定です。他大学よりも圧倒的に経験のある新チームで必ず、2 部昇格いたします。

最後になりますが、応援はすごく力になります。もちろん仕事やプライベート等多忙と存じ上げますが、少しでも応援、サポ

ートしていただけると幸いです。何卒よろしく願いいたします。そして、2025 年南山大学硬式野球部にご期待ください！



背番号 3
3 年 宮城翔生(みやぎかい)
奈良県 天理高校

まずは秋季リーグ多大なるご声援を賜りまして、ありがとうございました。結果は3位となり、入れ替え戦に出場することができず、3 部リーグ残留という結果になってしまいました。このような結果になってしまい申し訳ございませんでした。

今大会ですが、私は何一つチームに貢献することができませんでした。春季リーグで4 番を任されていたが、夏以降は調子を落とし、それに正面から向き合うことができず、薬を使って自分の精神状態を保ちながら生活を送ってきました。睡眠薬を使って睡眠をとる、薬を使わなければ睡眠がとれないほど、精神状態は追い込まれていたと自分なりに分析しています。また薬の副作用は自分の想像をはるかに超え、呼吸困難、全身の蕁麻疹、嘔吐が私の体に襲ってきました。試合中でもベンチに座ること、横になることもあり、三年生という立場でありながら、大変チームにご迷惑をおかけし

たことだと思います。改めて誠に申し訳ございませんでした。

なんとかチームの状況を打開するための方法を模索していましたが、結果は3 部残留という形です。このような成績で終わってしまったことはすべて私に責任があります。大変申し訳ございませんでした。特にチームを第一に考えてくれた西塚主務、そして誰よりもチームを引っ張って来た花井主将、この二人に助けられながらもなにも返すことができなかったこと、非常に申し訳思います。ただ同時に薬漬けの自分にこれほどまでに接してくれたことは感謝しかありません。二人に感謝を申し上げます。ほんとうにありがとうございました。このチームにとって私ほど邪魔な存在はないと考えています。それがたとえ精神的な病気だからといっても、許されることではないと思います。すべてにおいて病気を言い訳にすることができないことも十分承知の上です。そんな私に気さくに声をかけてくれたチームメイト、私にとってみれば大切な「財産」です。その財産である彼らともう一度夢を追いかけて、その想いが私にはあります。まずは病気の治療に専念し、万全な状態で春を迎えられるように調整します。必ずチームに「恩返し」ができるように、野球でも結果を残します。

残暑が続く中でもOB会長をはじめ、たくさんの方に見守られながら、試合をしていきました。改めてOBの方に感謝申し上げます。ありがとうございました。チームは今新体制に入りました。二部昇格に向けて、日々練習に取り組んでいます。その期待、想いに少しでも応えられるよう必ず来春、私そしてチームは結果を残します。

病気と闘い、そして必ず乗り越えて、再びグラウンドに帰っていきます。来年度も引き続きご声援のほどよろしくお願いいたします。



背番号 18
3 年 小谷勇輝(こたにゆうき)
愛知県 至学館高校

秋季リーグお疲れ様でした。OBをはじめとする各関係者の皆様、日頃から弊部を応援いただきありがとうございます。また、主将をはじめとする幹部のみんなやマネージャーのみんなには硬式野球部の運営に尽力していただいていた非常に感謝しています。ありがとうございます。

さて、本年秋季リーグですがチームとしても個人としてもあまり良い結果が出せませんでした。名古屋産業大学さんと愛知教育大学さんに敗戦し、その他の試合でも苦しい試合が多かった印象です。チームは勝ちにこだわってやっていたので悔しいという気持ちが一番に上がってくると思います。

個人的には春季リーグが終わってからしばらく野球から離れており、就職活動を行っていました。本当は秋季リーグに出場しないでおこうと考えていましたが、気分的にやってみたくなり始めてみました。軽い

気持ちで始めたように見えがちですが実はそんなブランクといわれるようなものは感じませんでした。その理由はこれまで培ってきた知識にあります。大学に入ってから投球に関して様々な勉強をしてきました。時には遠い所へ高いお金を払って指導者の方に聞きに行ったこともありました。そう言った投球に関するノウハウが頭に残っていたからこそ頭で体をコントロールすることができました。しかし、ハイペースで調整しすぎていて肩には相当な負担がかかっていたようです。もともと体が硬かったため、怪我しない投げ方ではありませんでした。何とか体にかかる負荷をばらけさそうと試行錯誤してみましたが根本の体が良くないので最後痛めてしまいました。

来季は最終学年となりますが、学生野球は最後となるので悔いのないように過ごしていけたらと思います。まずは1年怪我しない体づくりに努めていきたいです。135キロくらいの出力の出し方は体で覚えているのでその負荷に耐えられるような体づくりをしていけば自然とさらに上の球速帯も目指せると思うので冬の筋力アップを頑張りたいと思います。フィットイージートレーナーとしても最近痩せた？と言われがちで、さぼっていることがバレるので、そろそろトレーニングに本腰を入れないといけないなと感じています。トレーニング頑張りたいと考えている部員の皆さんもぜひ近くのフィットイージーに入会して合トレしましょう。また部員同士の仲を深める活動もしていきたいのでみんなで楽しく来季もやっていきましょう。



背番号 22

3 年 花井慧汰(はないけいた)
京都府 京都外大西高校

秋季リーグ戦お疲れ様でした。気温も暑く、お忙しい中グラウンドまで足を運んで頂いた OB、OG、父兄の皆様、春季のリーグ戦から秋季のリーグ戦まで 1 年間応援ありがとうございました。この場をお借りして感謝を申し上げます。

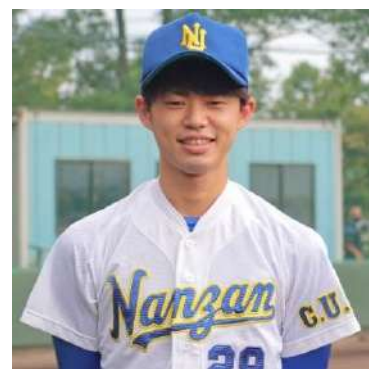
春季リーグ戦、秋季リーグ戦と 3 位という悔しい結果に終わりました。試合を通じて、愛知教育大学も、名古屋産業大学もあと一歩が届かず負けてしまいました。愛知教育大学戦に関しては自分のミスがなければ勝てていました。流れも変えることができず、主将としても 1 人の選手としても不甲斐ないと感じました。常に勝利を目指して取り組んでいましたが、勝ちきれなかったこと、本当にこれがチームのみんなに申し訳ないです。それでもベンチで声が枯れるまで応援してくれた選手、ベンチに入れなくても補助など率先して支えてくれた選手、バッティングの動画やアイシング常にサポートしてくれたマネージャー、チームのみんなに本当に感謝したいです。

他にも、今年に入って野球部を退部した 3 人の選手がわざわざ足を運んで試合を見

に来てくれ、久しぶりに 3 年生 10 人がグラウンドに集まったことに喜びを感じました。グラウンドに足を運んで試合を見に来てくれてありがとう。

この秋季リーグ戦を持って、自分の主将は終わりを迎えました。何度も揉めたり、部員からしたらどうしようもない主将だったと思います。常にチームを見て行動してきましたが、主務兼副主将の西塚をはじめ、マネージャー、同期や後輩にも常に助けられ、支えられて、ここまでやり切ることができました。こんな頼りない主将に 1 年間ついてきてくれて本当にありがとうございました。

来年で私は大学野球最後の年を迎えます。大学野球最後の年、2 部昇格を果たして今度こそ笑顔で締めくくられるように、そして少しでもチームに貢献できるようどんな役目であろうと全力で努めていきます。これからも応援よろしくお願い致します。



背番号 29

3 年 小西裕一郎(こにしゅういちろう)
岐阜県 加納高校

自分が最高学年として迎えた初めての春のリーグ戦は、惜しくも順位決定戦で敗退し、目標であった 2 部昇格を達成すること

ができませんでした。その悔しさを胸に全員で秋季リーグに臨みました。2 部昇格を目指してチーム一丸となって戦いましたが、結果は 3 位という形でシーズンが終了しました。勝てるはずの試合で、自分たちのミスにより落としてしまったり、2 部から降格してきたチームとの対戦では打力の差を痛感する場面も多くありました。また、自分個人の成績についても、試合ごとに調子の波が大きく、全くチームに貢献できない試合もありました。こうした経験から、常に自分のコンディションを整えて、どの試合でもベストパフォーマンスを発揮できるよう努める必要性を改めて感じています。

一方で、成長を実感できる瞬間もありました。春のリーグ戦が終わってから、筋力トレーニングを積極的に取り入れたことで、以前よりも強くスイングできる感覚を得ることができました。その結果として、公式戦でホームランを打つことができたのは、自分にとって大きな自信になりました。もちろん、これがトレーニングの成果かどうかは断言できませんが、少なくとも自分の成長を感じることができたのは確かです。このようなポジティブな変化をさらに推し進め、次のシーズンに向けて、より一層レベルアップするためのオフシーズンにしたいと思います。

自分は、4 年生になっても野球を続ける決意をしています。学生野球をプレーできるのは残り 1 年しかありません。そのため、悔いの残らないように、このオフシーズンにやるべきことを全てやりきり、ラストシーズンに最高の形で臨みたいと考えています。個人としての技術や体力の向上に努めるのはもちろんのこと、最高学年としての

自覚を持ち、チーム全体を引っ張っていく責任も果たしていくつもりです。今まで硬式野球部に受け継がれてきた伝統を大切にしながら、楽しくも厳しい練習を続け、チームがより強くなるために尽力します。

最後に、自分がこうして好きな野球に打ち込める環境が決して当たり前のもではないことを忘れずにいたいと思います。監督を務めてくださっている横江さんをはじめ、支えてくれている両親、チームをまとめてくれるキャプテンや主務、マネージャー、そして共に戦うチームメイトのみんなに感謝の気持ちを持ち続けます。また、長年にわたって硬式野球部を支えてくださっている OB の方々にも、心からの感謝を伝えたいです。彼らのおかげで今の自分たちがあり、こうして競技に打ち込めるのだということを胸に、日々の練習や試合に臨んでいきます。



背番号 4 1

3 年 武田知樹(たけださとき)

愛知県 高蔵寺高校

秋季リーグ戦、本当にお疲れ様でした。自分にとって最後のリーグ戦となる今回の大会に向けて、何としてもチームに貢献したいという強い思いを持ち、これまでの練習や試合に全力で取り組んできました。自分自

身で工夫しながら練習することはやりがいがありました。毎日の練習やチームメイトとの時間を大切にしながら、自分ができる最大限の努力を続け、少しでもチームの力になれるようにと精一杯を尽くしてきたつもりです。しかし、結果としては目指していた優勝には届かず、3 位という結果で終わってしまい、とても悔しい気持ちでいっぱいです。今まで私を支えてくれた両親や先輩、OB の方に結果で恩返ししたかったです。

もちろん、この結果を素直に受け入れることは簡単ではありません。自分が引退する最後のシーズンだっただけに、どうしても優勝という形で有終の美を飾りたかった気持ちが強かったですし、チームのみんなにもその思いを感じてほしかったです。それでも、ここまで共に戦ってくれた仲間たちには感謝の気持ちでいっぱいです。試合中や練習で励まし合いながら困難を乗り越えたその経験は、これからの自分にとっても大切な財産になると信じています。この財産を大切にこれからも野球での経験を活かし、次のステップで活躍したいです。

私はこれで引退となりますが、これからも部活動が続けていく後輩たちや、同期でまだ残る仲間たちには心からエールを送りたいです。彼らの努力や成長を間近で見てきたからこそ、これからのチームがさらに強く、そしてまとまりを持った素晴らしいチームになることを確信しています。私がいなくなった後も、彼らなら必ずや新しい歴史を築き、より高みを目指していけるはずです。

自分が果たせなかった目標をぜひ後輩に託します。そして、次のリーグ戦では悲願の優勝を掴んでほしいと強く願っています。これからも陰ながら応援し続けますので、引き続き頑張ってください。そして、これまで共に過ごした日々心から感謝しています。皆さん、本当にありがとうございました。



背番号 4 4

3 年 棚瀬 柊人(たなせしゅうと)

愛知県 名東高校

私は大学 3 年生として、大学野球の秋季リーグに挑んできました。この 2 季にわたり、私たちのチームは 3 部リーグで奮闘し、いずれも 3 位という結果でシーズンを終えました。安定した戦績ではありますが、あと一步のところで優勝を果たせず、悔しさが募るシーズンでもありました。そのため、来年の目標は「3 部優勝」を掲げ、さらなる成長を目指しています。これまでのシーズンでは、個々の選手が高いパフォーマンスを見せ、試合ごとに粘り強い戦いを展開してきました。しかし、勝負の分かれ目となる場面でのミスや、僅差での敗戦が続いたことが、あと一步の壁を乗り越えられなかった理由の一つだと感じています。特に秋季リーグでは、終盤の大事な試合で思うように力を

発揮できず、悔しい3位という結果に終わりました。この2季連続の3位という結果は、決して悪いものではありませんが、同時に課題も浮き彫りにしました。まず、試合運びの精度をさらに高める必要があります。終盤の僅差の場面での冷静な判断力、守備のミスを防ぐための基礎練習の徹底が重要です。また、精神面での強化も必要不可欠です。勝負どころで緊張に打ち勝ち、平常心でプレーできるかどうか、優勝の鍵になると考えています。来年の目標として掲げた「3部優勝」「2部昇格」は簡単なものではありませんが、これまでの悔しさをバネに、チーム一丸となって挑んでいきます。まずは冬季トレーニングで個々の能力を底上げすることに注力します。3部での優勝、そして2部昇格は、チーム目標だけでなく、私が大学最後の年を最高の形で終えるための目標でもあります。そのためには、一つひとつの練習に全力を尽くし、過去の自分たちを超える努力が求められます。これまでの2季の経験が無駄にせず、どんな状況でも諦めない姿勢を大切に、来年の春、そして秋には必ず3部リーグの頂点に立ちたいと強く願っています。



背番号46

3年 山田健太郎(やまだけんたろう)
岐阜県 大垣北高校

秋季大会が終わりました。気づけば、私たち最上級生がチームを牽引する立場に立ち、後輩たちと共に戦う日々が続いていました。この大会で私は引退をするので野球人生の中でも一番大きな意味を持つ大会となりました。

私が心がけたのは、チームのためのサポートと雰囲気作りです。私はいつでも仲間を励まし、前に進む力を与える存在でありたいと思いました。例えば、練習を重ねる中で気づいたポイントをアドバイスし合うことで、チーム全体の士気を高める努力をしていました。時には自分が良いプレーをできなかった時でも、周りを支えることがチームにとってどれほど大切かを理解するようになりました。

大会が進むにつれ、私たちは数々の試合を戦いました。どの試合も簡単ではなく、一丸となり戦い抜きました。しかし、結果は思うようにはいかず、敗北してしまいました。振り返れば、あと一步のところまで迫っていた試合もありました。悔しさもありましたが、それ以上に感謝の気持ちが湧いてきました。何よりも、自分がこのチームの一員としてプレーできたこと、その仲間と共に過ごせたことにありがたさを感じます。私たちが成し得なかった優勝を、後輩たちにはぜひ実現してほしいと強く願っています。

自分が経験してきたこと、そして時には苦しい瞬間も含めた全てが、私を成長させてくれました。この経験を通じて、私は自分自身の役割の大切さを知りました。それは単にプレーするのではなく、チーム全体を

支え、鼓舞し、お互いを高め合うことです。これからの人生にも繋がる大切な時間となりました。

自分が野球をやれてきたことは当たり前ではないです。私たちが野球をするために多くの人が関わってくださっている事を気づけました。支えてくれている両親やキャプテン、主務、マネージャー、チームメイト、OBの方々に感謝の気持ちを伝えたいです。本当にありがとうございました。これからは南山大学野球部を応援していこうと思います。



マネージャー

3年 斎藤希(さいとうのぞみ)
福井県 仁愛女子高校

秋季リーグ戦お疲れ様でした。最高学年のマネージャーとして迎えた最後のリーグ戦でした。私は今秋で引退が決まっており、何としてでも優勝を勝ち取って、入れ替え戦に連れて行ってもらいたいという強い思いで、全力でサポートしてきました。しかし、結果としては3位という悔しい結果に終わりました。それでも、私はこのチームのマネージャーとして最後まで選手たちの傍らで応援できたことに、心から嬉しさを感じています。3年間、選手たちと共に過ごし

た時間は、私にとってかけがえのない思い出です。

大学に入って初めて、人をサポートするという貴重な経験をしました。正直なところ、自己管理がまだまだな私には、他者を支えるマネージャー業は最初、とても重荷に感じられました。楽しいことよりも、大変だと感じる瞬間の方が多かったのが現実です。何度も辛くなり、辞めたいと思ったこともありましたし、キャプテンと意見がぶつかることもありました。それでも、そんな苦しい時期があったからこそ、最後まで続けてよかったと心から思っています。あの経験があったからこそ、今の自分があると感じています。

最後の試合、名古屋産業大学さんとの対戦では、先に引退していた3人が応援に駆けつけてくれ、花束をいただくという温かいサプライズがありました。久しぶりに同期全員が集まり、みんなに見送ってもらう瞬間は、本当に感動的でした。自分がこんなにも頼りないマネージャーだったにも関わらず、温かい言葉をかけてもらい、心から送り出してもらえたことが、何よりの宝物です。仲間たちからの感謝の気持ちと、その支えを感じながら、この経験が一生の思い出となったことに、深く感謝しています。

最後になりますが、この場をお借りして、南山大学硬式野球部を支えてくださっているすべての方々に感謝申し上げます。横江監督、大橋会長、OB・OGの方々、そして球場に足をお運びいただき、温かい声援を送ってくださる皆様、誠にありがとうございました。本当に頼りないマネージャーだったと思います。横江監督には試合中、これはエラーですか？ヒットですか？など何度

も質問させていただき、ご迷惑をおかけしたと思います。しかし、その度に親身に教えていただき、地道に成長を実感することができました。今後は部活動を離れますが、みんなの活躍を心から願っています。



背番号 5

2 年 齋藤奨太(さいとうしょうた)
三重県 三重海星高校

秋季リーグお疲れ様でした。秋季リーグでは春季リーグ同様の 3 位といった悔しい結果に終わりました。今回のリーグ戦では前回のリーグ戦のような守備力で粘るといった印象とは違い、どちらかと言えば、打線が上手くつながったといった印象の方が強かったイメージでした。特に印象であったのが淑徳戦や名古屋産業戦だったと思いました。淑徳戦ではまず、初回に先制することができ、その後も追加点が欲しい場面でチャンスをつくり得点に繋がる 1 本を出すことができたことが勝利となった要因だと思います。また、名古屋産業でも負けはしたものの序盤から点差が開いてしまってもチャンスを生かし、本塁打などで一時同点まで追いつくことができた点から思いました。しかし、今回の秋季リーグ戦での敗戦はや

はり無駄な失点が多かった所だと思いました。フォアボールやエラーなどでランナーを貯め、長打で失点を重ねてしまったことが大きな原因であると思いました。

個人としては、春季リーグ同様主に三塁手のレギュラーとして出場する機会を多く与えてもらうことができました。そのため、責任感をしっかり持ち、チームの勝利のために自分のやるべきことを自覚し、試合で最善を尽くすための行動などチーム全体に気を配ることを意識していました。打撃面に関してでは、不調な状態が続いてしまった苦しいリーグでした。全く感覚を掴むことが出来ず、気持ち的にもネガティブになってしまった点が反省するべきだと感じました。そのため、不調な時こそ打席内で考えること(ファールで球数を増やす、右打ち、セーフティーバントなど)を常に意識し、実践することができるような選手になるべきだと思いました。守備面に関してでは、春季リーグよりも向上していると感じました。中でもスローイングの確実性が特に伸びたと実感しました。球際の強さ、打球判断のスピードなど守備率は 10 割を目指して取り組んでいきたいと思いました。

来年から世代が代わり自分たちが中心となって考えなくてはなりません。そのため、チーム力向上のために常に最善の選択を話し合い、今後の春休みの期間には連携の練習を多くやるべきだと考えています。1 日 1 日の練習を無駄にせず、常に向上心をもったチームにしていきたいと思います。



背番号 13
2 年 深谷陸登(ふかやりくと)
三重県 三重海星高校

秋季リーグ戦お疲れ様でした。また、日頃から応援いただいている OB 会の皆様には感謝しております。

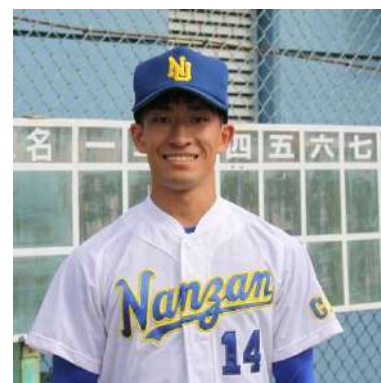
春のリーグ戦や上南戦、新人戦での課題を克服するために、秋のリーグ戦までに私たちは目標を意識し、練習に取り組みました。チームは夏の合宿や練習試合を通じて連携や技術の向上に努めました。個人としては、春季リーグ戦での自己管理の怠りにより登板機会を失い、チームに貢献することができませんでした。その点を反省し、夏の間の練習やオープン戦を通してコンディション調整の方法を学び、体力や技術の向上に取り組みしました。その結果、秋のリーグ戦で私たちの順位は 3 位でした。二部リーグ昇格を目標にしていただけに、悔しい結果となりました。チームとしての反省点は後半に点を取られることが多く、終盤での集中力が課題と感じました。

また、個人としては去年や前回よりも多く投球することができ、チームの一員としての自信を感じています。しかし、いい成績を残せなかったため、個人としての実力不

足を痛感しました。反省点としては、フォアボールの数が多かったことです。自分でランナーを出し苦しむことが多かったため、次のリーグ戦までにもっとストライクゾーンにボールを集められるように投げ込む練習に取り組もうと考えています。

今回の 3 位という結果を受けて、私たちはさらなる成長と発展を目指しています。今後も試合を通じて課題を見つけ、それに取り組むことで、より強固なチームになることを目指します。また、これからは私たちの学年が主体となってチームを組み立てていく番となりました。現在の一年生を引っ張り、三年生を支えるために責任を持つことに努めます。

引き続き、チーム一丸となって努力を重ね、目標である二部リーグ昇格を達成するために全力を尽くします。応援してくださる皆様への感謝の気持ちを忘れずに、秋季リーグ戦に臨みます。どうぞ引き続き、応援をよろしくお願いいたします。



背番号 14
2 年 森上駿太郎(もりかみしゅんたろう)
愛知県 名古屋高校

秋季リーグ戦お疲れ様でした。まず初め

にここまで無事に活動を継続できたことをOBの皆様をはじめ、監督、マネージャー、保護者の皆さま、いつもご支援とご声援を本当にありがとうございます。まず初めに自分は今大会を通して感じたことが2点あります。1点目は自分自身やチームの状況が好転しないどころか、むしろ後退しているように感じた点です。春季リーグから夏季合宿まで肘の故障のため離脱し、治療と身体強化に努め、今リーグ戦に対する準備が遅れてしまったことが大きな原因の一つだと自認しています。しかしながらそのほかにも多くの要因があったと思います。その内の一つとしてこの夏休みの練習の雰囲気やそれを作り出した野球以外の問題が多くあると感じました。僕は怪我人として夏の練習に参加していましたが午前組、午後組と別れて練習するのは無理があったと感じました。ほかにも配車の問題や部費関連の問題などチーム運営に関して多くの問題があったように感じました。自分は怪我人としてチームにとって最善を尽くすことをこの秋季大会までの期間は行動理念に掲げていました。その間に色々と思うところはありませんでしたがチームにとっての最善は尽くせたと思っています。2点目に自分の中での野球への姿勢が変わったと感じました。この期間を通じて自分がなんのためにこの野球部に所属し、何を目標に毎回の練習や試合に来て、何をモチベーションにして日々のトレーニングやリハビリに通っているのか、ひと言でまとめるなら「優先順位が下がった」と感じました。個人の感情をチームに持ち込むのは違うと思ったし、感情で行動を決めるのは愚かな行為だと思うので何かアクションを起こしたわけではありま

せんが行動に影響していたのであれば申し訳ないと思います。これから春リーグまでは新チームになるのもあり感じたことを共有することこそが各々のベクトルを合わせることに最善の方法だと思うので下級生の意見も取り入れてより良いチームを作ること为目标として取り組んでいきたいと思いました。



背番号 16

2年 林伶真(はやしれいま)

愛知県 小牧南高校

秋季リーグお疲れ様でした。今回のリーグ戦では、3部で優勝し、入れ替え戦を勝ち2部に昇格することを目標としていましたが、今回3位という結果に終わってしまいました。このままでは、春リーグに2部昇格ができません。チームとしては、他のチームに比べ失点が多いことが今の弱点であると思います。これは、ピッチャーだけの問題ではなく、野手もエラーを無くしたりピッチャーを助けるようなプレーが時には必要となってきます。バッティング面では、残塁が多いことが課題です。繋ぐことはもちろん大事ですが、ランナーを返す大きな打球も必要となります。今のチームではチャンスで凡退が続いたり、チームと

してやりたい攻撃が出来ていないように感じます。この2点を克服することで3部優勝が出来ると思います。しかし、今のチームには波に乗った時の攻撃力の高さや豊富なピッチャー陣といった強みもあります。しかひこれらを克服するためには、個々のレベルアップが必要不可欠になります。これから、春リーグ始まる2ヶ月ほど前までシーズンオフになります。この期間で各々が意識高く自分の欠点を治したり、長所を伸ばしたりすることが大切です。個人としては、秋季リーグでは、打率が下がってしまったことが悔しいです。しかし、その一方で、走塁でチームに貢献することが出来ました。盗塁の数がチーム内トップで得点を多く稼ぐことが出来ました。自分は塁に出ることがチームにとって1番貢献出来ることであるので出塁率をあげることを目標にしていきたいです。出塁率を上げるために打率を上げることも大切です。打率を上げるために打撃フォームの見直しやウェイトトレーニングをして速いスイングを出来るようにすることを目標としてやっていきたいです。変化球への対応がリーグ戦終盤悪くなってしまったのでそれを修正出来るような練習や考え方を取り入れていきたい。最後に、春リーグでは3部優勝をして2部との入れ替え戦に勝てるようにチームの一員として精一杯のプレーをしていきたいです。



背番号 25

2年 今福優晴(いまふくゆうせい)
愛知県 名古屋経済大学市邨高校

秋季リーグ戦お疲れさまでした。加えて日ごろからご支援いただいているOBの皆様に感謝申し上げます。3部リーグ優勝と2部リーグ昇格を目標に臨んだ今回の秋季リーグは春季同様3位となり、悔しい結果となりました。試合の中で見つけた課題を克服し、チームとして成長して来年の春季リーグに向かいたいと思います。

今季は良い面が多く見られたリーグ戦になったと感じました。守備や打撃、走塁など、どの面においてもよいパフォーマンスがチーム全体で見られました。得点のバリエーションも多く、足を絡めながら攻撃の幅を広げることができていたと思います。今季で得た課題は自分たちと同格またはそれ以上のチームと戦うときに高いパフォーマンスが発揮できるかということです。今季の接戦または、負けた試合は4試合ありました。そのうち2試合に敗戦しています。どの試合もチャンスは多くあり、それをものにできない場面や、投手も野手も無駄なランナーを出し得点に絡むという場面が多くありました。そのため、いかに苦

しい時に状況を打開するパフォーマンスができるかをイメージした練習をしていきたいと思います。

個人としては成長と新たな課題がはっきりしたリーグ戦でした。リーグ戦の前週から体調を崩し、第一週目を体調不良で欠席するという最悪に近い状態からスタートし、復帰してからなかなかパフォーマンスが上がらない感覚がありました。それでも自分が今できることを冷静に考え、自分が最大限に貢献できるバッティングを意識しました。その結果、本調子ではないながらも4割を超える打率を残せたことは成長した点だと感じます。しかし特に守備には課題が残りました。いくつかビックプレーができたものの、簡単なミスをする場面が多々ありました。私にとって守備は生命線で自信を持っています。そのため今のままでは納得できない点や足りない点があると理解しています。守備も自分の理想へ向けもう一度見つめなおしたいと思いました。加えて打撃の向上を今まで以上に念頭に置き、守備でも打撃でも中心となれるように努力していきます。

秋季リーグが終わり、新たに新チームのキャプテンを任せてもらったので、自分のことだけでなくチームにとって必要なことを考えた行動、発言をしていきます。そして2部昇格を共通認識として春に向けレベルアップしていきます。



背番号 27

2年 蛭川健太(ひるかわけんた)

愛知県 西尾高校

秋季リーグお疲れ様でした。OB会の皆様についてましては、日々のご支援大変感謝しております。さて、春季リーグは納得のいく結果を出せず、今度こそ2部昇格という強い思いを持って臨んだ秋季リーグでしたが、名古屋産業大学、愛知教育大学に敗れ、3位という結果に終わってしまいました。今秋は、全試合を通じて打線がよく繋がり、チームの課題として常々言い続けていた、チャンスでの一本が出せた試合が多く、春からの成長が見られたと思います。しかしその反面、エラーや四球で余計なランナーを溜め、ビッグイニングを作られたり、確認不足からくる無駄な走塁死など、もったいないプレーが多かった印象でした。長期休暇以外は週に2日しか練習がなく、グラウンドが使えるのは1日だけ、という私たちにとって、実戦での走塁練習を積むのはとても難しいです。また、ピッチャーがブルペンで投球できる機会も少ないため、どうしてもその日の調子次第になってしまうところがあるので、新チームでは課題として頑張っていきたいと思います。

個人としては満足のいく結果とは言えませんでした。初戦に本塁打を打ったものの、その後の試合は長打も少なく、ここぞという場面でチームに貢献することができませんでした。春に出た課題の守備と走塁は及第点にはなったかなと思いますが、自分がチームに求められているのは打撃だと思っているので、来年はコンスタントに結果を出せるようにしたいと思います。

これで今年の全日程が終了し、オフシーズンに突入します。このオフでは、まず体を鍛えることを最重要にしていきたいと思っています。ファーストから元々のキャッチャーに戻るためにも、下半身中心にトレーニングを重ねること、また動きにキレを出すための瞬発系トレーニングや有酸素系も取り入れ、連続した試合でもバテない体を作っていく必要があります。来年こそ、目標である2部昇格を達成するためにも、後悔しないオフシーズンを送ろうと思っています。



背番号 34

2年 木村宗一郎(きむらそういちろう)

愛知県 南山高校

秋季リーグお疲れ様でした。3位という悔しい結果に終わってしまいました。自分は怪我がなかなか治らず、試合にもあまり登板することが出来ませんでした。投手陣は怪我人が多い中1年生も出場し、何とか抑えていましたが、大事な愛知教育大学戦と名古屋産業大学戦で勝ち切ることができませんでした。自分は愛知教育大学戦と名古屋産業大学での試合に登板しましたが、肘の影響もあり短いイニングしか投げることが出来なかったのもとても悔しかったです。名古屋産業大学戦では、2イニング目に失点をしてしまい、チームにとっても迷惑をかけてしまい申し訳なかったです。先頭打者にフォアボールを出してしまい、そこからクイックでの投球が少しズレて球威やコントロールが狂ってしまったのが要因であると感じています。先頭打者にフォアボールを出すことは絶対に避けなければならないことなので今後はコントロールを磨いていかなければならないと痛感しました。また、もっと試合中に頭を使い、その時に絶対避けなければならないことなどを考えながら投球できるようになりたいと感じました。肘の怪我を早く治して、来年は長いイニングを投げ、チームの勝利に貢献できるようになります。大学で野球部に入ってからずっと怪我の状態が続いており、早く完治させて気持ちよく全力で投げられるようになります。冬の期間で筋トレや瞬発トレーニングを頑張り、145キロまで球速を上げるのが目標です。また、変化球でいつでもストライクが取れる球を作り、決め球であるスプリットをさらに磨きたいと思っています。冬の期間はこれらの目標を達成できるように、毎日色々考えながら練習をしてい

きたいです。また、筋トレも継続的にいき、筋力アップや体力アップをはかりたいです。来年こそは自分が活躍して入れ替え戦に進み、目標である 2 部昇格を果たしたいと思っています。そして、2 部相手でもしっかりと抑えられるような投手になりたいと思っています。今後とも応援よろしくお願いします。



背番号 55

2 年 永谷勇樹(ながたにゆうき)

愛知県 国府高校

秋のリーグ戦お疲れ様でした。結果としては愛知教育大学と名古屋産業大学に敗れ 3 位という結果になりました。そして個人としてもリーグ戦出場なしというチームとしても個人としてもとても悔しいリーグ戦となりました。ホームランが出るなど良い面もたくさんありましたがエラーなどチャンスで点が取れないなど課題も明白になったリーグ戦だったと思います。チームとしては春リーグに続き、昨年まで主力であった 3.4 年生が抜け、新しく 1.2 年生が試合に出る機会が増えました。リーグ戦ではいい部分も出すことができましたが、目標であった 2 部昇格は叶えることはできませんでした。自分達のヒットで点が取れないという

現状があるので夏休みの練習で克服していきたいなと思います。個人としては春から取り組んできたバッティングフォームもいまち自分のものに落とし込むことができずに試行錯誤の日々が続きました。春リーグが終わってからの練習試合や夏休みの練習試合などで代打やスタメンで起用させてもらうこともありました。そこで結果を残せず自分の実力不足を痛感すると共にとても情けなさを感じました。ですがフォームを改造したことによりピッチャーとのタイミングとの取り方に苦しみ結果を出すことができていませんでしたが、そんな僕にも西塚さんや健太は何一つ嫌な顔をせずアドバイスを送ってくださり、少しずつではありますがいい方向に進んでいると思います。守備としては可能性を広げるため人生で初めて外野守備に挑戦しました。ノックで受ける打球と実際の打球はとても違う落下地点の予測が難しく試合でも何回もエラーをしてしまいチームにもとても迷惑をかけたし個人としてももっとレベルアップしていかないといけないなということをととても強く感じました。自分のせいで負けてしまった試合もあるので本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。代替わりにより次は自分達の代になります。

先輩達が果たせなかった 2 部昇格に向けて頑張っていきたいと思っています。



背番号 66

2 年 神谷真之将(かみやしんのすけ)
愛知県 西尾東高校

今年も秋季リーグが終了しました。春リーグの成果と課題を生かし、チームは夏の練習期間を通じて更なる強化に取り組みました。その結果、いくつかの試合で力を発揮できた一方で、今後に向けて改善すべき課題も見つかりました。ここではリーグ全体の振り返りと、各試合での主な出来事について報告いたします。まず今季の戦績ですが、勝利数は目標に届かなかったものの、昨季と比べて確実にレベルアップを実感する場面が多々ありました。特に守備面での成長が見られ、エラーの減少が試合を安定させる要因となりました。また、打撃においてもチーム打率が向上し、各選手が自分の役割を理解し、堅実なプレーで繋ぐ意識が定着しました。特筆すべきは、バッター陣が繋ぐことを意識して各打席に望んでいたことだと感じています。彼等の粘り強いプレーが、チーム全体に好影響を与えました。一方で、改善すべき点も見えてきました。特に中盤から後半にかけての集中力の欠如が、勝敗を左右する場面でのミスに繋がってしまった試合もありました。また、試合の流れを読む力や、試合を優位に進めるための状況

判断が課題として浮き彫りになりました。監督からも、次季に向けて「試合全体の流れをつかみ、勝負どころで確実に流れを引き寄せるための練習を強化したい」とのコメントがありました。各試合の中でも特に印象に残ったのは、名古屋産業大学との接戦である最終戦です。序盤にリードを許しながらも、序盤でピッチャーF 選手がしっかりと立て直し、終盤には一時逆転のチャンスを作りました。しかし、惜しくも一歩及ばず敗れはしましたが、選手たちは最後まであきらめず戦い抜く姿勢を見せ、チームの結束力とメンタルの成長を実感できた一戦となりました。この秋季リーグを通じて、チームは個人の技術向上だけでなく、チーム全体の連携力、状況判断力といった総合的な力が試されました。選手それぞれがこの経験を糧にし、自らの課題を明確にすることができたと確信しています。これから冬のオフシーズンに突入しますが、春に向けた鍛錬を一層強化し、チームのさらなる飛躍を目指していきます。



背番号 2

1 年 海老壱喜(えびいつき)
愛知県 名城大学附属高校

秋季リーグお疲れ様でした。今リーグ戦は3位と前回と同じような結果に終わりました。私個人的には春の大会より悔しい印象を受けています。春は準備不足で負けてしまったところがあったように感じました。それに比べ今リーグは、小さなミスの積み重ねで負けたように感じました。それは準備不足ではなく、弱点だと思います。その弱点を早急に気づくことができなかったこと、そしてそれが出てしまったことがとても悔しいです。

1点を取った回でも残塁があれば雰囲気が悪くなる、そういった回に限ってフォアボールからの失点が多い、そこに野手のエラーも絡む。こういったケースが今大会1回だけでなく複数回ありました。これはピッチャー1人の責任でもないですし、エラーした野手の責任でもないと思います。そうさせているチームの雰囲気に問題があるのではないのでしょうか。1点を取ることができたならそれは前向きに捉え、守備に繋げていくのが重要だと思います。そのまま明るい雰囲気で守りに入ったらピッチャーも、出たくないフォアボールは減ると思いますし、野手も守りやすくなると思います。このように、試合中は起きたことをマイナスに捉えるのではなく、次のこと次のことを考えながらプレーするとより良くなるのではないかと考えます。そして、練習では自分や周りがしたミスを二度としないように意識することが重要です。それをまずは自分から心がけていきます。

また、今シーズンは個人では打撃タイトルをリーグ4冠取る事ができ、出来すぎと言っていいほど個人成績は良かったです。打率も6割近く残りましたし、出塁率は6

割を超えていました。しかし、完璧ではありません。まだミスも多くありますし、後悔もあります。例えば、名古屋産業大学戦ではオーバーランしたところを刺され、走塁ミスをしましたし、淑徳戦では背走が上手くいかず、明らかに頭の上を打球が超えていました。盗塁も失敗はなかったですが、スタートが悪くなっていると自分でもわかる程制度が低くなっています。こういった所を潰して、春先の試合に向かうことが出来れば、結果はどうであれ、チームに迷惑をかけることはさらに少なくなると思います。

自分が活躍しようではなく、チームのために少しでも尽くそう。こういった気持ちが必要だということを今大会で学びました。特に打撃の面でそれを感じました。春は自分の仕事が分からずにいました。だから何をやっても中途半端に終わり、自分の力を出せなかったです。しかし、秋リーグは、塁に出て後ろに繋ぐ。そういったシンプルなマインドで打席に立つことにより、これほどの結果を残せました。来季も気を張ることなく、チームのためにひとつのピースとなれるよう、努力していきます。



背番号 4

1年 西出涼雅(にしでりょうが)

三重県 海星高校

秋季リーグ戦、お疲れさまでした。今年度の秋季リーグ戦では、愛知教育大学と名古屋産業大学に敗れてしまい、全体として5勝2敗で3位という悔しさが残る結果に終わってしまいました。自分は今回の秋季リーグ戦で大同大学との試合で自分はピンチランナーとして出場させてもらうチャンスをいただきました。しかし、ピンチランナーとして試合に出場させていただいたのですが、アクションを起こすことができず、課題が残ってしまう結果になってしまいました。以前の上南戦でもピンチランナーとして試合に出場させていただいたので自分の強みは何なのかということをもう一度改めて考え直して、自分の強みを伸ばしていくために日々の全体練習や自主練習を行うと同時に、自分の弱みも克服することができるように日々精進したいと感じました。今まで野球部に入部してから練習や練習試合、公式戦などをおこなってきて、具体的に自分には守備面においても、攻撃面においてもパワーがチームメイトや他大学の選手に比べると劣っていると自覚しているので、これから来る冬の期間で筋力トレーニングやバットの振りこみ、走りこみなどのメニューを取り入れていきたいと思います。また、練習の部分だけでなく、食事もしっかり意識して来シーズンでしっかり戦えるような体づくりを実現させていきたいです。このような取り組みは全て自分自身との戦いだと思うので、自分に甘くならず、ストイックに取り組んでいきたいです。次に南山大学のチームのことに言え、非常に力がついてきているのではないかと感じました。特に名古屋産業大学との試合では、試合の結果だけを見ると12対7と差があった

ように思いますが、ホームラン数は名古屋産業大学が2本で南山大学は3本と相手チームのピッチャーを打ち砕く打撃の力が備わっています。結果的には敗れてしまいましたが、あと一歩届かなかっただけでプラスに考えていいと思いました。ただ、現状に満足せず、2部リーグ昇格に向けてこれからも頑張っていきたいと思います。



背番号 6

1年 高島壯汰(たかしま そうた)
愛知県 名古屋南高校

秋季リーグお疲れ様でした。そして南山大学硬式野球部を応援してくださった皆様には感謝申し上げます。今年の秋季リーグは愛知教育大学、名古屋産業大学に惜しくも敗れてしまい3位という結果に終わってしまいとても悔しい思いをしました。2部昇格という目標をチームで掲げていたにもかかわらず惜しくも届きませんでした。自分は今回のリーグ戦をベンチや外で応援する立場だったのですが先輩たちの躍動する姿や、同級生がその中に混ざって相手と熱戦を繰り広げている姿を見てとても自分としては少し悔しかったです。来季はまずチームとして2部昇格を絶対的な目標としてそのためにチームで一丸となって努力してい

きたいと思います。更にシーズンが一つ終わったということで代替わりという大きな変化がチームにはありました、その中で来期は新しくなったチームを応援して下さる皆様に見せることができたかなと思います。個人としては現在のサードのポジションだけではなく外野などのポジションも視野に入れていきたいと思っています。更にオフシーズンの期間を利用して体作りに尽力していきたいと思っています。今回の秋季リーグで先輩たちの試合を見て学んだことを練習や今後の体作りに生かしていきたいと思っています。そして春季リーグではまた一味も二味も違った自分の姿を見せられるよう努力していきます。春季リーグこそは外やベンチから試合を見るだけではなく自分自身が試合に出てチームの目標である2部昇格に貢献できるようにしたいです。更にゆくゆくは少ない出場機会にとどまるだけではなくメンバーにスターティングメンバーに名を並べられるように努力したいと思っています。新しくなった南山大学硬式野球部を今後とも皆様応援よろしく願いいたします。また今年こそ2部昇格を現実になりたいと思いますので今後のチームとしての活躍、さらに私個人の活躍にも注目していただけると嬉しいです。今後とも南山大学硬式野球部をよろしく願いいたします。



背番号 7

1 年 漆谷悠斗(うるしたにゆうと)

愛知県 愛知高校

秋のリーグ戦お疲れ様でした。また今シーズンで引退される先輩方は本当にお疲れ様でした。先輩方はとても優しく、とても接しやすい先輩方で色々なことを教えていただきました。先輩方が残していったものもしっかりと受け継ぎさらにレベルアップした硬式野球部にしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

秋のリーグ戦は第3位という結果になり非常に悔しいかたちで今シーズンを終えることとなりました。自分是指名打者で多くの試合を出させていただいて様々な緊迫した場面で打席が回ってきてとても大切な経験をすることができました。接戦のときに自分に打席が回ってきて、チームを勝たせることができずまだまだ実力不足とを感じる場面が多くありました。このオフシーズンもしっかりと練習に励み自分自身を磨いていかないといけないと強く感じました。また練習試合などで2部のチームとも試合をさせていただいた時にはレベルの差というのは肌で感じる事がありました。自分たちは3部で優勝し、入れ替え戦で勝ち2部に昇格するというのが目標です。2部との差をどれだけ縮めていく事ができるのかというのがこれからすごく大事になってくると感じています。またこれからはオフシーズンになっていき個人でレベルアップすることが求められると思います。今のシーズンとは違う姿になり、自分の苦手な部分などを克服し次のリーグ戦に挑めるよう1人1

人意識をして様々なことに取り組み次のリーグ戦では3部優勝、また2部昇格というのを目指して行きたいと思います。

最後になりましたが自分がこのように野球をできているのもたくさんの方の支えがあってできていることだと思います。ありがとうございます。また長年支えてくださっているOBの方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。これからも感謝の気持ちを忘れずにプレーをしていきたいと思います。またこれからも応援よろしくお願いします。



背番号 8

1年 繁澤和明(はんざわかずあき)

愛知県 昭和高校

秋のリーグ戦お疲れさまでした。秋のリーグ戦では3位という悔しい結果に終わってしまいました。しかし試合の内容を見ると、2部から落ちてきた名古屋産業大学に対しても試合の中盤まですごくいい形で試合を運んでいけていた。相手に先に先制は許したものの、効果的なホームランが何本も飛び出し相手に点を取られてもすぐに追いつき粘り強い試合となっていた。春の時点ではなかなか打線が繋がらないときもあったが、秋リーグはリーグを通して打線が繋がっておりいい形だったと思う。

またチームの雰囲気としてもグラウンドの外から見ているだけであったが、いろんな人からすごく声が聞こえてきた。1年生も春のときよりも馴染んできたこともあり、1年生から声を発しているところも見られてすごくいい雰囲気で試合ができていたと思う。ピッチャー陣にけが人が多く出てしまい苦しくなってしまったときもあったと思うので、自分もピッチャー陣の一人として早くチームに貢献できるようにしていきたい。

自分個人では春ごろにもともと持っていた腰痛が再発し2、3カ月ほど野球をプレーできない時期が続いてしまった。腰痛がよくなり一試合登板することができたが、その後テスト習慣や個人的な理由の休みが続いてしまい、また登板から遠ざかってしまった。そして夏休みの合宿が始まった。その合宿の3日目にヘルニアを発症してしまい、そこからまた2カ月ほど野球から遠ざかってしまった。腰痛を患っている間は、投げることはもちろん走り込みや筋トレなどできず部活中にできることがかなり限られてしまった。けがをしてしまっているときに過ごしている時間は言い方は悪いかもしれないがすごく無駄なように感じてしまったので早くけがを完治させしっかりと意味のある時間を過ごせるようにしていきたい。早くも半年が過ぎてもうすでに1年生で主力としてかつよくしている選手もいるので負けないように頑張っていく。



背番号 11

1 年 内藤弘海(ないとうひろみ)

愛知県 大府高校

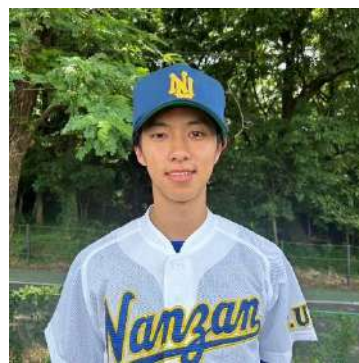
野球部に入部してから半年が経ち、今年のリーグ戦も終わりました。秋のリーグ戦では惜しくも負けてしまいました。このリーグ戦で引退してしまう 3 年生もいたため、入れ替え戦にいけなかったことをとても悔しく思っています。

秋のリーグ戦で感じたことは 2 つあります。1 つ目は走塁などの細かいミスが多くあったということです。そのミスで流れが変わってしまい危ないゲーム展開になることが何回もあり、リーグ戦は勝つことが一番大切ですが、より高いレベルで野球をするために細かいところを詰めていく必要があると感じました。2 つ目は追い上げている時の爆発力が春よりもはるかにあるということです。先制点を取って逆転されるという試合展開が秋リーグは多くあったように感じています。その中で春だったら少し雰囲気沈んでいた所が秋は声から流れをつくって、追い上げて逆転して勝つということができていたのでベンチの外から見ていてとても良いところだと思いました。

個人としては 2 回のリーグ戦を通して一度も試合に出ることができずに終わってしま

い悔しさと同時に焦りを感じています。春から引き続き筋トレや体重増加に努めてトレーニングをしてきました。しかし肩の痛みがあまりとれずまだブルペンに入ることもできていないのが現状です。夏の段階では秋には試合で投げることはできなくても、距離の長いキャッチボールやブルペンに入って投げられるようになっていたと思っていました。投げ方がまとまっておらず一球ごとにフォームが少しずつ変わってしまうことも肩に痛みが出る原因だと思っています。

この半年トレーニングをやってきて少しは良くなっているものの投げられるようにはなっていないので、このオフシーズンで一からフォームを作り直して春には投げられるようにしたいと思います。自分に合ったフォームを見つけるために色んな投手の動画を研究し、自分に合う形に少しずつ変えて自分に合った投げ方を身につけたいと思います。



背番号 12

1 年 天野陸翔(あまのりくと)

愛知県 大府高校

秋季リーグ戦お疲れ様でした。自分が大学受験を経て南山大学に入学し、南山大学硬式野球部に入部し、半年がたちました。秋季

リーグ戦は名古屋大学が2部リーグに昇格し、愛知産業大学が3部に降格しました。2部リーグに所属していた実力はやはり健在で、力の差を感じました。ですが、同点に追いついた場面もあり、勝利までもう一歩という所でした。2部昇格に向けて個々、ポジション、チーム単位で必要なことを分析し、改善することで2部昇格を目指せる位置にいますので来季のリーグ戦に向けて練習していきます。個人的にはまずは怪我を治すこと。春先から少し痛みはありましたが、その中で投げても夏合宿での京都大学には通用しなかったのでもう一度は全力投球できるようにしたいと思います。オフシーズンに入り全体練習はないですが、その中でやることに取り組もうと思います。怪我が感知したら新球種の取得と制球力をより高めていきたいと考えています。新球種は木製バットの相手にはタイミングを外すだけでなく、芯を外すことで抑えられるので、新球種を取得することで投球の幅が広がると考えたからです。球速に関しては投手として魅力的な数値だと思いますが、抜群の制球力があればどんな相手でもある程度戦えると思うからです。制球力を向上させるために下半身の強化、週2回と決して多くない練習の中で感覚を失わないようにすることを心がけ、大学生になった以上自己判断、自己責任で物事が進んでいくので有限である時間を学業やアルバイトとも両立しつつ野球に打ち込めるといいと思います。またまだ自立をしきっていないので周りの方への協力のもと野球ができていることを忘れずプレーしていきたいです。今後ともご声援よろしくお願いします。



背番号 15

1年 石川遥祐(いしかわようすけ)

愛知県 名古屋高校

自分の管理不足で怪我をしてしまいチームに貢献できず本当に申し訳なく思います。また、3年生の引退する先輩にとって最後の大会で優勝という結果で恩返しできなかったことを大変悔しく思います。春リーグでもなかなか思い通りにいかず、新人戦では自分のせいで初戦敗退、上南戦では試合に出ることすらできず負けてしまってまだ自分はこの野球部に入って何も成し遂げていません。野球をやれば必ずすぐに怪我をして長期間休んで復活しては怪我をしてを繰り返しています。本当にこのままチームに迷惑をかけ続けることはできないと強く思っています。大学に入学してから半年近く経ち、慣れてきて自由な時間も増えてきたので、もう一度自分の体と向き合い先輩たちに教わったトレーニングメニューに地道に取り組んで怪我をしない体づくりに励んでいきたいです。また、自分が入学してからとても仲のいい同学年の仲間やいつも優しく接してくれる先輩たちのおかげで一度は高校で辞めようと思っていた野球を再び大学で続けることができ仲間の大切さをとても実感しています。このような仲間

や先輩、そして周りの環境に感謝し自分の一つ一つの行動や言動に責任を持って生活していきます。南山大学野球部は自分が今まで経験してきた高校野球や中学野球に比べて、楽しく野球をすることにフォーカスしている印象です。今まで監督やコーチに縛られ続けた野球生活であったのでとても自由にできる反面、練習やトレーニングを怠っていても誰も助けてくれません。楽しくやるだけではなく、試合に勝つことがこの野球部の目標なので今までにない自由度をうまく利用して自分の弱みを克服し、更なる技術向上に努めていきたいです。そして来年の春からはチームに貢献できるように必死になってプレーし、いつも忙しい中自分たちの試合に駆けつけてくれる横江さんや暑い日も雨の日もサポートしてくれるマネージャー達に優勝という結果で恩返しができるよう頑張ります。



背番号 19

1 年 水野日向(みずのひゅうが)
岐阜県 多治見高校

秋のリーグ戦お疲れ様でした。リーグ戦の開催、運営に協力していただいた多くの方、応援していただいた多くの方にはとても感謝しています。今回のリーグ戦ではベンチ

入りするも登板回数が0と悔しい結果で終わってしまいました。春のリーグ戦後に見つけた課題であるコントロールの改善と自身の球速の更新を達成することができず、春よりも悪い状態で秋リーグに臨むことになってしまいました。練習では暑さに負けブルペンで納得いく球が20球すら続けることができませんでした。練習試合で先発を任せられたにもかかわらず、1イニングで大量失点してしまうことが多く、試合の中で修正することもできず四球後に置きにいった球を打たれてしまうのが自分の失点パターンになってしまいました。夏休みの後半の練習試合では自分の納得する球が増えていきましたが、フォームを維持することができず3イニング目あたりで力のない球や、抜け球が増えいつもの失点パターンで降板することもありました。周りの同級生が成長しチームの信頼を得る中で、夏の練習試合で結果を残すことができず、自分自身の成長がないことに焦りを感じ、毎日ブルペンで投げリカバリーに時間を使っていませんでした。今、夏の自分を振り返ると自身に必要なことを見失っていたと思います。夏の練習試合や練習かで見つけた課題として自身の筋力、柔軟性が圧倒的に足りていないことが挙げられます。春でもこれは課題として挙げていたのですが、自身の甘えから高重量を扱うことをせず、ぬるい筋力トレーニングを夏にしてしまいました。これから冬が始まり、寒くなり、ボールを投げる機会が減っていくので筋力トレーニングに集中できると思います。ネットにはたくさんの筋力トレーニングの情報があふれているので、情報を集めトレーニングに詳しい先輩に相談しながら春に向

けてレベルアップすることができたらいいなと思います。そして次のリーグ戦ではチームの力になりたいと思います。



背番号 20

1 年 田島悠雅(たじまゆうが)
岐阜県 大垣南高校

夏合宿、秋季リーグお疲れ様でした。秋季リーグは 3 位という結果でした。喜べる順位ではなかったと思います。前回よりも厳しい試合を経験することができたのはよかったと思います。チームとしては、2 部昇格を目指していましたが色々な要因もあり 2 部に上がれなかったことはとても悔しいです。

まず、夏合宿については大学に入って初めての合宿でした。雰囲気がとても良く、練習や試合だけではなく旅館などでも先輩、後輩の間ですごく仲良くなれて充実した時間が送れたと思います。そして、合宿では京大やびわこ成蹊といった南山よりも強いチームと対戦することができてより高いレベルを体感することができて自分の課題を知ることができたと思います。今の自分の球ではいいところに投げたとしても打たれてしまうことを知れたのは良かったです。

そして、リーグ戦についてです。山場となる

愛教戦や淑徳戦、名産戦などそれぞれでいい戦いができたと思います。バッター陣はしっかりと点を取れていたのも、ピッチャーはもっと危機感を持って野球に対して取り組む必要があると思いました。春季リーグではロースコアのゲームや失点の少ないゲーム展開で戦えていたと思います。しかし、秋季リーグでは大事な試合では相手を抑えきれませんでした。特に愛教と名産の試合では大量失点をしてしまいました。これらは復帰したばかりの小谷さんや 2 年生のピッチャー陣に頼りすぎてしまったことで起きたことだと思います。もっと 1 年生からも信頼されるピッチャーがでてきていけば負担も減り勝つことができていたと思います。そのためにも 1 年生のピッチャー陣全体のレベルアップする必要があると感じました。

個人のよかった点としては名産戦で 1 イニングを無失点で抑えることができたことです。春季リーグではレベルが上がると点を取られていました。名産戦でも打たれましたがゼロで抑えることができたのは良かったです。しかし、全体で自分を見た時には制球が悪くなっています。テンポが大事なピッチャーなのでそこはしっかりとフォームから修正していきたいです。

次のリーグ戦に向けてはバッター陣はしっかりと点を取れています。ピッチャー陣は 1 人 1 人が責任を持って試合に臨むことが必要です。春季リーグは先輩方と 2 部昇格できるように自分自身しっかりと野球と向き合って、日々の生活から頑張っていきたいです。



背番号 26

1 年 西田汰生(にしだたいせい)

愛知県 尾北高校

秋のリーグ戦、お疲れ様でした。私はベンチを外れることが多かったですが、チームが一致団結し、楽しみつつ勝ちにこだわる試合を行っていたチームメイトを見てとても羨ましく感じました。今回のリーグ戦で1番印象に残っているのは、リーグ戦最終試合の名古屋産業大学さんとの試合でした。試合は序盤相手に圧される展開でしたが、明るい雰囲気をもたらし最後まで諦めず戦う姿勢を見せたことにより流れを引き寄せ、打線が繋がりホームランも何本か出て同点に追いつくことが出来ました。終盤に追いつかれてしまい、最終的には負けてしまいましたが、この試合で先輩方から学ぶことがとても多かったです。今後の試合でこのような雰囲気にも私も混じり、さらに明るいチームとなるように頑張りたいと思います。私は名古屋外国語大学さんとの試合で途中からセカンドで出場することが出来ました。大学に入ってから初めての公式戦出場となったのでとても緊張しました。ですが、ゴロを捌いた時に緊張がほぐれ、楽しい感情に変わっていました。また、打撃面ではいい当たりではなかったですが二塁打を打つこと

ができ、先輩方からも褒められ、とても嬉しかったです。ただ、初球から強くスイングが出来なかったことや体力不足など、反省点も見つかりました。今後の練習から修正していき、次は完璧な打球を打ち、チームに貢献したいです。

この大会で引退してしまう先輩がおりとても悲しいですが、残る先輩も多くいるので今後もより多くのことを学んで吸収し、先輩方のような楽しみつつ勝ちにこだわるようなプレーが出来るように頑張っていきたいです。また、1年生は人数が多く出来る練習の種類が豊富なので、チームとしての団結力や個々の能力向上などを目指し、一つ一つのプレーを丁寧に取り組み、仲間とコミュニケーションを取りながら成長に繋がっていきたいです。そして来年の春のリーグ戦で優勝して入れ替え戦でも勝ち、2部リーグに上がりたいです。



背番号 28

1 年 辻葵斗(つじあおと)

愛知県 帝京大学可児高校

秋季リーグ戦お疲れ様でした。私が硬式野球部に入部してから約半年が経過しました。グラウンドを使って行う水曜練習、放課

後に行う金曜練習、土曜日曜の試合は私にとって毎週の楽しみです。

秋季リーグ戦では代打として2打席チャンスをもらいました。しかし、どちらも三振という結果に終わってしまいました。代打という役割はチャンスの場合などで1打席で結果を出し、チームに貢献しなければならないので重要であり難しいものなのを改めて実感しました。代打にはプレッシャーの中で冷静に投手や守備の状況を見極める精神力と点差や状況、場面に合った適切なバッティングを理解する力、またそれを実行する技術が必要であると考えます。そのためには練習から場面や状況を想定してプレッシャーを感じながら取り組み、1球、1球を試合での投手との勝負だと思って打ち損じのないようにしていきたいです。

秋季リーグ戦が終わり、オフシーズンに入っていきます。私はこのオフシーズンでフィジカルの強化に取り組んでいきたいと考えています。高校のときからウエイトトレーニングには取り組んでいましたが、より重量や回数を増やしたり、どこに効くトレーニングなのかを理解し、より効率の良いものにしてトレーニングしていきたいです。

春季リーグ戦に向けての個人の目標は打撃では確実性を高めることと飛距離UPです。私は三振が多いので減らしていきたいです。そのためにバットをボールのラインに長く入れるような軌道を意識したり、変化球への対応力を高めていきたいです。飛距離UPさせるためには強いスイングをすることを心がけていきたいです。そのためにフィジカル強化に取り組んでいきたいと思っています。

チームの目標は2部昇格しかありません。今回の秋季リーグ戦では名古屋産業大学が2部から下がってきましたが、直接対決では最後には引き離されてしまいました。十分戦えていたと感じました。先輩方が引退される前に3部リーグで優勝し、入れ替え戦で勝利し、2部に昇格したいです。



背番号 48

1年 吉橋礼貴(よしはしあやき)
愛知県 安城高校

夏合宿、秋季リーグ戦お疲れさまでした、今回の秋季リーグ戦では3位という悔しい結果に終わってしまいました。チームの目標として2部昇格という目標があるためその目標を達成する為に夏合宿や夏休みの練習、試合に取り組みましたがリーグ戦では優勝することができずとても歯がゆい思いをしました。今回のリーグ戦では自分自身もベンチに入ることができ実際に試合に参加することによりリーグ戦独特の緊張感、大学野球の楽しさを味わうことができました。しかし自分は試合に出させてもらった試合でエラーをしてしまいチームに迷惑をかけてしまったことはとても後悔しています、これからの練習ではまだまだ自分はリーグ戦で活躍することができるレベルでは

ないのでこの冬で成長して来年の春季リーグでは活躍することができるようにこれからの練習やトレーニングを頑張っていきたいと思います。また4月に硬式野球部に入部し今まで活動してきましたが大学野球はこれまでの高校野球などでは経験できなかったリーグ戦や夏合宿などがあり楽しく、時には厳しく有意義な生活を送ることができました。これからの冬の時期にはいるとリーグ戦も終わり、オフシーズンに入ることでより個人の意識の高さが求められるようになると思うので自分でモチベーションを高く保ち来年度のリーグ戦で活躍しチームの優勝、2部昇格に貢献できるようになるのがいまの目標です。またこの冬を通して体を大きくすることも目標の一つです。幸いにもチームには筋トレに詳しい先輩方がたくさんいらっしゃり先輩たちにもアドバイスをもらいながら筋力を向上させ力強いプレーをできるようにしたいです。最後にこの秋季リーグ戦を通して自分たちの力のなさを思い知りまだまだ実力が足りてないことを実感した今こそチームとして大きく成長するチャンスだと思うのでチーム一丸となって頑張っていきたいです。



背番号 51

1 年 平原大地(ひらばらだいち)

三重県 海星高校

私がこの秋季リーグを終えて感じたことは、試合のベンチ内での雰囲気と目の前の一戦一戦を戦う先輩方、同級生の取り組む姿勢です。

私は今回初めてメンバー入りし、また、リーグ戦という今までやってきた勝ち残りの形式とは違ったやり方など様々な経験をすることができました。この経験から試合の運び方、チームの雰囲気、声掛けの仕方などたくさんのことを学びました。一番に感じたことはどれだけ不利な状況でもワンヒットや盗塁、そして得点などのアクションが起こる度に不利な状況を感じさせないくらいのチームでの盛り上がり、いい雰囲気を作っている要因の一つだなと感じたことです。外から見ている盛り上がりとはまた違った盛り上がりで、笑顔が常に絶えず、ずっと楽しんで野球しているという印象でした。この雰囲気は実際とてもプレーがしやすくなります。その1つとして、私はファーストの守備固めとして試合の終盤に出させてもらったのですが、緊張はもちろんありいつも通りのプレーができないかもしれない、そう思っていた時にベンチにいる先輩や同級生がずっと声掛けをしてくれました。応えてるうちに気持ちに余裕も出てきて、いつも以上に楽しくあつという間の時間とその時は感じたくらいです。私がこの短時間でここまで感じた経験から、プレーしている選手にも同じことをして余裕を少しでも持たせよう、そのような考え方もリーグ戦中に生まれ気づけば声掛けを自然としていて、みんなと盛り上がり馴染んでいっているなという印象を持つことができました。それも全て、いつも盛り上げてくれている

先輩方、同級生のおかげだなと思います。
このように、初めての経験でたくさん
のことを知り、学び、分からないことがあ
りながらもみんなの助けなどから少しづ
つ慣れていき全力で目の前のことに集
中できるようになりました。リーグ戦は
終わってしまいましたが、次に向けて
もっと練習をし、雰囲気の良いまま勝
ち進んでいけたらいいなと思います。



背番号 60

1 年 松谷将太郎(まつたにしょうたろう)
大阪府 寝屋川高校

秋のリーグ戦を無事終えることができました。
ひとまずお疲れ様でした。

秋のリーグ戦では、名古屋産業大学や愛知教育大学との首位争いには惜しくも敗れ、
秋季リーグ戦 3 位という悔しい結果になっ
てしまい、目標であった 2 部リーグ昇格は
果たすことはできませんでした。最後ま
で全力で戦う先輩方の勇姿は今でも目に焼
きついています。ここで一部の三年生の方
は引退し、残っていただく三年生の方々も
居られますがこれからは 1,2 年生主体のチ
ームとなっていきます。先輩たちが成し得
なかった 2 部リーグ昇格に向けてこれからの
練習や日々の努力を重ねていきたいと思

います。チームとしてこの秋季リーグ戦を
振り返ると、基本的にはどの試合もしっかり
と得点することができており、守備の面
でみても一点を守り抜く場面では耐え忍ぶ
ことができていて優勝する力は十分あった
のではないかと思います。ですが、2 部から
降格してきた名古屋産業大学との一線を振
り返してみると大事な場面で得点できない、
ここぞというところで踏ん張りきれないな
ど南山大学が苦戦するなか名古屋産業大学
は的確に点を取ったり守りきれたりしてい
て、2 部と 3 部の力の差を感じる結果とな
ってしまいました。ここからは硬式野球部
としてはオフシーズンに入っていきますが、
今後の練習は 2 部のチームを意識して目線
を上げていくことが必要だと感じましたし、
個人個人がより高い意識を保ちながら練習
に向き合っていかなければならないと思い
ました。これからのオフシーズンでは練習
試合もなくなり、練習も減る中でより個人
が自らの技量を高めていく必要があります。
自分のことを振り返るとこの秋季リーグ戦
では出場することができずチームの力にな
ることができないという悔しい結果となり
ました。そのためこの冬の期間ではまず身
体能力の強化に努めていこうとおもいます。
攻撃面でも守備面でも体が自分の思う通り
に動かなければ出来るプレーもできないの
でよりしなやかに強い体にしていきます。

冬が明けると春がやってきます。来春で
自分に回ってくる数少ないチャンスを一
つずつより確実にものにできるように自らの
力を高め、チームに貢献し、目標である 2 部
昇格を果たしたいです。



背番号 64
1 年 新美禪(にいみぜん)
愛知県 愛知高校

秋季リーグお疲れ様でした。秋リーグでは3位と悔しい結果に終わってしまいました。力の面では決して負けていない対戦でしたが、あと一歩力及ばず負けてしまったという感じでした。やはり勝つためにも最後の勝ち切る力が必要だと思いました。チームとしての良いところや課題などが明白になったと思うので、これからの練習で改善していきたいです。ここからは冬になり、個人で練習することも増えていきます。チームがレベルアップするためにも個人の力を伸ばすことが必要です。各ポジションでレギュラー争いをし、チームの底上げをすることが大切だと思います。そのためにトレーニングをして体を大きくすることや、野球を1から考えることによってレベルアップをしていき、目標の2部昇格を果たしたいです。個人としては怪我でベンチを外れ、外からサポートという形になりました。春、秋とチームの力になれず悔しい気持ちでいっぱいです。外から見ることによって学ぶことも多かったなので、これからの自分に活かしていきたいです。先輩たちはストレートにキレがあります。自分は決して球が

速い方ではなく、真っ直ぐで勝負できるピッチャーではありません。ただキャッチャーボールをするのではなく、一球一球のボールに練習の意味を持って投げなければならないと思いました。変化球においても、怪我の影響でキレが失われてしまっています。自分の強みを活かすためにも、投げ込みをしキレを取り戻していきたいです。

自分が南山野球部に入り半年が経ちました。良い雰囲気楽しく活動できていると思います。この野球部の雰囲気を保ちつつ、より強いチームになっていければと思います。最後に、この秋リーグで3年生が引退となりました。3年生の皆さんお疲れ様でした。残る3年生もいるので、その人たちからいろんなところを吸収していきたいです。これから新チームとしての活動が始まってきます。1.2年生がチームを盛り上げて勝てるチームになりたいと思います。



背番号 73
1 年 松宮潤弥(まつみやじゅんや)
愛知県 愛知高校

- 。 秋のリーグ戦お疲れ様でした。今年のチームでは2部リーグを昇格を目標にこの1年間試合や練習をしてきました。結果としては3部リーグで

3位ということで2部リーグへの昇格とはなりません。ただ、春に比べチームや個々の力は確実に伸びたと思います。その力が顕著にでたのは秋リーグの最終戦である名古屋産業大学戦です。相手さんのチームは春まで2部リーグで戦っており、手強い相手でしたがせったい試合ができました。しかし、このチームに勝たないと2部には入れ替え戦で勝てないと思うので勝てる力をこのシーズンにつけたいと思います。また、今回の秋のリーグ戦で3年生の1部の選手が引退ということで勝ちにこだわりいい雰囲気です。

- ここから、硬式野球部はオフシーズンに入ります。練習試合がなくなり、チームでの練習も減っていく中で2部昇格のために個々のスキルアップが必要になっていきます。自分としては、3つのことを重点的に鍛えていきます。
- 1つ目はフィジカル強化です。体が大きくなるとその分遠くに飛ばす力もつき、選手としてのスケールがアップします。なのでこのオフシーズンにはまず体重を身長-100まで増やし、そこから鍛えて行きたいです。そして、春にいい体で入れるよう春が近くなったら、スピード、瞬発系のトレーニングを入れてキレがでる状態でシーズンを迎えたいです。
- 2つ目は打撃の向上です。大学に入って1番苦労しているのが打撃なの

で、このオフシーズン自分と向き合う時間が沢山あるため、打撃を1から見直し、タイミングの取り方、間を意識して打撃練習を行い、春にはスタメンで出れるように頑張ります。

- 3つ目は自分の強みを作ることです。現段階の自分はどれも中途半端で起用しにくい選手だと思うので、自分の強みをこの冬に身につけ起用されやすい選手になります。
- 以上のことをテーマにオフシーズンを過ごし、来年は2部昇格できるようチーム一丸となって頑張ります。



背番号 77

1年 殿内仁之亮(とのうちじんのすけ)

三重県 宇治山田商業高校

秋のリーグ戦お疲れ様でした。まず、今回の秋リーグで運営に協力していただいた多くの協力者の方々のおかげで無事に終える事が出来ました。本当にありがとうございました。また、沢山の方に応援に駆けつけて頂き、後押ししてもらい、本当に力になりました。リーグ3位という結果になりましたが、負けた試合も惜しい試合が多くて、3部

リーグ優勝がちかかったように感じました。個人としては、初登板することができ、被安打無しで終えることができました。これからは、肉体の強化に専念し次の春のリーグ戦では更にチームの力になれるように努力したいと思いました。肉体強化として筋力強化に力を入れて頑張りたいと思います。筋力強化は、球速やコントロールの向上に欠かせない重要な要素です。ピッチングには下半身や体幹、肩・腕の筋力がバランスよく求められ、全身の筋肉を連動させて効率よく力をボールに伝えることが理想だと思いました。下半身強化として、スクワットがいちばん大切だと思います。スクワットには、 半身を鍛える基本的なトレーニングで、バーベルや自重で行います。スクワットによって太ももやお尻、ふくらはぎを鍛えようと、投球の安定性が向上すると思いました。次に体幹トレーニングが大切で、ピッチャーにとって体幹は、力強い投球と安定したフォームの土台となります。体幹が強化されると投球時の体のブレが少なくなり、精密なコントロールができるようになると思いました。次に上半身の肩や腕の筋力強化が大切です。ピッチャーは肩や腕に負担がかかるため、筋力と柔軟性の両方をバランスよく鍛える必要があります。特にいちばん大切だと思っているトレーニングが、ダンベルショルダープレスで、ダンベルショルダープレスの効果は、肩や腕の筋力を鍛えられ、筋力強化だけでなく、肩の安定性が増し、投球フォームが整います。これらのトレーニングに打ち込み春のリーグ戦で良いピッチングができるようになりたいと思いました。



背番号 99

1 年 小野朗(おのあきら)

愛知県 天白高校

秋リーグお疲れ様でした。結果は優勝することができずに、悔しい結果となってしまいましたが、個人的には試合にも出させていただき、またヒットも打つことができて非常に充実したリーグ戦になりました。しかし、自分たちが目指してきたのは 2 部昇格なので、この結果はよく受け止めるべきだと思いました。このリーグを通じて自分が感じたことは、自分が秋までにやってきたことは間違っていないということです。自分の持ち味はバッティングなので、その部分を重点的に練習してきました。先輩方にアドバイスをいただいたりフォームの確認をしたりなど、自分から進んで課題を見つけて取り組んできました。試合ではチャンスを頂いた打席でしっかりと結果を出すという意識でやってきました。それが今回のように結果として現れたのでとても嬉しいのと同時に達成感を感じることができました。このような成功経験は、後の野球生活でも生きてくると思うので大事にしていきたいなと思いました。また、今回のリーグ戦で課題もいくつか見つかりました。それは、チャンスでの一本やピンチでのミスが目立

っていたことです。プレッシャーのかかる場面で、今リーグで僕たちが負けたチームはホームランを打って、良いプレーをしていました。もっとメンタルを鍛える必要があると感じました。また、日頃から、緊張感をもって練習する必要があるなと思いました。また、個人的な部分だと、まだ力不足だと感じることがあります。打球のスピードやスイングの強さ、肩の強さどれにおいても弱いので次のリーグ戦までに重点的に鍛えていきたいなと思いました。また、オフシーズンに入るのでチーム全体の練習が少なくなる中で、どれだけ自分に厳しく練習できるかが重要なので、自分に甘えずに練習していきたいです。授業の空きコマなどの時間を有効活用して、充実したオフシーズンを過ごしたいです。最後に、自分がここまで充実した野球ができてるのは、両親をはじめとした多くの方々のご協力のおかげなので、感謝の気持ちをもって全力で野球を頑張りたいです。



マネージャー

1年 榎本亜香(えのもとあこ)

愛知県 桜台高校

秋オープンとリーグ戦お疲れ様でした。日頃から南山大学硬式野球部に多大なご支援

をありがとうございます。試合を通して自分達だけではなく、応援してくださる皆さまの存在があったからこそ、これまでやっていくことができたと感じています。心より感謝申し上げます。

今回リーグ戦は3位という結果に終わり、最後まで勝ち切れない試合もありました。選手がプレーする姿を動画で撮りながら、もどかしい気持ちになったことを今でも覚えています。今年の練習期間もあと少しとなり、1つ大きな区切りがつくように感じます。来年の春リーグに向けて、また少しずつ試合や練習を重ねて、もっと強くなったチームで共に勝利の喜びを味わえたらいいなと思っています。

引退された選手の方、そしてマネージャーの希さん、3年間お疲れ様でした。先輩方が引退されることをとても寂しく感じています。特に希さんには大変お世話になりました。普段からマネージャー全員を気にかけてくださり、そんな希さんと関わることができてとても恵まれていたなと感じています。

先輩方が築いてきたものを大切にしながら、選手と共に新たなスタートを切っていきたいと思っています。

幹部の交代に伴い、私が会計を引き継ぐことになりました。他のマネージャー業務は同期のマネージャーや選手と分担して引き継いでいきます。今回、幹部の一員として名前が載ることになり、責任の重さを感じています。まだまだ分からないことも多く、希さんには引退後も頼ることがあると思います。「いつでも頼ってね」と笑顔で言ってくださったこと、本当に感謝しています。1人で抱え込まず、たくさんの人に頼りなが

ら仕事をこなしていきたいと思います。そのためにも情報共有は積極的に行なって、みんなに関わることを大切にしていきたいと思います。

最後になりましたが、いつも温かいご声援をありがとうございます。来年こそはリーグ昇格を達成して、嬉しいご報告ができたと思っていますので、新チームも旧チーム同様に応援して頂けたらありがたいです。



マネージャー

1年 奥村青葉(おくむらあおば)

愛知県 熱田高校

秋季リーグお疲れ様でした。リーグ開催に携わってくださった方々、横江監督及びOB.OGの皆様がこの場をお借りし、改めて深く御礼申し上げます。秋季オープン戦、秋季リーグ戦と残暑が続いていた中わざわざ遠方から足をお運びくださり、応援してくださった皆様、誠にありがとうございます。いつも本当に励みになっております。

入部してから早いもので半年が経ちました。リーグ戦、上南戦、合宿と部活と多くの時間を野球部で過ごして行く中で、選手と喜びを分かち合えることの楽しさを本当に実感しています。新チームに移行し、私達一年マネージャーが任される業務も以前より増えました。来シーズンからアナウンスや

スコアなど試合の運営に関わる大切な役割も任せて頂く機会もあると思います。しかし、それらをきっちりとこなさなければチームのみんなと喜びを分かち合えるところまで到達出来ず、自身のことで手一杯になってしまうと思います。自分の失敗でチーム全体に迷惑がかかってしまうようなことがないように一層責任感を持ち気を引き締め、日々の部活動に取り組んでいきたいと思います。これからも選手達が試合や練習で最高のパフォーマンスができる環境を作れるよう自分自身、周りや選手達を常に気にかけていき、共に自分自身も成長していけるよう丁寧な行動を心がけていきたいと思います。今までマネージャー経験がなく、自分が誰かを支える立場を経験したことはありません。ですがこの機会にマネージャーとしてのチームのサポートや運営全般の業務を全うできるよう頑張ります。また、与えられた仕事に責任感をもち、自身の成長に繋げていきたいです。

今回の秋季リーグではあと一步で優勝決定戦に食い込めるところで名古屋産業大学さんに敗戦し三位という悔しい結果になってしまいました。今後もチーム一丸となり新チームという新しく編成されたメンバーで引退した先輩方の目標を引き継ぎ、リーグ昇格を目指し頑張ってまいります。引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。



マネージャー

1 年 高木花奏(たかぎかなで)

愛知県 旭野高校

秋季リーグお疲れ様でした。日頃より、横江コーチをはじめ、OB・OG、南山大学硬式野球部の関係者の皆様からの暖かいご支援、ご声援を賜わりまして心から感謝申し上げます。そして今シーズンをもって引退する先輩方本当にお疲れ様でした。

秋季リーグにおいて愛知教育大学さんや名古屋産業大学さんとの試合は、あと少しのところで惜しくも敗戦となってしまいました。しかし相手に流れを持っていかれても3年生の先輩方が引っ張って声を出しチームの雰囲気盛り上げてくださったおかげで、点を取り返すという場面も多くみられました。とてもハラハラする展開が続いた試合でしたが、とても楽しい時間を過ごすことができました。

南山大学硬式野球部に入部して約半年が経ちました。入部してから春季リーグや4泊5日の夏合宿などの活動を通して、野球部で沢山のことを経験させてもらいました。そして秋季リーグが終わり、これからは新チーム体制に移行します。そのため私達一年マネージャーが担う仕事量も増えます。マネージャーの役割は選手をサポートする

ことで、選手に野球に集中してもらうことです。そのため私達マネージャーは部員の皆様に練習に集中してもらえるように、マネージャーの役割を責任もって果たしていくべきだと思います。そのためマネージャー同士のコミュニケーションが最も大切だと感じています。そのため情報共有を欠かさず行い、1人が失敗したならばそれ以外でカバーしてあげるといった協力をしあって頑張っていきます。私自身は高校時代野球部のマネージャーをしていたので、スコアの面など教えられる最大限のことを教えてあげることが今の私の出来ることだと感じています。大学野球は高校野球とは異なり経験したことのない書類関係やアナウンスの仕事もあります。そのため間違えないよう丁寧に取り組み、自分の行動がチームに影響するため自分の行動にしっかり責任を持ち、マネージャーとしての役割を果たしていきます。

最後になりますが、秋季リーグで惜しくも果たすことの出来なかったリーグ昇格を目指して、チーム一同頑張っています。これからも引き続き暖かいご声援のほどよろしくお願いいたします。

秋季オープン戦

秋季オープン戦

5月18日豊田高専 8月6日至学館大学
 5月25日名古屋大学 8月8日岐阜協立学院
 6月1日愛知教育大学 8月15日豊田高専
 6月15日同朋大学 8月17日豊田高専
 7月13日愛知教育大学 8月19日琵琶湖成蹊
 7月14日名古屋大学 8月22日京都大学W
 7月20日三重大学ダブル 8月25日星城大学

打撃成績 規定打席数 30

	打率	打席	打数	得点	安打	打点	犠打	犠飛	四死球	盗塁	三振	残塁
小野	0.3226	37	31	6	10	4	1	0	6	1	6	3
海老	0.2778	57	36	10	10	7	0	0	12	6	13	11
松宮	0.2667	22	15	5	4	2	2	0	6	1	3	2
西須	0.24	33	25	2	6	4	0	0	7	9	6	9
宮城	0.23	33	26	1	6	0	1	0	6	0	6	11
花井	0.222	39	27	3	6	7	2	0	9	3	4	10
齋藤	0.2143	55	42	8	9	0	1	0	9	5	12	11
辻	0.2	37	30	4	6	4	0	0	10	1	5	10
林	0.1667	51	42	10	7	4	0	1	7	5	9	7
小西	0.161	31	27	2	5	1	1	0	3	0	4	5
蛭川	0.132	45	38	0	5	9	0	1	5	2	6	7
今福	0.0976	48	41	5	4	5	0	0	7	4	6	7

投手成績 規定投球回数 10回

	防御率	投球回数	打者	打数	安打	犠打	犠飛	四球	死球	奪三振	暴投	失点	自責点
深谷	4.38	39	146	116	39	5	1	26	1	26	1	28	19
石川	3.5	18	75	64	16	0	1	5	1	12	0	5	4
田島	2.33	27	95	74	17	4	3	11	2	14	0	8	7
水野	3.32	19	72	53	20	3	2	13	4	9	1	11	7
棚瀬	8.18	11	64	37	13	3	0	14	4	13	0	13	10

5月18日 vs豊田高専 4-5●

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
高専	0	0	0	2	0	0	0	2	0	4
南山	1	2	0	0	1	1	0	0	5	5

5月25日 vs名古屋大学 6-9●

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
名古屋	0	0	0	2	2	0	0	2	0	6
南山	0	0	0	0	2	1	0	6	X	9

6月1日 vs愛知教育大学 5-18●

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
愛敬	2	1	2	0	0	0	0	0	0	5
南山	8	0	4	4	0	1	1	0	×	18

6月15日 vs同朋大学 4-0●

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	1	0	1	0	0	0	0	0	2	4
同朋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7月13日 vs愛知教育大学 2-2

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
愛敬	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
南山	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2

7月14日 vs名古屋大学 8-2○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
名古屋	1	1	0	0	2	1	1	2	0	8
南山	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2

7月20日vs三重大学①0-3○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三重	0	1	0	0	1	0	0	1	×	3

7月20日vs三重大学②6-3○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
三重	1	0	0	0	0	2	0	0	×	6

8月6日vs至学館0-11○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
至学館	3	2	0	2	0	1	0	3	×	11

8月8日vs岐阜協立4-5○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	0	2	0	0	0	2	0	4
協立	0	0	2	0	3	1	0	0	×	5

8月15日vs岐阜聖徳大学2-3○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
聖徳	1	0	0	0	0	2	0	0	×	3

8月17日vs豊田高専2-3○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
高専	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3

8月19日vsびわこ成蹊大学19-3○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
びわこ	3	0	0	2	4	6	1	3		19
南山	0	2	0	1	0	0	0	0		3

8月22日VS京都大学①5-4○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
京都	0	0	1	0	1	0	1	0	2	5
南山	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4

8月22日vs京都大学②12-13○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
京都	4	1	0	1	0	6	0			13
南山	1	0	0	0	0	7	5 ×			12

8月25日vs星城大学8-9○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	0	2	0	0	0	1	4	1	0	8
星城	0	0	3	0	0	0	2	4	×	9

ランキング

《秋季オープン戦》

【打撃部門】

●打率……1海老 36打数10安打 0.27

●四死球…海老 1 2
辻 1 0

●打点…… 林 42

●盗塁……西須 9
海老 6
齋藤 5

【投手部門】

●防御率……田島2.33

●奪三振……深谷26
田島14

2024年 5月 18日		試合開始 9時55分	球場状態	主審	審判	記録	投手	捕手	一塁手	二塁手	三塁手	遊撃手	内野手	外野手	控え	ベンチ	スコア
休養日・10・戦①		試合終了 12時27分	天候・風向	豊田高専 対 南山	(1)	(2)	(3)										水谷
(球場) 豊田高専 G		所要時間 2時間22分	観 衆														
局数	投手	打者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打点	失点
1	豊田高専 早川	南山 小野	I ₆												0	0	0
2	豊田高専 西村	南山 小野	I ₆												0	0	0
3	豊田高専 鈴木	南山 小野	I ₆												0	0	0
4	豊田高専 沢田	南山 小野	I ₆												0	0	0
5	豊田高専 山口	南山 小野	I ₆												0	0	0
6	豊田高専 野田	南山 小野	I ₆												0	0	0
7	豊田高専 山口	南山 小野	I ₆												0	0	0
8	豊田高専 山口	南山 小野	I ₆												0	0	0
9	豊田高専 山口	南山 小野	I ₆												0	0	0
10	豊田高専 山口	南山 小野	I ₆												0	0	0
11	豊田高専 山口	南山 小野	I ₆												0	0	0
12	豊田高専 山口	南山 小野	I ₆												0	0	0
合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投手			13	10	13	17	18	11	13	12	12	12	12	12	12	12	12
打者			13	10	13	17	18	11	13	12	12	12	12	12	12	12	12
投手			13	10	13	17	18	11	13	12	12	12	12	12	12	12	12
打者			13	10	13	17	18	11	13	12	12	12	12	12	12	12	12

チーム名 (監督名)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	記録
豊田高専	南山	0	0	0	2	0	0	0	2	0				4	129-7EP
豊田高専	南山	1	2	0	0	1	1	0	0	X				5X	

局数	投手	打者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打点	失点
1	南山 小野	豊田高専 早川	I ₆												0	0	0
2	南山 小野	豊田高専 早川	I ₆												0	0	0
3	南山 小野	豊田高専 早川	I ₆												0	0	0
4	南山 小野	豊田高専 早川	I ₆												0	0	0
5	南山 小野	豊田高専 早川	I ₆												0	0	0
6	南山 小野	豊田高専 早川	I ₆												0	0	0
7	南山 小野	豊田高専 早川	I ₆												0	0	0
8	南山 小野	豊田高専 早川	I ₆												0	0	0
9	南山 小野	豊田高専 早川	I ₆												0	0	0
10	南山 小野	豊田高専 早川	I ₆												0	0	0
11	南山 小野	豊田高専 早川	I ₆												0	0	0
12	南山 小野	豊田高専 早川	I ₆												0	0	0
合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投手			13	10	13	17	18	11	13	12	12	12	12	12	12	12	12
打者			13	10	13	17	18	11	13	12	12	12	12	12	12	12	12

氏名	種別	セーフ	投球回	打者	打数	得点	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	盗塁	失点	盗塁
1	投手	3															
2	投手	3															
3	投手	3															
4	投手	3															
5	投手	3															
6	投手	3															

氏名	種別	セーフ	投球回	打者	打数	得点	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	盗塁	失点	盗塁
1	投手	3															
2	投手	3															
3	投手	3															
4	投手	3															
5	投手	3															
6	投手	3															

2024年 5月 25日	試合開始 9時25分	球場状態	主審	審判	記録
秋季リーグ戦②	試合終了(2) 10分	天候・風向 晴れ	①	②	③
(球場) 名古屋FC	所要時間 2時間45分	観 衆	名古屋FC		

対戦相手		先発投手	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計		得点	打点	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自点	捕手	一塁手	二塁手	三塁手	本塁手
名古屋FC	西川 37m	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	伊藤 翔	山崎 大輔	佐藤 大輔	佐藤 大輔	佐藤 大輔	
対戦相手	先発投手	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	得点	打点	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自点	捕手	一塁手	二塁手	三塁手	本塁手		
名古屋FC	西川 37m	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	I 3A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	伊藤 翔	山崎 大輔	佐藤 大輔	佐藤 大輔	佐藤 大輔		

チーム名 (監督名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	得点	打点	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自点	捕手	一塁手	二塁手	三塁手	本塁手
名古屋FC	0	0	0	2	2	0	0	2	0				6														伊藤 翔	山崎 大輔	佐藤 大輔	佐藤 大輔	佐藤 大輔
名古屋FC	0	0	0	0	2	1	0	0	X				9														伊藤 翔	山崎 大輔	佐藤 大輔	佐藤 大輔	佐藤 大輔

于 一 山 名 (監督名)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	記
東 大		2	1	2	0	0	0	0	0	0				5	
南 大	横江	8	0	4	4	0	1	1	0	1				18	甲

時間	日	時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	記	
6月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
7月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
8月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
9月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
10月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
11月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
12月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
3月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
4月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
5月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
6月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
7月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
8月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
9月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
10月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
11月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
12月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
3月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
4月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
5月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
6月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
7月	1	9	R	山	大	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
8月	1	9	R														

チーム名 (監督名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	記
南山大 横江	1	0	1	0	0	0	0	0	2				9	
同朋大	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	

投手	打点	打数	得点	打率	得点率	盗塁	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	失点	自責点
1 横江 本	9	24	11	0.458	0.417	0	0	0	5	0	4	0	0	0
2 内 務	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
3 吉 原	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
4 志 波	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
5 伊 藤	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
6 木 内	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
7 木 内	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
8 志 波	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
9 志 波	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
10 志 波	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
11 志 波	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
12 志 波	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0

氏 名	投球回	打数	得点	打率	得点率	盗塁	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	失点	自責点
横江 本	5	13	22	11	0.458	0	0	0	5	0	4	0	0	0
内 務	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
吉 原	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
志 波	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
伊 藤	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
木 内	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
木 内	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
志 波	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
志 波	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
志 波	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0
志 波	4	13	2	0.154	0.154	0	0	0	1	0	1	0	0	0

90年 9月 13日		試合開始 13時45分	球場状態 良	主審 ① ② ③ ④		審判 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫																						
秋季A-リーグ ③		試合終了 15時32分	天候 風向	対戦相手 愛媛大 対 南山大		投手 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫																						
(球場) 愛媛大		所要時間 2時間 8分	観衆 1,200人																									
回	投手	打者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打点	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自責点	
1	16 林	16 林	I ₈		I ₈			I ₈			I ₈																	
2	17 林	17 林	I ₈		I ₈			I ₈			I ₈																	
3	18 林	18 林	I ₈		I ₈			I ₈			I ₈																	
4	19 林	19 林	I ₈		I ₈			I ₈			I ₈																	
5	20 林	20 林	I ₈		I ₈			I ₈			I ₈																	
6	21 林	21 林	I ₈		I ₈			I ₈			I ₈																	
7	22 林	22 林	I ₈		I ₈			I ₈			I ₈																	
8	23 林	23 林	I ₈		I ₈			I ₈			I ₈																	
9	24 林	24 林	I ₈		I ₈			I ₈			I ₈																	
10	25 林	25 林	I ₈		I ₈			I ₈			I ₈																	
11	26 林	26 林	I ₈		I ₈			I ₈			I ₈																	
12	27 林	27 林	I ₈		I ₈			I ₈			I ₈																	
計			0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			16	19	15	18	15	18	12	24	14	11	15	12	14	26												
氏名	投手	捕手	一塁	二塁	三塁	本塁	左翼	中野	右翼	遊撃	内野	外野	控え	ベンチ	計	得点	打点	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自責点
氏名	投手	捕手	一塁	二塁	三塁	本塁	左翼	中野	右翼	遊撃	内野	外野	控え	ベンチ	計	得点	打点	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自責点

投手名 (監督名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	記
安部大	0	0	1	0	0	0	0	0	1				2	
南大	0	0	0	0	0	0	0	0	2				2	

投手名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	打点	得点	打	得点	打	得点	打	得点	打	得点	打	得点	打	得点	打	得点	
安部大	16	28	56	30	60	99	108	118	128	138	148	158	54	1	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
南大	16	28	56	30	60	99	108	118	128	138	148	158	54	1	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

投手名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	得点	打点	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自責点
安部大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	12	34	11	8	9	13	2	19	18	39	16	30	46
南大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	12	34	11	8	9	13	2	19	18	39	16	30	46

氏名	勝負セーブ	投球回数	打者	打数	投球数	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自責点
安部大	/3															
南大	/3															

氏名	勝負セーブ	投球回数	打者	打数	投球数	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自責点
安部大	/3															
南大	/3															

2024年7月14日 秋季大会 第10戦		試合開始 9時15分 試合終了 12時16分	球場状態 良 天候 風向 晴 観衆	名鉄大 対 南山大		主審 斎藤	① ② ③	審判員 斎藤																				
[球場] 名鉄球場		所要時間 3時間0分	観衆																									
局数	投手	打者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打数	被弾	三振	四球	犠打	犠飛	盗塁	触塁	併殺	エラー	その他		
1	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
3	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
4	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
5	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
6	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
7	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
8	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
9	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
10	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
11	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
12	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計			15	27	42	19	16	25	22	49	24	10	43	18	2	10	12											
投手	氏名	局数	セーブ	投球回	打者	打数	被弾	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自点										
1	斎藤	3	13	15	12	8	6	0	0	1	1	1	2	0	0	0	2	2										
2	北野	2	13	12	9	9	5	0	1	0	1	1	0	0	0	0	2	2										
3	藤田	2	2	13	17	13	10	3	0	0	0	3	1	5	0	0	4	3										
4	浅井	1	1	13	4	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
5	R			13	13																							

チーム名 (監督名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	記
名鉄大	1	1	0	0	2	1	1	2	0				8	
南山大	0	0	0	0	0	0	0	1	1				2	

局数	投手	打者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打数	被弾	三振	四球	犠打	犠飛	盗塁	触塁	併殺	エラー	その他		
1	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
3	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
4	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
5	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
6	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
7	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
8	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
9	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
10	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
11	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
12	斎藤	斎藤	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計			18	19	15	12	15	12	29	26	53	18	31	49														
投手	氏名	局数	セーブ	投球回	打者	打数	被弾	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自点										
1	斎藤	3	13	15	12	8	6	0	0	1	1	1	2	0	0	2	2	2										
2	北野	2	13	12	9	9	5	0	1	0	1	1	0	0	0	2	2	2										
3	藤田	2	2	13	17	13	10	3	0	0	0	3	1	5	0	0	4	3										
4	浅井	1	1	13	4	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
5	R			13	13																							

[illegible]

[illegible]

2024年8月15日 秋季大会 第1回戦										試合開始 9時35分 試合終了 11時52分	球場状態 天候・風向	南山大 対 岐阜聖徳大										主審 審判 記録	スコア 水谷					
[球場] 岐阜聖徳学園大										所要時間 2時間22分	観衆											①	②	③	④			
局数	投手	打者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打点	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	本塁打	失点	自点			
1	南 山	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
2	南 山	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
3	南 山	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
4	南 山	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
5	南 山	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
6	南 山	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
7	南 山	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
8	南 山	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
9	南 山	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
10	南 山	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
11	南 山	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
12	南 山	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計			0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
投手			19	11/30	10/50	15/65	12/85	16/103	19	18	12/30																	
捕手	氏 名	番 号	セーブ	投球回数	打者	打球	被打球	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	本塁打	失点	自点										
投手	氏 名	番 号	セーブ	投球回数	打者	打球	被打球	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	本塁打	失点	自点										
捕手	氏 名	番 号	セーブ	投球回数	打者	打球	被打球	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	本塁打	失点	自点										

チーム名 (監督名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	記
南山	0	0	2	0	0	0	0	0	0				2	
岐阜聖徳	1	0	0	0	0	2	0	0	X				3X	

打-4
1377
3
11721
9
117
6
1777
2
1271

局数	投手	打者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打点	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	本塁打	失点	自点
1	大 野	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	大 野	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	大 野	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	大 野	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	大 野	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	大 野	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	大 野	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	大 野	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	大 野	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	大 野	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	大 野	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	大 野	大 野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投手			15	12/20	10/37	10/53	16/69	18/87	13/100	2	12														

氏 名	番 号	セーブ	投球回数	打者	打球	被打球	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	本塁打	失点	自点	
深谷	8	13	33	30	8	3	Y	3	3									
投手	氏 名	番 号	セーブ <td>投球回数<td>打者<td>打球<td>被打球<td>安打<td>本塁打<td>犠打<td>犠飛<td>四球<td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td>	投球回数 <td>打者<td>打球<td>被打球<td>安打<td>本塁打<td>犠打<td>犠飛<td>四球<td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td>	打者 <td>打球<td>被打球<td>安打<td>本塁打<td>犠打<td>犠飛<td>四球<td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td>	打球 <td>被打球<td>安打<td>本塁打<td>犠打<td>犠飛<td>四球<td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td>	被打球 <td>安打<td>本塁打<td>犠打<td>犠飛<td>四球<td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td>	安打 <td>本塁打<td>犠打<td>犠飛<td>四球<td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td></td></td></td></td>	本塁打 <td>犠打<td>犠飛<td>四球<td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td></td></td></td>	犠打 <td>犠飛<td>四球<td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td></td></td>	犠飛 <td>四球<td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td></td>	四球 <td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td>	死球 <td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td>	三振 <td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td>	暴投 <td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td>	本塁打 <td>失点<td>自点</td></td>	失点 <td>自点</td>	自点
捕手	氏 名	番 号	セーブ <td>投球回数<td>打者<td>打球<td>被打球<td>安打<td>本塁打<td>犠打<td>犠飛<td>四球<td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td>	投球回数 <td>打者<td>打球<td>被打球<td>安打<td>本塁打<td>犠打<td>犠飛<td>四球<td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td>	打者 <td>打球<td>被打球<td>安打<td>本塁打<td>犠打<td>犠飛<td>四球<td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td>	打球 <td>被打球<td>安打<td>本塁打<td>犠打<td>犠飛<td>四球<td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td>	被打球 <td>安打<td>本塁打<td>犠打<td>犠飛<td>四球<td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td>	安打 <td>本塁打<td>犠打<td>犠飛<td>四球<td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td></td></td></td></td>	本塁打 <td>犠打<td>犠飛<td>四球<td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td></td></td></td>	犠打 <td>犠飛<td>四球<td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td></td></td>	犠飛 <td>四球<td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td></td>	四球 <td>死球<td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td></td>	死球 <td>三振<td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td></td>	三振 <td>暴投<td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td></td>	暴投 <td>本塁打<td>失点<td>自点</td></td></td>	本塁打 <td>失点<td>自点</td></td>	失点 <td>自点</td>	自点

[illegible][illegible]

[illegible]

R6年 8月22日		試合開始 9時35分	球場状態	主審		審判	記録	中谷													
秋季リーグ戦(IV)		試合終了 12時10分	天候・風向	① ② ③		④	⑤	内藤													
(球場) 新加坡球場		所要時間 時間 分	観 衆	京都大 対 南山大																	
局数	投手	打者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打者	投手	捕手	一塁	二塁	三塁
1	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11							
2	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12							
3	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13							
4	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14							
5	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15							
6	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16							
7	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17							
8	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18							
9	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19							
10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20							
11	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21							
12	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22							
合計			2	1	1	3	1	2	4	2	1	2	1	2							
得点			0	0	1	0	0	0	0	1	0	2									
投球数			9	23	31	19	50	22	72	26	19	8	12	10	18	11	21	32			
氏 名	投手	セーブ	投球回数	打者	打球	投球数	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自点	捕手	二塁打	三塁打	本塁打
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
氏 名	投手	セーブ	投球回数	打者	打球	投球数	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自点	捕手	二塁打	三塁打	本塁打
氏 名	投手	セーブ	投球回数	打者	打球	投球数	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自点	捕手	二塁打	三塁打	本塁打

チーム名 (監督名)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	記						
京都大		0	0	1	0	1	0	1	0	2											
南山大		0	0	0	0	0	0	0	4												
局数	投手	打者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打者	投手	捕手	一塁	二塁	三塁
1	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11							
2	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12							
3	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13							
4	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14							
5	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15							
6	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16							
7	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17							
8	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18							
9	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19							
10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20							
11	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21							
12	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22							
合計			1	1	1	2	1	1	1	1											
得点			0	0	0	0	0	0	0	0											
投球数			16	15	13	16	14	19	16	4	8	12	8	10	12	12					
氏名	投手	セーブ	投球回数	打者	打球	投球数	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自点	捕手	二塁打	三塁打	本塁打
氏名	投手	セーブ	投球回数	打者	打球	投球数	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自点	捕手	二塁打	三塁打	本塁打
氏名	投手	セーブ	投球回数	打者	打球	投球数	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自点	捕手	二塁打	三塁打	本塁打

																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					</
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

秋季リーグ戦

秋季リーグ戦

9月7日 vs名古屋外国語大学
9月8日 vs大同大学
9月21日 vs豊橋技術科学大学
9月29日 vs愛知教育大学
10月5日 vs名古屋市立大学
10月6日 vs愛知淑徳大学
10月12日 vs名古屋産業大学

打撃成績 規定打席数 12打席

	打率	打席	打数	得点	安打	打点	犠打	犠飛	四死球	盗塁	三振	残塁
海老	0.567	35	30	13	17	8	0	0	5	8	5	6
西塚	0.4	29	20	8	8	5	0	0	9	3	4	3
小西	0.387	34	31	8	12	10	0	0	3	4	2	4
漆谷	0.385	16	13	3	5	3	0	0	3	0	2	2
花井	0.381	30	21	7	8	5	0	1	8	6	1	7
蛭川	0.308	30	26	6	8	10	0	0	4	3	7	6
今福	0.3	23	20	8	6	4	0	0	3	7	3	6
林	0.292	31	24	11	7	3	0	1	6	11	3	4
齋藤	0.125	31	24	7	3	4	0	1	6	4	4	5

投手成績 規定投球回数 8回

	防御率	投球回数	打者	打数	安打	犠打	犠飛	四球	死球	奪三振	暴投	失点	自責点
深谷	5.56	11, 1/3	56	40	9	2	0	11	2	6	0	8	7
小谷	5.4	15	74	59	16	4	0	10	2	15	1	10	9

9月7日 vs名古屋外国語大学 ○2 0 - 1 1 (7回コールドゲーム)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	1	3	3	4	2	0	7			20
名外	0	0	1	1	9	0	0			11

位置	氏名	出身校	背番号	学年
7	海老	名城	2	1
6	小西	加納	29	3
5	齋藤	三重海星	5	2
9	西塚	三重海星	1	3
8	林	小牧南	16	2
3	蛭川	西尾	27	2
D	小野	天白	99	1
4	吉橋	安城	48	1
2	花井	京都外大西	22	3
P	深谷	三重海星	13	2

9月8日 vs大同大学 3 - 4 ○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
大同	0	1	0	0	0	0	2	0	0	3
南山	0	1	1	0	0	0	0	2	X	4

位置	氏名	出身校	背番号	学年
7	海老	名城	2	1
6	小西	加納	29	3
5	齋藤	三重海星	5	2
9	西塚	三重海星	1	3
8	林	小牧南	16	2
3	蛭川	西尾	27	2
D	小野	天白	99	1
4	吉橋	安城	48	1
2	花井	京都外大西	22	3
P	田島	大垣南	20	1

9月21日 vs豊橋技術科学大学 ○14-0 (6回コールドゲーム)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	3	0	2	1	3	5				14
豊技	0	0	0	0	0	0				0

位置	氏名	出身校	背番号	学年
7	海老	名城	2	1
6	小西	加納	29	3
5	齋藤	三重海星	5	2
9	西塚	三重海星	1	3
8	林	小牧南	16	2
3	蛭川	西尾	27	2
4	今福	名経大市邨	25	2
D	漆谷	愛知	7	1
2	花井	京都外大西	22	3
P	殿内	宇治山田商業	77	1

9月29日 vs愛知教育大学 10-6●

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
愛教	0	0	4	0	0	4	1	1	0	10
南山	1	1	0	0	4	0	0	0	0	6

位置	氏名	出身校	背番号	学年
7	海老	名城	2	1
6	小西	加納	29	3
4	今福	名経大市邨	25	2
9	西塚	三重海星	1	3
8	林	小牧南	16	2
3	蛭川	西尾	27	2
D	漆谷	愛知	7	1
5	齋藤	三重海星	5	2
2	花井	京都外大西	22	3
P	深谷	三重海星	13	2

10月5日 vs名古屋市立大学 1-19○ (5回コールドゲーム)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
名市	0	0	0	1	0					1
南山	1	0	7	11	X					19

位置	氏名	出身校	背番号	学年
7	海老	名城	2	1
6	小西	加納	29	3
4	今福	名経大市邨	25	2
9	西塚	三重海星	1	3
8	林	小牧南	16	2
3	蛭川	西尾	27	2
D	山田	大垣北	46	3
5	齋藤	三重海星	5	2
2	花井	京都外大西	22	3
P	森上	名古屋	14	2

10月6日 vs愛知淑徳大学 ○ 3 - 1

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南山	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3
淑徳	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

位置	氏名	出身校	背番号	学年
7	海老	名城	2	1
6	小西	加納	29	3
4	今福	名経大市邨	25	2
9	西塚	三重海星	1	3
8	林	小牧南	16	2
3	蛭川	西尾	27	2
D	山田	大垣北	46	3
5	齋藤	三重海星	5	2
2	花井	京都外大西	22	3
P	小谷	至学館	18	3

10月12日 vs名古屋産業大学 1 2 - 7 ●

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
名産	0	4	1	1	0	0	0	6	0	12
南山	1	0	0	0	2	0	3	1	0	7

位置	氏名	出身校	背番号	学年
7	海老	名城	2	1
6	小西	加納	29	3
4	今福	名経大市邨	25	2
9	西塚	三重海星	1	3
8	林	小牧南	16	2
3	蛭川	西尾	27	2
D	漆谷	愛知	7	1
5	齋藤	三重海星	5	2
2	花井	京都外大西	22	3
P	木村	南山	34	2

ランキング

≪ 秋季リーグ戦 ≫

【打撃部門】

●打率……海老	30打数17安打	0.567
●四死球…西塚	9	
●打点……小西	10	
	蛭川	10
●盗塁……林	11	

【投手部門】

●防御率……小谷	5.4
●奪三振……小谷	15

≪ 秋季リーグ戦 ≫

【打撃部門】

●打率……1. 海老	30打数17安打	0.567
	2. 西塚	20打数8安打 0.4
	3. 小西	31打数12安打 0.387
●四死球…1. 西塚	9	
	2. 花井	8
	3. 林	6
	3. 齋藤	6
●打点……1. 小西	10	
	1. 蛭川	10
●盗塁……1. 林	11	
	2. 海老	8
	3. 今福	7

【投手部門】

●防御率……小谷	5.4
●奪三振……小谷	15

チーム名 (監督名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	記
南山大 横江	1	3	3	4	2	0	7						20	
名産国体対人	0	0	1	1	9	0	0						11	

局	日	時	シード	投手	打者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	打点	得点	安打	打数	三振	四球	犠打	犠飛	盗塁	触塁	併殺	エラー	その他
1	11	21	南山大	横江	1																									
2	12	22	名産国体対人	横江	2																									
3	13	23	南山大	横江	3																									
4	14	24	名産国体対人	横江	4																									
5	15	25	南山大	横江	5																									
6	16	26	名産国体対人	横江	6																									
7	17	27	南山大	横江	7																									
8	18	28	名産国体対人	横江	8																									
9	19	29	南山大	横江	9																									
10	20	30	名産国体対人	横江	10																									
11	21	31	南山大	横江	11																									
12	22	32	名産国体対人	横江	12																									
合計						0	0	1	1	9	0	0						20	11	16	5									

氏名	勝負セーブ	投球回数	打者	打数	得点	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自責点
横江		13		13											2	1
横江		4	13	21	10	86	4			4	1	3			2	1
横江		0	13	5	2	22	2			3		2			1	1
横江		2	13	6	3	26	2			1		3			0	0
横江		2	13	9	8	38				1						

2024年 9月 8日	試合開始 12時17分	球場状態 良	主審 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫	審判員 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫
秋季リーグ戦②	試合終了 14時39分	天候・風向 晴		
(球場) 大同大学元浜G	所要時間 2時間22分	観衆	大同大 対 南山大	

局数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
得点	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
被得点	2	2/41	6/47	2/68	1/85	6	2/88	13/41	9/48				

氏名	種別	セーブ	投球回	打数	得点	被得点	安打	本塁打	犠打	犠飛	四球	死球	三振	暴投	ボーク	失点	自責点
投手	野手																

チーム名 (監督名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
大同	0	1	0	0	0	2	0	0					3
南山	0	1	1	0	0	0	2	X					4X

[illegible]

[illegible]

2014年10月6日 秋季大会 第4回			試合開始 9時25分 試合終了 11時59分	球場状態 天候・風向 欠・0.0	南山大 対 愛知淑徳大			主審 審判員 ① ② ③	記録員 中根															
(球場) 大岡大野球場 G			所要時間 1時間35分	観衆																				
回	攻	守	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打数	被弾	三振	四球	死球	三塁打	本塁打	投手	補手
1	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
2	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
3	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
4	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
5	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
7	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
8	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
9	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
10	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
11	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
12	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
投手			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
補手			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
投手			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
補手			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
投手			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
補手			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

チーム名 (監督名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	記
南山大 藤江	1	1	0	0	0	0	0	0	1				3	
愛知淑徳大	0	0	0	0	1	0	0	0					1	事

回	攻	守	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	得点	打数	被弾	三振	四球	死球	三塁打	本塁打	投手	補手
1	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
2	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
3	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
4	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
5	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
7	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
8	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
9	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
10	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
11	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
12	南山大	愛知淑徳大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
投手			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
補手			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
投手			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
補手			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
投手			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
補手			1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

[illegible]

南山大学硬式野球部OB会 南友会 会則

第1章 名称

第1条 本会は南山大学硬式野球部OB会南友会と称す

第2章 目的

第2条 本会はOB間の親睦を図り、現役に対し、指導援助を行う

第3章 会員

第3条 本会は南山大学硬式野球部卒業生および、それに準ずる者を会員とする

第4条 本会は下記の役員を選出する

- ① 会長 1名
- ② 副会長 若干名
- ③ 会計 1名
- ④ 監査 1名
- ⑤ 理事 若干名
- ⑥ 顧問 若干名
- ⑦ 幹事 若干名
- 女性担当幹事 若干名（4年に1名程度とし息のかかる状態が望ましい）
- 学年担当 卒業年度に各1名
- ⑧ その他必要と認めた役員を選任する
- 名誉会長 相談役
- ⑨ 役員の兼任を妨げない

第5条 会長は会務を総括し、副会長は会長を補佐し、会長に支障あるときはこれに代わる

第6条 役員の任期は4年とする 但し留任を妨げない

第4章 行事

第7条 第2条の目的を達成するために下記の行事を行う

- ① 総会は、4年に1回行う
- ② 臨時総会は必要に応じ行う
- ③ 役員幹事会は毎年1回以上行う
- ④ 年1回以上の現役対抗OB戦を行う

第5章 運営

第8条 総会及び役員幹事会の決定は、出席会員の過半数の賛成によって成立する

第9条 本会の事務局は会長指定のところに置く
尚、口座所在地は会計担当宅にすることを可とする

第10条 事務局は会員への連絡並びに庶務を行い会の実務を運営する

第11条 幹事、学年担当は、会の要請により会員への連絡を依頼された場合速やかに対応する

第12条 本会の会務は南山大学硬式野球部部報／OB会南友会会報或いは報告書をもって会員に報告する

第6章 会費

第13条 会員は会費を納めなければならない

本会の会費は
卒業初年度 3,000円（1口以上）
卒業2年以降 5,000円（1口以上）
女性会員 3,000円（1口以上）

第14条 本会の会計年度は、4月1日から3月31日までとする

第15条 会計監査は年1回 毎年3月の定例役員幹事会で承認をうける

第7章 会則の変更

第16条 会則の変更は、役員幹事会において決定する

第8章 実施

第17条 本会則は平成14年4月1日より実施する

平成20年4月1日 第4条改正

平成23年3月26日 第4条・第6条・第7条改訂

令和1年9月14日 第9条改訂

南山大学硬式野球部の皆さんへ

昭和59年卒業 堀井 剛



通り過ぎる風に冷たさと寂しさを感じる今日この頃。

皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

在校生の皆さんは、日々充実した大学生活を送っていますか。

4年生のみなさん、本当にお疲れさまでした。

プロや実業団などで野球を続けられる方もいるでしょうか。

本格的な野球は大学で終え、会社員などになれる方も多い

のではと思います。

いずれにしても、社会人のスタートラインに立つことになります。

希望もあるでしょう。不安もあるでしょう。

でも、心配は要りません。すべてメンタルの問題です。

メンタルが弱い人ほど、「休まず頑張る。」

メンタルが強い人ほど、「休む工夫をする。」んです。

メンタルの強い人になって下さい。簡単でしょ。

あと、会社員になる人は、いったい誰のために仕事をするのかということを常に意識して仕事に取り組んで下さい。

自分のため？上司のため？部下のため？同期のため？会社のため？いずれも誤りです。

仕事は「客のため」にします。常に「客のため」を意識していれば、きっと仕事は楽しく、上手くできるでしょう。

例えば、「売上単価」の決め方を考えてみましょう。

材料費＋人件費＋経費＋利益＝売上単価・・・・・・・・・・ではありません。

売上単価＝「お客様が得られる価値」です。

だから、それで赤字になるのであれば、経費を減らしたり、材料費を下げさせるのではなく、お客様にもっとたくさんの価値を提供できるように、商品やサービスを見直すんです。

なんか、4年生の方にばかり向けたものになってしまいましたので、元にもどして。

1年生から4年生の方、すべて18歳以上ですよ。皆さん成人なわけです。大人になったわけです。「自立」しなければなりません。

「自分で何でもやれるようになれ」とか、「自分で生きていけ」とか、「なんでもひとりでやれ」は「自立」をうながしているではありません。

これらは「孤立」です。

困った時に、つらい時に、苦しい時に、「助けて」って言えることが「自立」です。大人になるということです。

それでは、皆さん幸せな人生を、充実した大学生活を送ってください。

リーグ戦、お疲れ様でした。

令和2年卒の四熊俊紀と申します。

貴重な機会を頂戴しましたので寄稿させて

いただきます。

私は高校3年の夏の大会が終わったタイミングで
今後野球部として野球をするのはいいかなと、
正直思っていました。



大学入学後も特に野球部に入るつもりはありませんでしたが、部活体験で久しぶりに野球をしました。そこで改めて野球の楽しさを再認識し、野球部に入部することを決めました。

上記は私が南山大学野球部に入部した経緯です。

野球部に入部して感じたことを2つお伝えさせていただきます。

1つ目は好きなことに、とことん熱中してほしいということです。

社会人になると、学生の時に比べて、何かに熱中する時間は圧倒的に限られると感じます。

今でも草野球や趣味のゴルフをしたりしますがやはり何か物足りなく感じてしまいます。

SNSで南山野球部のリーグ戦や合宿の様子を拝見する時がありますがやはりいいなあ、羨ましいなあ、あの時に
戻りたいなあ、と多々感じます。

一般的には、大学4年間で何かに時間をかけて熱中するというのは最後の機会になると思われるので、残りの大
学生生活を無駄にすることなく過ごしてください。

2つ目は1つ目と被るところもありますが、後悔なくやり切ってほしいということです。

私はピッチャーをしていましたがバリバリ試合に出ていたかというところではありません。

そんな中、自分にできることは何かを考え、自分の役割を全うすることに決めました。具体的には中継ぎとして
生きていくことでした。ただ、中継ぎとしても試合に出られるかどうかという立ち位置でした。

周りからは試合に出れないのに、なんで野球やってるんだろうと思われていたかもしれません。

私が頑張れたのは野球が大好きだったのと、高校3年の夏の大会前に骨折をし、不完全燃焼で終わってしまった
ということもあり、大学野球をやるからには後悔なくやり切ろうと決めていたからです。

ひたすら頑張った甲斐もあり、大学3年の秋リーグでは、数試合でしたが中継ぎとして自分の役割を全うするこ
とができました。

皆さんにも大学野球を振り返った時に自信を持ってやり切ったと言えるぐらいに最後までやり切ってほしいと
思います。

短文ではありましたがお読みいただきありがとうございました。

南山大学野球部の皆さんの益々のご活躍を楽しみにしております。

2024役員組織表及び会員数

卒業	役職	氏名	役割分担
昭39	相談役	三輪 隆介	
昭43	相談役/会計監査	森本 侑	
昭45	相談役	早川 和久	
昭45	相談役	光島 稔	
昭55	相談役	岩田 仁志	
昭55	相談役	長谷川和香代	女性部長
昭60	相談役	新谷 福男	
昭60	会長	大橋 恵一	総務担当事務局長／会報編集担当
昭61	副会長	桑原 浩彰	中間層担当
昭62	副会長	秋葉 覚	中間層担当
昭62	理事	秋葉 奈緒美	女性副部長／中間層女性会員担当
平10	理事	木村 友浩	若年層会員＆現役担当
平13	理事/監督	横江 光義	監督／若年層会員＆現役担当
平15	理事	近藤 友樹	若年層会員担当
平16	理事	横田 智成	若年層会員担当
平16	理事	横田 麻衣子	会計兼任／女性副部長／若年層女性会員担当
平19	理事	山口 芙美花	女性副部長／若年層女性会員担当
平22	理事	前川 卓哉	若年層担当
平29	理事	山崎 智輝	若年層担当
令02	理事/会計	成瀬 弘樹	若年層/OB戦開催担当
	部長	西岡 淳	
	主将	花井 慧汰	
	副主将兼主務	西塚 制覇	
	マネージャー	齋藤 希	

令和6年7月末現在

卒業	役職	氏名	卒業	役職	氏名	人数	故人	所在判明数		所在不明数		03 会費	04 会費	05 会費
								男性	女性	男性	女性			
			昭24	学年担当	清水 亨	6	4	1		1				
			昭25	学年担当		5	2	2		1				
			昭26	学年担当	藤井 達男	4	3	0		1				
			昭28	学年担当	廣田 敏	4	1	3						
			昭29	学年担当		4	3	1						
			昭30	学年担当		9	6	3						
			昭31	学年担当		3	2	1						
			昭32	学年担当		4	2	0		2				
			昭33	学年担当		3		2		1				
昭35	幹事	山田 太満彦	昭34	学年担当	山田 太満彦	10	3	6		1		3	3	3
			昭35	学年担当	川上 隆三	3	2	1						
			昭36	学年担当	内田 喜章	3		3						
			昭37	学年担当		4	4	0						
昭39	相談役	三輪 隆介	昭38	学年担当	松原 立亜	8	1	7				1	1	1
			昭39	相談役	三輪 隆介	7	2	5				1	1	1
			昭40	学年担当	市江 富士夫	6	2	3		1				
			昭41	学年担当	井上 正幸	4	1	2		1				
			昭42	学年担当	中島 元	7	2	5				1	1	1
昭43	相談役	森本 侑	昭43	相談役	森本 侑	4		4				2	2	2
			昭44	学年担当	三井 隆一	13	1	10		2				

卒業	役職	氏名	卒業	役職	氏名	人数	故人	所在判明数		所在不明数		02 会費	03 会費	04 会費
								男性	女性	男性	女性			
昭45	相談役	早川 和久	昭45	相談役	早川 和久	5		4		1		2	2	2
			昭45	相談役	光島 稔									
			昭46	学年担当	佐藤 隆男	7	2	3		2				
			昭47	学年担当	渡辺 政信	6	3	2		1				
			昭48	学年担当	木村 芳夫	2		2						
昭49	幹事	篠田 利光	昭49	学年担当	篠田 利光	7		6	1			1	1	1
			昭50	学年担当	柴田 準治	4		3		1				
			昭51	学年担当	山口 幸彦	2		2				1		
			昭52	学年担当	原 悟晃	4		4				1	1	1
昭55	相談役	岩田 仁志	昭53	学年担当	甲村 巖	4		4						
			昭54	学年担当	小澤 勝	3	1	2						
			昭55	相談役	長谷川和香代	8		7	1			5	5	5
			昭55	相談役	岩田 仁志									
			昭56	学年担当	石田 真一	8		7	1			2	3	4
昭57	幹事	上村 修市	昭57	学年担当	上村 修市	9		8		1		5	4	5
			昭58	学年担当	黒釜 直樹	10		6		3	1	1	1	1
昭59	幹事	山田 誠	昭59	学年担当	山田 誠	9		5	1	3		2	1	2
			昭60	女性委員	藤枝 奈保子									
			昭60	相談役	新谷 福男	8		6	1		1	4	4	4
			昭60	会長	大橋 恵一									
昭61	副会長	桑原 浩彰	昭61	学年担当	桑原 浩彰	7		5	1	1		3	4	4
			昭61	女性委員	松尾 理恵									
昭62	副会長	秋葉 寛	昭62	副会長	秋葉 寛	8	1	6	1			5	5	4
			昭62	理事/女性副部長	秋葉 奈緒美									
昭63	幹事	平松 利邦	昭63	学年担当	平松 利邦	12		9	1	2		4	2	2
			平1	学年担当	南野 晴彦	4		3		1				1
			平2	学年担当	徳田 征司	6		3	2	1				
			平3	幹事	霧見 清華	平3	学年・女性委員	霧見 清華	6		5	1		2
			平4	学年担当	神谷 充洋	6		5		1			1	1
			平5	学年担当	水本 博嗣	8		6		2		1	1	
			平7	幹事	山本 一久	平6	学年担当	加藤 英彦	11		8	1	2	
			平7	学年担当	山本 一久	6		4		1	1	1	1	1
			平8	学年担当	小田 良一	7		5	2					
			平9	学年担当	堤田 智樹	11		6	1	4				
			平10	理事	木村 友浩	平10	理事	木村 友浩	9		7	1		1
平11	幹事	服部 洋	平11	学年担当	服部 洋	9		5	1	2	1			
平12	幹事	寺島 弘人	平12	学年担当	寺島 弘人	6		4	1	1				
			平12	女性委員	竹内 芳絵									
平13	幹事	伊夫伎 学	平13	学年担当	伊夫伎 学	5		4	1			2	1	2
			平13	理事/監督	横江 光義									
平14	幹事	谷口 剛士	平14	学年担当	谷口 剛士	3		1	1	1				
			平14	女性委員	村井 史子									
平15	理事 若年層担当	近藤 友樹	平15	理事	近藤 友樹	7		6	1			2	3	2
			平15	女性委員	天野 ゆみ子									
平16	理事 若年層担当	横田 智成	平16	理事	横田 智成	7		5	1	1		2	2	3
			平16	理事	横田 麻衣子									
平17	幹事	渡邊 高章	平17	学年担当	渡邊 高章	2		2				1	1	1
			平17	委員	谷本 貴規									
平18	幹事	平井 和昴	平18	学年担当	平井 和昴									
			平18	委員	内山 耕	10		8	2			3	3	1
			平18	女性委員	広金 聖美									
			平19	幹事	松永 泰典	平19	学年担当	松永 泰典						
			平19	委員	和田 直樹	10		6	2	2		4	3	3
			平19	理事	山口 英美花									

卒業	役職	氏名	卒業	役職	氏名	人数	故人	所在判明数		所在不明数		02 会費	03 会費	04 会費
								男性	女性	男性	女性			
平20	幹事	白石 直大	平20	学年担当	白石 直大	7		5	2			1	1	1
			平20	委員	加藤 文博									
			平20	女性委員	畠山 直美									
平21	幹事	小寺 貴久	平21	学年担当	小寺 貴久	8		6	1	1				
			平21	委員	大口 友樹									
			平21	女性委員	谷 香織									
平22	理事	前川 卓哉	平22	理事	前川 卓哉	9		6	2	1		1	1	1
			平22	委員	瀧 勇士									
			平22	女性委員	瀧 祐梨									
平23	幹事	西山 貴陽	平23	学年担当	西山 貴陽	13		10	2		1			1
			平23	委員	渡邊 真也									
			平23	女性委員	橋本 純奈									
平24	幹事	富田 大嗣	平24	学年担当	富田 大嗣	7		6	1					
			平24	委員	高木 一憲									
			平24	女性委員	長尾 春菜									
平25	幹事	浅野 郁己	平25	学年担当	浅野 郁己	15		8	1	5	1			
			平25	委員	町田 潤									
			平25	女性委員	長谷川 奈実									
平26	幹事	孫 榮優	平26	学年担当	孫 榮優	11		7	2	2				
			平26	委員	大島 啓徳									
			平26	女性委員	垣見 友美									
平27	幹事	清水 大志	平27	学年担当	清水 大志	12		8	1	3				
			平27	委員	出口 敦嗣									
			平27	女性委員	橋 照美									
平28	幹事	宮本 聖也	平28	学年担当	宮本 聖也	11		7		3	1			
			平28	委員	伊藤 洋祐									
			平28	女性委員	藤居 美帆									
平29	理事	山崎 智輝	平29	理事	山崎 智輝	12		8	1	3			1	1
			平29	女性委員	永田 友李									
平30	幹事	南 徳宏	平30	学年担当	南 徳宏	10		8	2					
			平30	女性委員	小野寺香帆									
平31	幹事	榊原 慎之介	平31	学年担当	榊原 慎之介	7		6		1				
令02	理事 若年層担当	成瀬 弘樹	令02	学年担当	成瀬 弘樹	10		9	1			4	2	3
			令02	女性委員	神谷 美咲									
令03	幹事	梶野 駿太郎	令03	学年担当	梶野 駿太郎	15		13	1	1		3	1	1
			令03	女性委員	今村 和香									
令04	幹事	畑 祐輔	令04	学年担当	畑 祐輔	10		9	1				1	2
			令04	女性委員	武藤 理沙									
令05	幹事	田之岡 幸祐	令05	学年担当	田之岡 幸祐	8		7	1					1
			令05	女性委員	濱田 美香									
令06	幹事		令06	学年担当	川入 祐太	13		11	2					
			令06	女性委員	三上 紗奈									
小計						545	48	377	47	65	8	72	66	72

会費納入分布

70才以上(～\$50)

(但し、令和6年3月末時点の状況です)

11/77=14.3%

60才以上(～\$60)

22/58=37.9%

50才以上(～H7)

16/62=25.8%

40才以上(～H17)

8/55=14.5%

30才以上(～H27)

7/86= 8.1%

22才以上(～R5)

8/87= 9.2%

72/425=16.9%

※50才以上の納入者が2/3。(49名)

合計	故人	所在判明数		所在不明数	
		男性	女性	男性	女性
	48	377	47	65	8
	48	424		73	
	48	497			
545					

南友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業		幹	氏名	役職	
昭24	故人		藍谷 正八		
	故人		加藤 喜久夫		
	故人		河野 英一		
	所在不明	将	清水 亨	学年担当	
	故人		中島 邦和		
			吉田 治郎		
昭25	故人		大久保 正		
	所在不明		梶田 浩康		
	故人		滝 良彦	(元名誉会長)	
			平田 稔		
		将	森 清一		
昭26	故人		岩井 一郎		
	故人	将	栗田 満		
	所在不明		藤井 達男	学年担当	
	故人		吉田 茂之		
昭28			浅野 信雄		
	故人		小池 通之		
		将	廣田 敏	学年担当	
			吉田 博孝		
昭29	故人	将	飯田 輝彦	(元学年担当)	
			一見 迪彦		
	故人		加藤 正純		
	故人		広瀬 定春		
昭30			大西 清		
	故人	将	竹内 昇右		
	故人		富田 洋一		
			野々山 義久		
	故人		服部 健		
			水野 元司		
	故人		宮脇 桂		
	故人		吉田 靖宏		
昭31	故人	将	河合 清		
	故人	務	柴山 隆成	(元相談役/学年担当)	
			野村 雅信		
昭32	所在不明		石黒 伍郎		
	故人		佐藤 俊治郎		
	故人		山本 泰弘		
	所在不明	将	吉角 弘		
昭33		将	加藤 稔	学年担当	
			野田 啓市		
	所在不明		三品 明雄		
昭34	所在不明		飯田 博一		
			岩崎 雅生		
			小川 和夫		
			久野 栄一		
	故人		熊谷 澄男		
			近藤 宗嗣		
		務	高木 義郎		
	故人	将	堀 喜八郎		
	故人		村上 通郎		
昭35			山田 太満彦	学年担当	
	故人		小野 秀夫	(元相談役)	
	故人	将	加賀爪 英二		
昭36			川上 隆三	学年担当	
		将	内田 喜章	学年担当	
			梶村 勝彦		
昭37			高島 健二		
	故人		赤羽 昇	学年担当	
	故人		西村 啓介		
	故人	将	萩原 敏彦		

南友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業		幹	氏名	役職	
	故人		渡邊 重治		
昭38			油 幸生		
			勘解由 茂幸		
			竹内 三輝夫		
			田中 窮治		
			長谷川 齊		
	将		平林 和憲		
	故人		牧野 雅樹		
			松原 立亜	学年担当	
昭39	故人		井上 和夫		
			大橋 忠三		
			近藤 征宏		
	故人		宗宮 孝二		
			藤井 亘		
			布施 勝		
	将		三輪 隆介	相談役	
昭40			市江 富士夫	学年担当	
	故人		近藤 光哉		
	故人		志水 弘明		
	所在不明		藤井 匠		
			松岡 隆春		
	将		和田 堅一		
昭41	将		井上 正幸	学年担当	
	故人		木戸 雄一郎		
			鈴木 武志		
	所在不明		森 清泰		
昭42			浅井 高一		
			伊藤 正徳		
	務		内田 寿彦		
	将		中島 元	学年担当	
	故人		水谷 多嘉夫		
			水野 和近		
	故人		望月 國年		
昭43	務		神谷 征二		
			白木 俊雄		
			鈴木 良二		
	将		森本 伋	相談役/会計監査	
昭44			小川 辰夫		
			木全 康裕		
	故人	将	久野 正男		
			高木 邦彦		
			竹内 義和		
			徳永 襄		
			三井 隆一	学年担当	
	所在不明		山内 孜		
			山田 浩美		
			山田 勲		
	所在不明		山田 重信		
			山本 哲也		
	務		渡辺 誠興		
昭45			小川 良彦		
	所在不明	務	河村 清		
			橋村 好人		
	将		早川 和久	相談役	
			光島 稔	相談役	
昭46			各務 秀次		
	将		佐藤 隆男	学年担当	
	故人		渋谷 哲也		
	故人		根本 英夫		
	所在不明	務	野崎 幸男		
	所在不明		長谷川 伸幸		

南友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業		幹	氏名	役職	
			藤川 友典		
昭47	故人	将	宇佐美 和市		
	故人		越智 正生		
			小林 実		
			西田 晴紀		
	所在不明		林 静夫		
	故人	務	渡辺 政信	学年担当	
昭48		将	木村 芳夫	学年担当	
		務	鎌本 正雄		
昭49			天野 達男		
			稲垣 良太		
			井上 孝一		
			尾崎 和洋		
		マ	尾崎 栄子		
			小林 史典		
		将	篠田 利光	学年担当	
昭50			柴田 準治	学年担当	
		将	鈴木 直明		
	所在不明		野口 克美		
			和田 宗起		
昭51		将	森戸 謙二		
		務	山口 幸彦	学年担当	
昭52			大塚 真一		
		将	原 悟晃	学年担当	
			伊藤 隆友		
			岡本 金義		
昭53		務	石原 嘉明		
		将	甲村 巖	学年担当	
			豊田 健伸		
			服部 誠夫		
昭54		務	小澤 勝	学年担当	
	故人		森 俊明		
		将	森 英雄		
昭55		将	岩田 仁志	相談役	
			串田 伸明		
			小林 雅昭		
			汐満 宗隆		
			野田 照美		
		マ	長谷川和香代	相談役/ 女性部長	
			服部 弘敏		
			平松 恒雄		
昭56		将	石田 真一	学年担当	
			糸川 和男		
	所在不明	マ	上野 敬子		
			鷲田 弘行		
			尾関 政彦		
			須戸 幸寿		
			永田 富久		
			藤栄 啓介		
昭57	所在不明	務	浅井 健治		
			石川 浩		
			内山 博英		
		将	上村 修市	学年担当	
			栗木 久直		
		務	橘 明彦		
			浜島 剛		
			佐藤 喜一郎		

南友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業		幹	氏名	役職	
			佐藤 直幸		
昭58	所在不明		上野 浩		
	所在不明	マ	宇佐美ゆき子		
	所在不明		大島 久		
		務	黒釜 直樹	学年担当	
			酒井 学		
			桜井 純平		
	所在不明		鶴田 辰也		
			藤吉 斎		
			古川 高志		
昭59		将	山川 誠		
	所在不明		久野 晃市		
		マ	小島 由喜枝		
			小林 正孝		
			杉浦 裕秋		
		務	堀井 剛		
			松尾 高志		
			山崎 英次		
		将	山田 誠	幹事	
昭60	所在不明		山守 正記		
			伊藤 武志		
			大池 祥司		
			大橋 恵一	会長/事務局長/会報担当	
			金本 朗成		
			島田 和典		
		将	新谷 福男	相談役	
	所在不明	マ	藤枝 奈保子		
		マ	細井 とし恵		
昭61			上原 晃		
			大矢 英貴		
			神谷 昌治		
			桑原 浩彰	副会長/中間層担当	
	所在不明		河野 誠		
		将	佐藤 宏昭		
			松尾 理恵	女性委員	
昭62			秋葉 覚	副会長/中間層担当	
		マ	秋葉 奈緒美	理事/女性副部長	
			柿下 浩幸		
		マ	川嶋 紀美		
			小出 秀忠		
		将	空 英明		
	故人		松尾 英二		
	所在不明		山下 厚		
昭63			大河内 一夫		
			河島 英行		
			久野 鉄史		
	所在不明		斎藤 憲正		
			鈴木 正良		
		マ	徳田 深穂		
		将	平松 利邦	幹事	
	所在不明		前澤 完一		
			益山 真一		
			森 崇史		
			山田 博文		
			伊藤 栄治		
平〇1			田中 亨		
			南野 晴彦	学年担当	
			水野 浩一		
	所在不明	将	宮川 和之		
平〇2			市川 智之		
			近藤 和		

南友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業		幹	氏名	役職	
		マ	佐藤 美保子		
	所在不明	将	徳田 征司	学年担当	
		マ	長谷川 敦子		
			松岡 均		
平〇3			下永吉 純一		
			鶴田 毅		
		マ	霧見 清華	学年担当/女性委員	
			花木 康夫		
		将	横井 太一		
			渡辺 淳		
平〇4			神谷 充洋	学年担当	
			河合 健吾		
			藤岡 貞雄		
			水谷 泉		
	所在不明		森本 昌和		
		将	江山 明		
平〇5			塚田 祐史		
			角田 佳英		
	所在不明		新浪 啓隆		
	所在不明		松波 宏隆		
			水本 博嗣	学年担当	
			山口 真一		
			山中 大樹		
		将	藤井 維人		
平〇6	所在不明		笹尾 守仁		
		将	阿部 賢一		
			石田 耕造		
			伊奈 敏弥		
	所在不明	務	加藤 英彦	学年担当	
			河内 建亮		
		マ	鈴木 佳代		
			鈴木 健一		
			田口 浩一		
			長谷川 義		
平〇7			原 紀乃		
			今井 雅彦		
			江川 正晃		
		務	奥出 朝紀		
	所在不明	マ	神谷 美香		
	所在不明		兵藤 琢也		
平〇8		将	山本 一久	学年担当	
		務	岩田 広宣		
		マ	岩田 由起子		
		マ	大村 晃与		
			酒井 敦司		
		マ	竹田 理恵		
		将	小田 良一	学年担当	
			松長 則幸		
平〇9			阿部 浩和		
			大村 弘司		
			木下 裕貴		
	所在不明		齋田 哲也		
			杉浦 恒裕		
		マ	田中 貴美		
	所在不明	将	堤田 智樹	学年担当	
			日比野 恭一		
			村山 大我		
	所在不明		山田 卓司		
平10			近藤 倫弘		
	所在不明	マ	岡本 舞		

南友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業		幹	氏名	役職	
			加藤 靖二		
			木村 友浩	理事/若年層&現役担当	
			後藤 智徳		
			田中 勇介		
		マ	橋本 真由美		
			古田 洋介		
		将	浅田 淳一		
平11	所在不明	将	高橋 英男		
	所在不明		佐々木 俊夫		
	所在不明	マ	中井 綾子		
			長尾 寛之		
		マ	中野 絵夢		
			長谷川 裕昭		
			服部 洋	幹事	
			深谷 昌秀		
			星野 誠		
平12			神藤 貴康		
	所在不明		高嶋 良		
			竹内 裕二		
		マ	竹内 芳絵	女性委員	
		将	寺島 弘人	学年担当	
			山崎 剛		
平13			稲垣 雅一		
		将	伊夫伎 学	幹事	
			長谷川 司郎		
		マ	杉山 真規子	女性委員	
平14			横江 光義	理事/監督	
		マ	村井 史子	女性委員	
		務	谷口 剛士	幹事	
平15	所在不明	将	登坂 俊憲		
		務	浅井 崇博		
	所在不明		金澤 賢一		
		将	近藤 友樹	理事/若年層担当	
			杉野 敬昭		
			高橋 祐介		
			中山 剛		
		マ	天野 ゆみ子	女性委員	
平16			鏑山 悟史		
			内田 敦規		
			太田 大海		
		マ	横田 麻衣子	理事/女性副部長 /若年層女性担当	
			前畑 俊夫		
	所在不明	務	松永 仁志		
		将	横田 智成	理事/若年層担当	
平17		将	渡邊 高章	幹事	
		務	谷本 貴規	委員	
平18			秋山 晋太郎		
			阿部 健志		
			池場 広明		
		務	内山 耕	委員	
			片山 壮二		
		マ	北岡 寛子		
	所在不明		中村 良		
		将	平井 和昴	幹事	
		マ	広金 聖美	女性委員	
			村田 俊一郎		
平19			岩田 光将		
	所在不明		河野 洋典		

南友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業		幹	氏名	役職	
	所在不明		太田 裕二		
			大堀 匠平		
		将	松永 泰典	幹事	
		マ	山口 芙美花	理事/女性副部長 /若年層女性担当	
			山田 容三		
			山村 圭一		
		務	和田 直樹	委員	
		マ	菊池 麻衣子		
平20		務	加藤 丈博	委員	
			清水 健吾		
		将	白石 直大	幹事	
			野村 耕二郎		
		マ	原田 彩乃		
			松永 卓也		
		マ	畠山 直美	女性委員	
平21	所在不明		飯田 翔		
			上野 由貴		
		務	大口 友樹	委員	
			久保 和音		
		将	小寺 貴久	幹事	
		マ	谷 香織	女性委員	
			西口 直輝		
			船橋 徹		
平22	所在不明		大澤 正幸		
			木村 翔人		
		マ	瀬瀬 祐梨	女性委員	
		務	瀧 勇士	委員	
		マ	田口 亜純		
			長谷川 泰史		
			畠山 雄太		
		将	服部 啓太		
平23			前川 卓哉	理事/若年層担当	
			大崎 敬三		
		マ	粕谷 優衣		
			加藤 康仁		
			黒川 祐樹		
			近藤 崇史		
			高塚 俊直		
			田口 修平		
	所在不明	マ	西岡 佑奈		
			長田 幸樹		
		将	西山 貴陽	幹事	
		マ	橋本 純奈	女性委員	
			山本 圭悟		
		務	渡邊 真也	委員	
平24		将	富田 大嗣	幹事	
			多田 修平		
			森 一憲		
			永松 大嗣		
			土谷 剛		
		務	高木 一憲	委員	
		マ	長尾 春菜	女性委員	
平25			茶谷 一徳		
	所在不明	将	浅野 郁己	幹事	
			田内 貴大		
			加納 宗明		
	所在不明	務	町田 潤	委員	
			上田 大地		
	所在不明		松村 幸輝		
	所在不明		竹内 恭平		

南友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業	幹	氏名	役職	
平26		鈴木 博皓		
		加藤 哲		
	所在不明	吉岡 利展		
		金沢 崇太		
		佳久 耀		
	所在不明	マ 二村 沙耶	女性委員	
	マ	長谷川 奈実		
	務	大島 啓徳	委員	
		岡川 量哉		
		笠松 拓馬		
		佐藤 諒明		
	所在不明	将 孫 榮優	幹事	
		田原 亮佑		
	所在不明	西林 佑次朗		
平27		野村 和貴		
		星野 由貴		
	マ	垣見 友美	女性委員	
		高木 愛加		
	所在不明	石藤 陽一		
		太田 鴻介		
		尾崎 圭佑		
		小島 久育		
		梶尾 一太		
	将	清水 大志	幹事	
	務	出口 敦嗣	委員	
	所在不明	戸田 将斗		
		古川 陽大		
		水谷 健人		
平28	所在不明	森 建人		
	マ	高橋 照美	女性委員	
		安藤 健吾		
	所在不明	池田 健次		
	務	伊藤 洋祐	委員	
		小倉 卓也		
		亀嶋 勇介		
	所在不明	杉江 駿介		
		鈴木 智仁		
	所在不明	立花 聖人		
		竹内 雅貴		
	将	宮本 聖也	幹事	
	所在不明	マ 藤居 美帆	女性委員	
平29	所在不明	今泉 純哉		
		石野 大希		
	所在不明	小日向 優人		
		吉田 有希		
		宮地 裕也		
		成瀬 拓哉		
	所在不明	寺西 一樹		
		中村 圭吾		
	将	山崎 智輝	理事/若年層担当	
		高橋 啓聡		
		宮田 一朗		
	所在不明	永田 友李	女性委員	
平30		菊田 真央		
	将	南 徳宏	学年担当	
		澤田 耕輔		
	務	安藤 駿		
		平松 拓也		
		戸谷 辰徳		
		浜本 龍輝		
	マ	林 りか		

南友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業		幹	氏名	役職	
		マ	小野寺 香帆	女性委員	
平31			石黒 航季		
			山口 賢人		
	所在不明		吉川 雄貴		
			岡本 秀之		
		将	榊原 慎之介	学年担当	
		務	雪山 大地		
			大塚 仁		
令02		将	成瀬 弘樹	理事/OB戦開催担当	
		務	筒井 樹		
			松本 悠希		
			川並 織仁		
			柴山 友宏		
			服部 華之		
			四熊 俊紀		
			八木 宣久		
			鈴木 啓仁		
		マ	神谷 美咲	女性委員	
令03		将	梶野 駿太郎	学年担当	
			石川 航平		
		務	永見 拓也		
			児玉 智哉		
			原 慎弥		
			飯吉 泰暉		
			大簗 誠人		
			新田 翼		
			本村 真一		
			三輪 大貴		
	所在不明		山口 宗泰		
			鈴木 篤司		
			中野 大成		
			坪井 太吉		
		マ	今村 和香	女性委員	
令04		将	畑 祐輔	学年担当	
			天野 椋太		
			小林 丈		
			木下 泰樹		
			袴田 将孝		
			長田 啓斗		
			宮本 拓		
		務	西村 大河		
			曾我 亮介		
		マ	武藤 理沙	女性委員	
令05		将	田之岡 幸祐	学年担当	
			近藤 陽南太		
			藤谷 典寿		
		務	森下 翔都		
			倉知 良樹		
			守田 俊輔		
			西崎 健人		
		マ	濱田 美香	女性委員	
令06			片山 皓太		
			小野 裕心		
		将	川人 祐太	学年担当	
			谷口 雄太		
			近藤 翔太		
			武馬 佑		
			水谷 魁磨		

南友会名簿 卒業年度順

令和5年7月末現在

卒業		幹	氏名	役職	
			谷 知樹		
			原科 拓磨		
			深谷 浩大		
			佐崎 歩		
	マ		三上 紗奈	女性委員	
	マ		神谷 彩歌		

歴代野球部長先生名簿				
監督		柴垣		
部長		成沢 理平	S27~29	
部長		小林 知生	S29~36	
監督		中島 国次郎	S29㊦	
監督		松井 徳三	S31㊦	
監督		伊藤 真光	S32㊦	
監督		ウィリアム・フィアチャイルド	S34㊦	
監督		ハヰル神父	S35㊦	
部長・監督		町田 俊昭	S37㊦	
部長・監督		森 茂也	S39㊦	
部長・監督		八亀 師勝	S44㊦47+50	
部長		藤田 一美	S48㊦	
部長		花井 敏	S51㊦	
部長		沢木 勝茂	S54㊦	
部長		成生 達彦	S57㊦	
部長		中矢 俊博	H10-11	
監督		木村 友浩	H10㊦	
部長		西岡 淳	H12/4㊦	
監督		横江 光義	H24㊦	

投手	小谷勇輝	3	理工	170	63	左・左	至学館
	棚瀬柊人	3	経営	168	65	右・右	名東
	森上 駿太郎	2	理工	173	61	右・右	名古屋
	木村宗一郎	2	総政	182	73	右・右	南山
	深谷陸登	2	経済	170	65	右・右	三重海星
	内藤弘海	1	経営	184	70	右・右	大府
	天野陸翔	1	経済	170	55	右・右	大府
	新美禅	1	理工	175	67	右・右	愛知
	殿内仁之亮	1	経済	170	63	右・右	宇治山田商業
	水野日向	1	理工	175	69	右・右	多治見
	田島悠雅	1	法	176	67	右・右	大垣南
	石川遥祐	1	経済	179	73	左・左	名古屋
	繁澤和明	1	経済	181	60	右・右	昭和
捕手	花井慧汰	3	経済	167	72	右・右	京都外大西
	蛭川健太	2	経済	175	85	右・右	西尾
	漆谷悠斗	1	経済	168	68	右・右	愛知
内野手	山田健太郎	3	外国語	168	63	右・右	大垣北
	小西裕一郎	3	法	179	64	右・左	加納
	宮城翔生	3	総政	169	74	右・右	天理
	林伶真	2	経済	172	70	右・右	小牧南
	今福優晴	2	総政	168	61	右・右	名経大市邨
	永谷 勇樹	2	経営	175	82	右・左	国府
	齋藤奨太	2	経済	168	60	右・右	三重海星
	吉橋礼貴	1	法	162	55	右・右	安城
	平原大地	1	人文	177	67	右・左	三重海星
	松宮潤弥	1	経済	170	70	右・右	愛知
	松谷将太郎	1	法	173	93	右・左	寝屋川
	西田汰生	1	理工	162	55	右・右	尾北
	高島壯汰	1	理工	172	70	右・右	名古屋南
外野手	西塚制覇	3	人文	172	75	左・左	三重海星
	神谷真之将	2	総政	180	90	右・右	西尾東
	小野朗	1	経営	174	75	左・左	天白
	海老壱喜	1	総政	171	65	右・右	名城
	西出涼雅	1	国際教養	166	60	右・右	三重海星
	辻葵斗	1	理工	179	78	右・右	帝京大可児
マネージャー	齋藤希	3	国際教養				仁愛女子
	榎本亜香	1	人文				桜台
	奥村青葉	1	外国語				熱田
	高木花奏	1	国際教養				旭野

今季の課題を来季
までにどこまで
クリアできるか



事務機通販は当社におまかせ下さい

OA機器・スチール家具・事務用品 有限会社オフィスハヤカワ 052-794-2400
昭和45年卒業 早川 和久

広告募集

1ページ／10000円
半ページ／ 5000円
春・秋2回掲載します

会報原稿募集中

OB会費納入にご協力をお願いいたします

現役への援助金・及び運営費です。何卒OB会費納入にご協力をお願いいたします。
会報は、現役・OB会費納入者・行事参加者にお渡ししています。

NANZAN BLUE SOX

南山大学硬式野球部OB会 南友会事務局

発行協力

南山大学硬式野球部 OB 会 南友会

NANZAN BLUE SOX

早川和久・大橋恵一・成瀬弘樹

南友会事務局

住所変更などのご連絡は下記までお願いします。

E-mail: keichi.ohashi0316@gmail.com



NANZAN BLUE SOX

<http://www.nanzanbaseball0809.com/>